

第2期 川口市
地域福祉計画の見直しに向けた
アンケート調査報告書

平成30年11月

川 口 市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	3
2. 調査方法・調査期間.....	3
3. 調査について.....	3
(1) 調査対象.....	3
(2) 回収率.....	3
(3) 調査項目.....	3
4. 各調査のまとめ.....	5
(1) 生活の状況について.....	5
(2) 地域とのつながりについて.....	5
(3) 地域活動について.....	6
(4) 今後の福祉施策について.....	7
(5) 災害時における助け合いについて.....	7
(6) 社会福祉協議会について.....	7
5. 報告書を見る際の注意事項.....	8
第2章 調査結果	9
1. 基本属性.....	11
(1) 性別（問1）.....	11
(2) 年齢（問2）.....	11
(3) 一緒に暮らしている人（問3）.....	12
(4) 住まい（問4）.....	13
(5) 世帯状況（問5）.....	14
(6) 職業（問6）.....	15
(7) 現在の収入での暮らし（問7）.....	15
(8) 居住年数（問8）.....	16
(8) 居住地域（問9）.....	17
2. 生活の状況について.....	18
(1) 川口市への定住意向（問10）.....	18
(2) 川口市の「良いところ」（問11）.....	19
(3) 川口市の「改善すべきところ」（問12）.....	22
(4) 日常生活で困ったときの相談先（問13）.....	25
(5) 相談しない理由（問13-2）.....	26
(6) 悩みや不安（問14）.....	28
(7) 現在の健康状況（問15）.....	30

(8) 誰かと一緒に食事をする機会 (問 16)	31
3. 地域とのつながりについて	32
(1) 地域とのつながりの必要性 (問 17)	32
(2) 近所付き合いの程度 (問 18)	33
(3) 近所付き合いがない理由 (問 18-2)	35
(4) 市内で活動している外国人との交流 (問 19)	37
(5) 今後の近所付き合いについての意向 (問 20)	38
(6) 日常生活を送るうえで困っている方の有無 (問 21)	39
(7) 現在、困っている方にしていること (問 21-2)	40
(8) 困っている方がいる場合にできること (問 22)	43
(9) 日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合に手助けをしてもらいたいこと (問 23)	44
(10) 地域で助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと (問 24)	47
4. 地域活動について	49
(1) 居住地域における地域活動状況 (問 25)	49
(2) 地域活動への参加状況 (問 26)	51
(3) 参加している地域活動の活動内容 (問 26-2)	53
(4) 今後取り組んでみたい地域活動 (問 27)	54
(5) 地域活動への参加依頼があった場合の参加意向 (問 28)	56
(6) 地域活動に参加しづらいと感じる理由 (問 29)	58
(7) 地域活動を広げていくために必要な支援 (問 30)	61
5. 今後の福祉施策について	63
(1) 福祉や健康について知りたい情報 (問 31)	63
(2) 福祉サービスに関する情報の入手先 (問 32)	66
(3) 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために必要だと思うこと (問 33)	68
(4) 地域における福祉についての考え (問 34)	70
6. 災害時における助け合いについて	71
(1) 災害時の避難先の認知度 (問 35)	71
(2) 災害時に誰と避難をするか (問 36)	72
(3) 大規模な災害が起きた時に心配なこと (問 37)	73
(4) 被災後の生活において頼る先 (問 38)	74
(5) 居住地域で災害時の備えとして必要なこと (問 39)	75
7. 社会福祉協議会について	77
(1) 川口市社会福祉協議会の認知度 (問 40)	77
(2) 川口市社会福祉協議会の事業の認知度 (問 41)	79

資料編	81
アンケート調査票	83

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民各層の地域福祉にかかわる意識構造や施策ニーズ及び庁内関係課や各種団体責任者等の現況認識と「地域福祉計画」を策定する際の基礎資料とすることを目的に調査を実施した。

2. 調査方法・調査期間

調査方法：郵送配布・郵送回収（後日、礼状兼督促状を配布）

調査期間：平成30年7月14日～8月10日

3. 調査について

(1) 調査対象

18歳以上の川口市民の中から無作為に抽出した3,000人

(2) 回収率

44.6%（1,338人）

(3) 調査項目

調査項目	問番号	設問
(1) 基本属性	問1	性別
	問2	年齢
	問3	一緒に暮らしている人
	問4	住まい
	問5	世帯状況
	問6	職業
	問7	現在の収入での暮らし
	問8	居住年数
	問9	居住地域
(2) 生活の状況について	問10	定住意向
	問11	川口市の「良いところ」
	問12	川口市の「改善すべきところ」
	問13	日常生活で困ったときの相談先
	問13-2	相談しない理由
	問14	悩みや不安
	問15	現在の健康状態
	問16	誰かと一緒に食事をする機会

調査項目	問番号	設問
(3) 地域とのつながりについて	問 17	地域とのつながりの必要性
	問 18	近所付き合いの程度
	問 18-2	近所付き合いをしない理由
	問 19	市内で活動している外国人との交流
	問 20	今後の近所付き合いについての意向
	問 21	日常生活を送るうえで困っている方の有無
	問 21-2	現在、困っている方にしていること
	問 22	困っている方がいる場合にできること
	問 23	日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合に手助けをしてもらいたいこと
	問 24	地域で助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと
(4) 地域活動について	問 25	居住地域における地域活動状況
	問 26	地域活動への参加状況
	問 26-2	参加している地域活動の活動内容
	問 27	今後取り組んでみたい地域活動
	問 28	地域活動への参加依頼があった場合の参加意向
	問 29	地域活動に参加しづらいと感じる理由
	問 30	地域活動を広げていくために必要な支援
(5) 今後の福祉施策について	問 31	福祉や健康について知りたい情報
	問 32	福祉サービスに関する情報の入手先
	問 33	誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために必要だと思うこと
	問 34	地域における福祉についての考え
(6) 災害時における助け合いについて	問 35	災害時の避難先の認知度
	問 36	災害時に誰と避難をするか
	問 37	大規模な災害が起きた時に心配なこと
	問 38	被災後の生活において頼る先
	問 39	居住地域で災害時の備えとして必要なこと
(7) 社会福祉協議会について	問 40	川口市社会福祉協議会の認知度
	問 41	川口市社会福祉協議会の事業の認知度

4. 各調査のまとめ

(1) 生活の状況について

- ・川口市定住意向は、「できれば住み続けたい」が4割を超え最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が3割後半となっている。(問10)
- ・川口市の良いところは、「近所で買い物がしやすい」が6割を超え最も多く、次いで「公共交通機関が便利である」が5割後半、「公園や緑地などの自然環境が豊富」が3割となっている。居住地域別でみると、中央地域・横曽根地域・戸塚地域で「公共交通機関が便利である」が全体に比べ多く、新郷地域・神根地域・安行地域は全体に比べ少ない。また、中央地域で「近所で買い物がしやすい」が全体に比べ多く、神根地域・安行地域は全体に比べ少ない。(問11)
- ・川口市の改善すべきところは、「災害が起きた際にどうすれば良いか周知されていない」が2割半ばで最も多く、次いで「公共交通機関が不便である」「ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが悪い」がともに約2割となっている。居住地域別でみると、川口市の良いところで「公共交通機関が便利である」と回答した方が全体に比べ少なかった新郷地域・神根地域・安行地域は「公共交通機関が不便である」が全体に比べ多い。(問12)
- ・日常生活で困った時の相談先は、「家族」が7割後半で最も多くなっている。(問13)
- ・悩みや不安は、「自身の健康に関すること」が4割を超え最も多く、次いで「自身の老後(介護)に関すること」が3割後半、「家族の老後(介護)に関すること」が2割後半となっている。(問14)
- ・現在の健康状況は、「まあ良い」が6割半ばで最も多く、次いで「やや悪い」が2割となっている。年齢別にみると、18~39歳は「とても良い」が、75歳以上は「やや悪い」が全体に比べ多い。(問15)
- ・誰かと一緒に食事をする機会は、「毎日ある」が5割後半で最も多い。年齢別にみると、75歳以上は「毎日ある」が全体に比べ少ない。(問16)

(2) 地域とのつながりについて

- ・地域とのつながりの必要性は、「どちらかといえば必要だと思う」が5割半ばで最も多く、次いで「とても必要だと思う」が約3割となっている。(問17)
- ・近所付き合いの程度は、「挨拶や立ち話をする程度」が5割後半で最も多く、次いで「ほとんど付き合いはない」が2割を超えている。年齢別にみると、18~39歳は「ほとんど付き合いはない」が、75歳以上は「日ごろから仲良くしている」が全体に比べ多い。定住意向別にみると、転出したいと考える方は「ほとんど付き合いはない」が全体に比べ多い。(問18)
- ・今後の近所付き合いについての意向は、「現状のままでよい」が7割後半で最も多くなっている。定住意向別にみると、転出したいと考える方は「近所付き合いをやめたい」

が全体に比べ多い。(問20)

- ・日常生活を送るうえで困っている方の有無は、「わからない」が5割半ばを占め、「いる」は1割に満たない。(問21)
- ・困っている方がいる場合にできることは、「安否確認の声掛け」が4割半ばで最も多く、次いで「話し相手」が3割半ば、「特にできることはない」が2割を超えている。(問22)
- ・日常生活を送る上で不自由な状態になった場合に手助けをしてもらいたいことは、「安否確認の声掛け」が4割で最も多く、次いで「特にしてほしいことはない」が2割半ばとなっている。年齢別にみると、18～39歳は「短時間の子どもの預かり」が全体に比べ多い。(問23)
- ・地域で助け合いの輪を広げていくために必要だと思うことは、「住民自身が日ごろから地域のつながりをもつように心がけること」が4割を超え最も多く、次いで「地域に住む人々が互いに理解し合い、助け合おうという意識を深めること」が3割後半、「行政による相談窓口や側面的援助を充実させること」が2割半ばとなっている。(問24)

(3) 地域活動について

- ・居住地域における地域活動は、「近所同士でよくあいさつをしている」「回覧板・掲示板などが活用されている」がともに5割を超えている。(問25)
- ・参加している地域活動は、「参加していない」が半数を超え最も多く、次いで「町会・自治会」が2割半ばとなっている。年齢別にみると、18～39歳は「参加していない」が全体に比べ多い。(問26)
- ・参加している地域活動内容は、「地域の清掃・美化」が3割を超え最も多く、次いで「その他」「防犯・交通安全」がともに1割を超えている。(問26-2)
- ・今後取り組んでみたい地域活動は、「興味がない」が2割で最も多く、次いで「健康づくり・医療」が1割半ばとなっている。年齢別にみると、18～39歳は「子育て支援や母子福祉」が全体に比べ多い。(問27)
- ・地域活動への参加依頼があった場合の参加意向は、「時間に余裕があれば参加したい」が4割半ばで最も多く、次いで「あまり参加したいと思わない」が1割半ばとなっている。(問28)
- ・地域活動に参加しづらいと感じる理由は、「仕事をもっているので時間がとれない」が4割で最も多く、次いで「どのような活動があるかなど、社会活動に関する情報がない」が2割半ばとなっている。年齢別にみると、18～39歳は「家事・育児に忙しくて時間がない」が、65～74歳・75歳以上は「健康や体力に自信がない」が全体に比べ多い。(問29)
- ・地域活動を広げていくために必要な支援は、「地域活動についての情報提供の強化」が3割を超え最も多く、次いで「活動をするうえでの経済的負担がかからないように交

通費などの実費を補助」約3割、「わからない」が2割を超えている。(問30)

(4) 今後の福祉施策について

- ・福祉や健康について知りたい情報は、「高齢者や介護保険サービスについての情報」が3割後半で最も多く、次いで「健康づくりについてのサービスの情報」が2割後半となっている。年齢別にみると、18～39歳は「子育てについてのサービスの情報」が全体に比べ多い。(問31)
- ・福祉サービスに関する情報の入手先は、「広報誌」が4割後半で最も多く、次いで「インターネット」が2割半ばとなっている。年齢別にみると、18～39歳は「インターネット」が全体に比べ多く、65～74歳・75歳以上は全体に比べ少なくなっている。(問32)
- ・地域で安心して生活していくために必要だと思うことは、「地震や台風などの災害に対する対策を充実させる」が4割で最も多く、次いで「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が3割半ばとなっている。居住地域別にみると、中央地域は「犯罪の抑制や治安の維持・向上に向けた取組を充実する」が全体に比べ多い。(問33)
- ・地域における福祉についての考えは、「できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい」「福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである」がともに3割を超え、次いで「地域の人が互いに協力し、住みやすい地域にしていきたい」が1割後半となっている。(問34)

(5) 災害時における助け合いについて

- ・災害時の避難先の認知度は、「知っている」が6割、「知らない」が3割半ばとなっている。居住地域別にみると、中央地域は「知らない」が全体に比べ多く、定住意向別にみると、転出したいと考える方は「知らない」が全体に比べ多い。(問35)
- ・災害時に誰と避難をするかは、「家族と避難することを決めている」が半数を超え最も多く、次いで「避難のことは決めていない」が3割を超えている。(問36)
- ・大規模な災害が起きた時に心配なことは、「必要な物資を手に入れられない」「避難生活が難しい」がともに4割となっている。年齢別にみると、18～39歳は「必要な物資を手に入れられない」が、75歳以上は「自力での避難が難しい」が全体に比べ多い。(問37)
- ・被災後の生活において頼るのは、「家族・親族」が8割を超え最も多く、次いで「行政(市役所など)」が4割半ばとなっている。(問38)
- ・居住地域で災害時の備えとして必要なことは、「危険箇所の把握」が4割半ばで最も多く、次いで「日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い」が4割を超え、「地域における援助体制の構築」が2割半ばとなっている。(問39)

(6) 社会福祉協議会について

- ・川口市社会福祉協議会の認知度は、「存在も活動内容も知らない」「存在だけは知って

いる」がともに4割を超えている。年齢別にみると、18～39歳は「存在も活動内容も知らない」が全体に比べ多い。(問40)

5. 報告書を見る際の注意事項

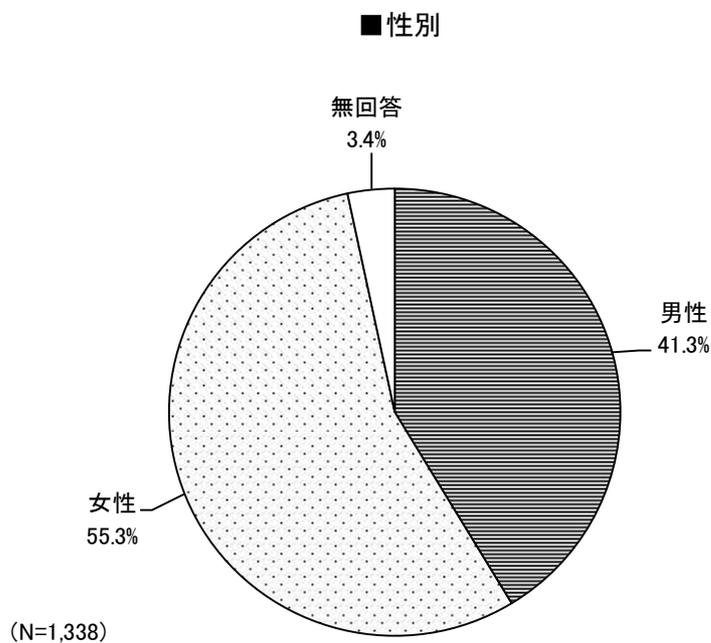
- ・ 図表中の「N」(=Number)は、設問への回答者数を示している。
- ・ 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出している。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがある。
- ・ クロス表の黒地・白文字は全体と比較して10%以上増、グレー地は全体と比較して10%以下減である。
- ・ クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合がある。

第2章 調査結果

1. 基本属性

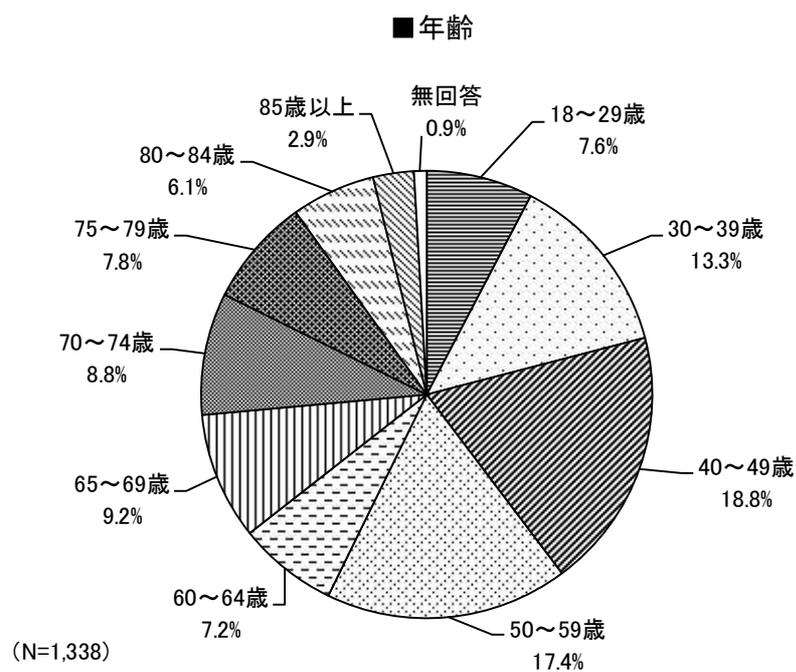
(1) 性別 (問1)

性別については、「男性」が41.3%、「女性」が55.3%となっています。



(2) 年齢 (問2)

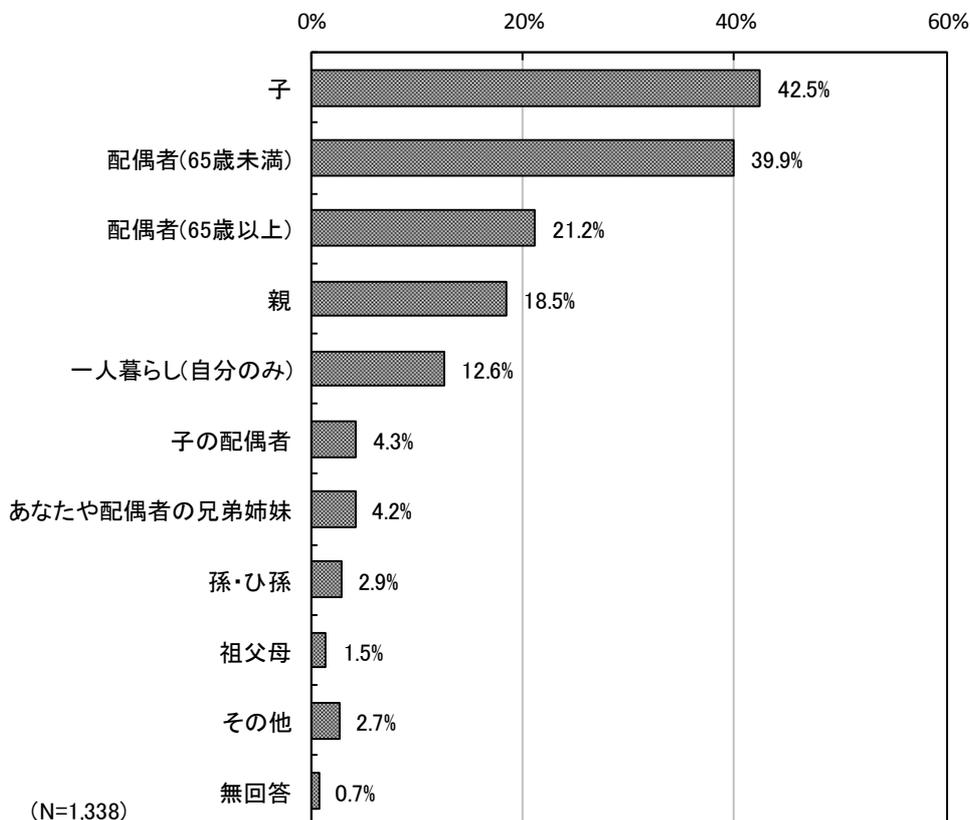
平成30年7月1日現在の年齢については、「40～49歳」が18.8%で最も多く、次いで「50～59歳以上」が17.4%、「30～39歳」が13.3%となっています。



(3) 一緒に暮らしている人 (問3)

現在一緒に暮らしている人については、「子」が42.5%で最も多く、次いで「配偶者(65歳未満)」が39.9%、「配偶者(65歳以上)」が21.2%となっています。

■一緒に暮らしている人 (複数回答)



年齢別にみると、「一人暮らし」は年齢が高いほど多くなっています。

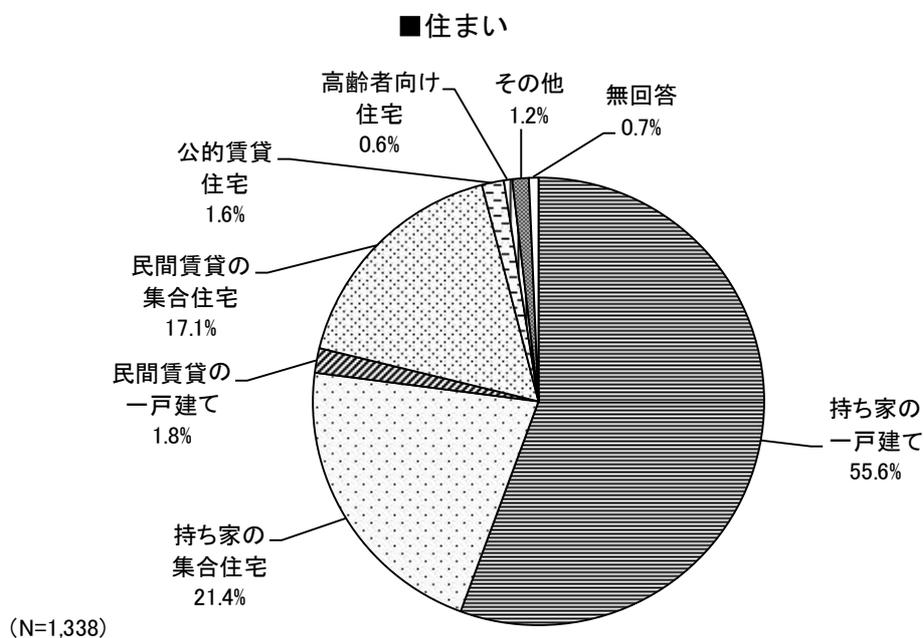
■一緒に暮らしている人 (年齢別)

		回答者数	合計	1. 一人暮らし(自分のみ)	2. 配偶者(65歳未満)	3. 配偶者(65歳以上)	4. 子	5. 子の配偶者	6. 親	7. 祖父母	8. 孫・ひ孫	9. あなたや配偶者の兄弟姉妹	10. その他	11. 無回答
全体		1,338 (100.0)	2,021 (151.0)	169 (12.6)	534 (39.9)	284 (21.2)	568 (42.5)	58 (4.3)	247 (18.5)	20 (1.5)	39 (2.9)	56 (4.2)	36 (2.7)	10 (0.7)
問2 年齢	1. 18~39歳	280 (100.0)	436 (155.7)	25 (8.9)	137 (48.9)	0 (-)	108 (38.6)	5 (1.8)	104 (37.1)	17 (6.1)	0 (-)	29 (10.4)	10 (3.6)	1 (0.4)
	2. 40~64歳	581 (100.0)	944 (162.5)	62 (10.7)	361 (62.1)	32 (5.5)	308 (53.0)	21 (3.6)	132 (22.7)	2 (0.3)	4 (0.7)	14 (2.4)	7 (1.2)	1 (0.2)
	3. 65~74歳	241 (100.0)	326 (135.3)	40 (16.6)	26 (10.8)	137 (56.8)	79 (32.8)	10 (4.1)	9 (3.7)	1 (0.4)	15 (6.2)	6 (2.5)	2 (0.8)	1 (0.4)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	302 (134.8)	41 (18.3)	8 (3.6)	114 (50.9)	72 (32.1)	22 (9.8)	0 (-)	0 (-)	20 (8.9)	7 (3.1)	17 (7.6)	1 (0.4)
	5. 無回答	12 (100.0)	13 (108.3)	1 (8.3)	2 (16.7)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (-)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	6 (50.0)

注: ()内はカブ #数を100とした割合

(4) 住まい (問4)

住まいについては、「持ち家の一戸建て」が 55.6%で最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」が 21.4%、「民間賃貸の集合住宅」が 17.1%となっています。



年齢別にみると、18～39歳は「民間賃貸の集合住宅」、75歳以上は「持ち家の一戸建て」が全体に比べ多くなっています。

■ 住まい (年齢別)

		合計	1. 持ち家の一戸建て	2. 持ち家の集合住宅	3. 民間賃貸の一戸建て	4. 民間賃貸の集合住宅	5. 公的賃貸住宅(都営住宅、市営住宅など)	6. 高齢者向け住宅(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など)	7. その他	8. 無回答
全体		1,338 (100.0)	744 (55.6)	287 (21.4)	24 (1.8)	229 (17.1)	21 (1.6)	8 (0.6)	16 (1.2)	9 (0.7)
問2 年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	120 (42.9)	48 (17.1)	2 (0.7)	101 (36.1)	5 (1.8)	0 (-)	3 (1.1)	1 (0.4)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	323 (55.6)	146 (25.1)	14 (2.4)	85 (14.6)	6 (1.0)	0 (-)	7 (1.2)	0 (-)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	142 (58.9)	60 (24.9)	3 (1.2)	30 (12.4)	5 (2.1)	0 (-)	1 (0.4)	0 (-)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	154 (68.8)	31 (13.8)	5 (2.2)	13 (5.8)	5 (2.2)	8 (3.6)	5 (2.2)	3 (1.3)
	5. 無回答	12 (100.0)	5 (41.7)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	5 (41.7)

注：()内はサブ #数を100とした割合

居住地域別にみると、中央地域・横曽根地域は「持ち家の集合住宅」、新郷地域・神根地域・安行地域は「持ち家の一戸建て」が全体に比べ多くなっています。

■住まい（居住地域別）

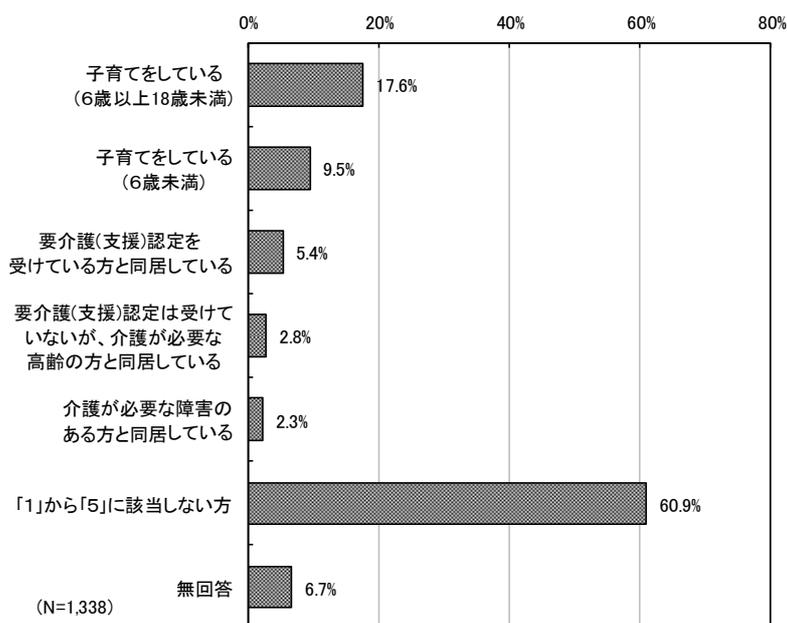
	合 計	1. 持ち家の 一戸建て	2. 持ち家の 集合住宅	3. 民間賃貸 の一戸建 て	4. 民間賃貸 の集合住 宅	5. 公的賃貸 住宅(都 営住宅、 市営住宅 など)	6. 高齢者向 け住宅 (有料老 人ホー ム、サー ビス付 高齢者 向け住 宅な ど)	7. その他	8. 無回答
全 体	1,338 (100.0)	744 (55.6)	287 (21.4)	24 (1.8)	229 (17.1)	21 (1.6)	8 (0.6)	16 (1.2)	9 (0.7)
問 9 ・ 居 住 地 域	1. 中央地域	93 (100.0)	19 (20.4)	49 (52.7)	0 (-)	22 (23.7)	1 (1.1)	0 (-)	2 (2.2)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	40 (26.5)	66 (43.7)	1 (0.7)	35 (23.2)	4 (2.6)	1 (0.7)	3 (2.0)
	3. 青木地域	177 (100.0)	98 (55.4)	42 (23.7)	4 (2.3)	27 (15.3)	2 (1.1)	1 (0.6)	2 (1.1)
	4. 南平地域	144 (100.0)	75 (52.1)	33 (22.9)	1 (0.7)	29 (20.1)	2 (1.4)	1 (0.7)	1 (0.7)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	66 (78.6)	6 (7.1)	4 (4.8)	4 (4.8)	0 (-)	2 (2.4)	2 (2.4)
	6. 神根地域	116 (100.0)	82 (70.7)	16 (13.8)	0 (-)	12 (10.3)	5 (4.3)	0 (-)	0 (-)
	7. 芝地域	183 (100.0)	117 (63.9)	16 (8.7)	8 (4.4)	37 (20.2)	3 (1.6)	1 (0.5)	1 (0.5)
	8. 安行地域	81 (100.0)	65 (80.2)	6 (7.4)	2 (2.5)	6 (7.4)	0 (-)	2 (2.5)	0 (-)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	84 (54.5)	27 (17.5)	1 (0.6)	37 (24.0)	2 (1.3)	0 (-)	2 (1.3)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	94 (64.8)	25 (17.2)	1 (0.7)	19 (13.1)	2 (1.4)	0 (-)	3 (2.1)
	11. 無回答	10 (100.0)	4 (40.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	1 (10.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

(5) 世帯状況（問5）

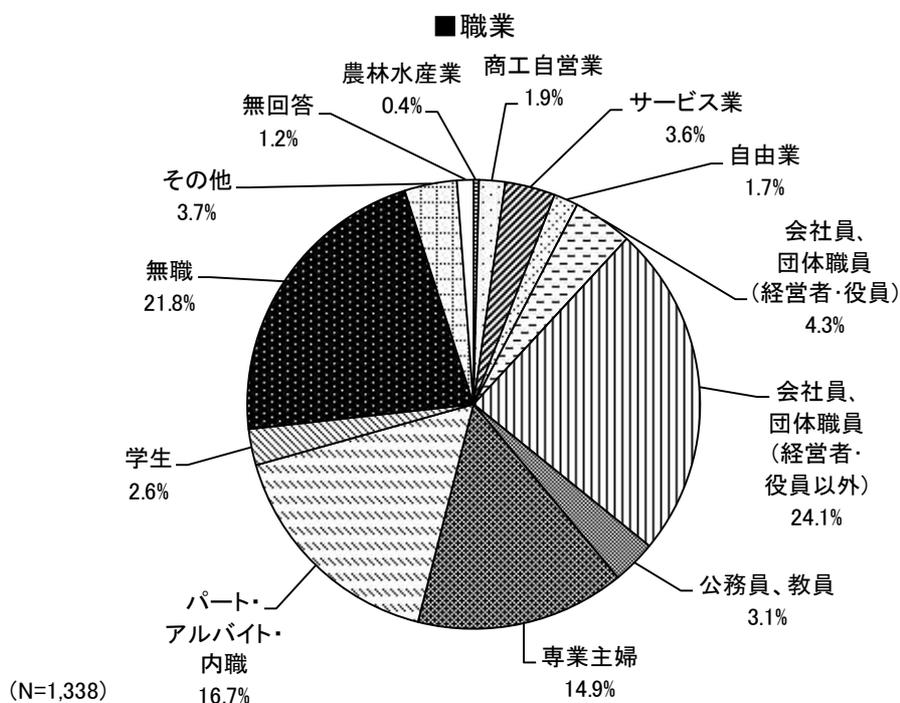
世帯状況については、「1」から「5」に該当しない方が60.9%で最も多く、次いで「子育てをしている（6歳以上18歳未満）」が17.6%となっています。

■世帯状況（複数回答）



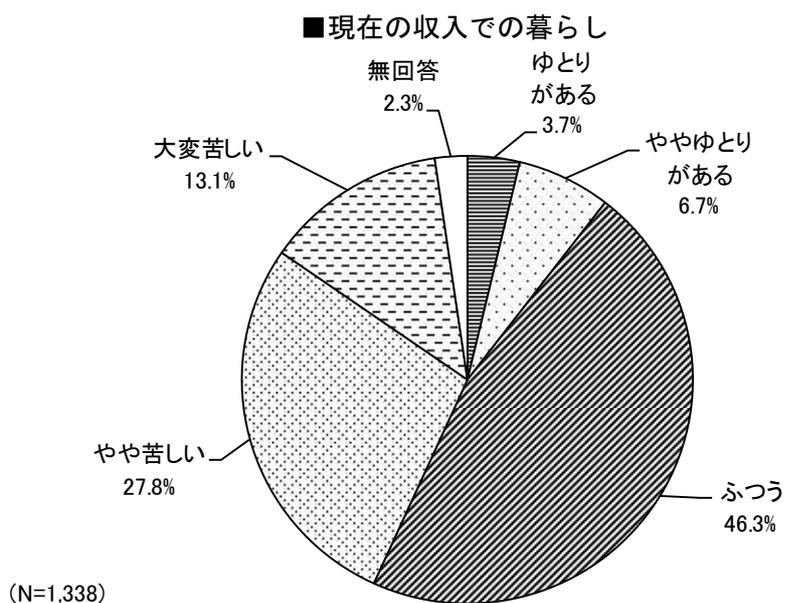
(6) 職業 (問6)

職業については、「会社員、団体職員（経営者・役員以外）」が24.1%で最も多く、次いで「無職」が21.8%、「パート・アルバイト・内職」が16.7%となっています。



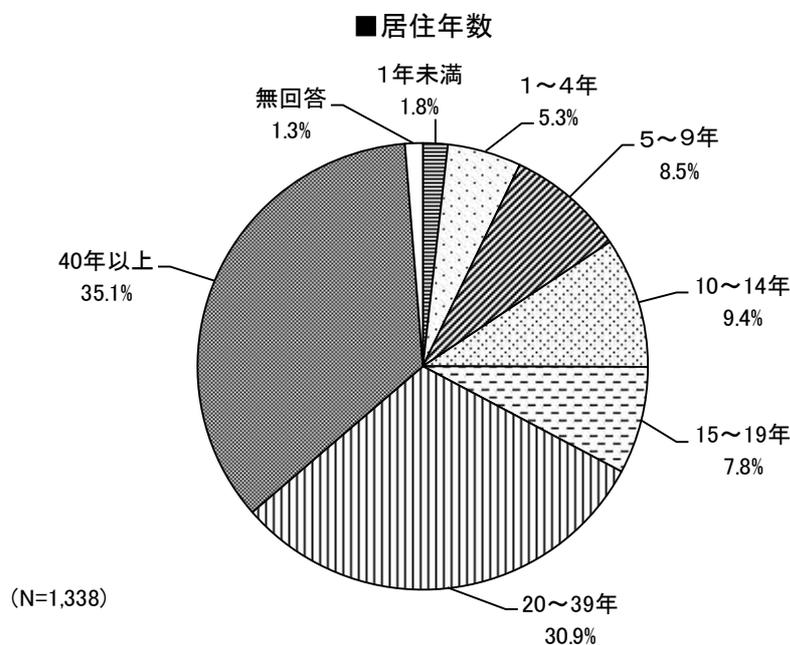
(7) 現在の収入での暮らし (問7)

現在の収入での暮らしについては、「ふつう」が46.3%で最も多く、次いで「やや苦しい」が27.8%、「大変苦しい」が13.1%となっています。



(8) 居住年数 (問8)

川口市における居住通算年数については、「40年以上」が35.1%で最も多く、次いで「20～39年」が30.9%、「10～14年」が9.4%となっています。



居住地域別にみると、青木地域・新郷地域・神根地域は「40年以上」が全体に比べ多くなっています。

■ 居住年数 (居住地域別)

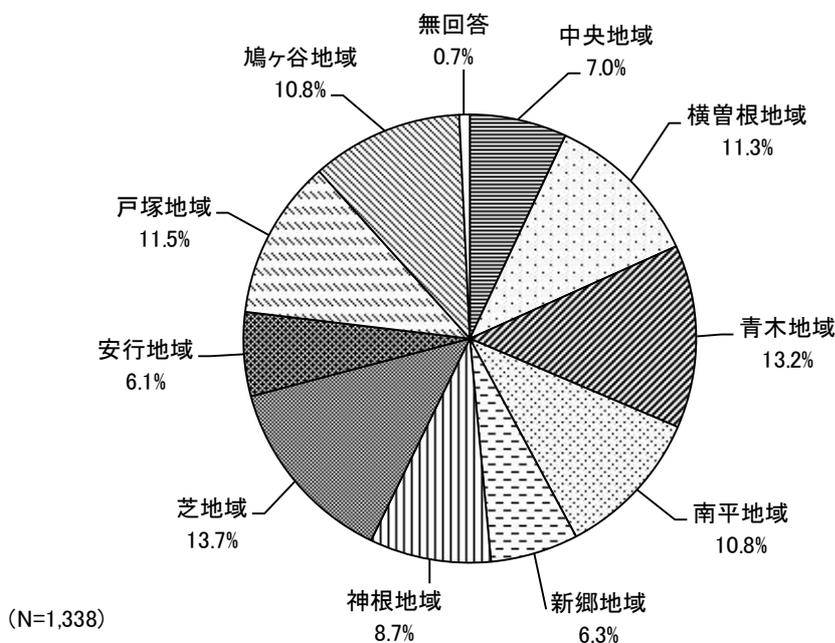
	合計	1. 1年未満	2. 1～4年	3. 5～9年	4. 10～14年	5. 15～19年	6. 20～39年	7. 40年以上	8. 無回答	
全体	1,338 (100.0)	24 (1.8)	71 (5.3)	114 (8.5)	126 (9.4)	104 (7.8)	413 (30.9)	469 (35.1)	17 (1.3)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	2 (2.2)	10 (10.8)	10 (10.8)	14 (15.1)	6 (6.5)	30 (32.3)	21 (22.6)	0 (-)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	1 (0.7)	10 (6.6)	13 (8.6)	21 (13.9)	21 (13.9)	41 (27.2)	44 (29.1)	0 (-)
	3. 青木地域	177 (100.0)	2 (1.1)	8 (4.5)	12 (6.8)	11 (6.2)	9 (5.1)	50 (28.2)	84 (47.5)	1 (0.6)
	4. 南平地域	144 (100.0)	1 (0.7)	8 (5.6)	17 (11.8)	9 (6.3)	14 (9.7)	34 (23.6)	58 (40.3)	3 (2.1)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	1 (1.2)	0 (-)	0 (-)	8 (9.5)	4 (4.8)	29 (34.5)	40 (47.6)	2 (2.4)
	6. 神根地域	116 (100.0)	0 (-)	1 (0.9)	8 (6.9)	11 (9.5)	5 (4.3)	34 (29.3)	56 (48.3)	1 (0.9)
	7. 芝地域	183 (100.0)	2 (1.1)	8 (4.4)	21 (11.5)	14 (7.7)	11 (6.0)	63 (34.4)	62 (33.9)	2 (1.1)
	8. 安行地域	81 (100.0)	2 (2.5)	3 (3.7)	6 (7.4)	9 (11.1)	10 (12.3)	26 (32.1)	25 (30.9)	0 (-)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	7 (4.5)	19 (12.3)	10 (6.5)	16 (10.4)	16 (10.4)	61 (39.6)	25 (16.2)	0 (-)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	6 (4.1)	3 (2.1)	16 (11.0)	13 (9.0)	8 (5.5)	44 (30.3)	54 (37.2)	1 (0.7)
	11. 無回答	10 (100.0)	0 (-)	1 (10.0)	1 (10.0)	0 (-)	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)	7 (70.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合

(8) 居住地域 (問9)

居住地域については、以下のとおりとなっています。

■ 居住地域



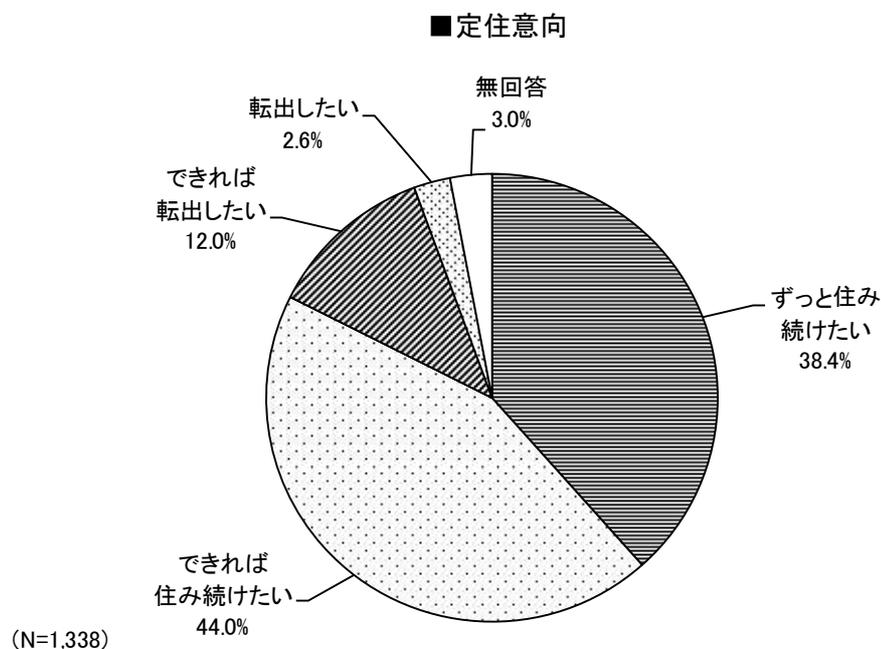
1. 中央地域 (木町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口1~3丁目)
2. 横曽根地域 (川口4~6丁目、飯塚、西川口、仲町、飯塚町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木)
3. 青木地域 (青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川)
4. 南平地域 (新口、末広、新井町、元辨、弥平、領家、東領家、河原町)
5. 新郷地域 (赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、幸、新郷、新郷町、榎松、江戸、江戸袋、本郷)
6. 神根地域 (安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、遠左衛門新田、石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町)
7. 芝地域 (芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷塚、芝中田、芝新町、芝下、芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎)
8. 安行地域 (安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽)
9. 戸塚地域 (戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行徳、東川口、善洲、北原台、戸塚銀町、戸塚境町、戸塚東、戸塚南、長蔵)
10. 鳩ヶ谷地域 (飯下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、三ツ和)



2. 生活の状況について

(1) 川口市への定住意向（問10）

定住意向については、「できれば住み続けたい」が44.0%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が38.4%、「できれば転出したい」が12.0%となっています。



年齢別にみると、18～39歳は「できれば住み続けたい」、65～74歳・75歳以上は「ずっと住み続けたい」が全体に比べ多くなっています。

■定住意向（年齢別）

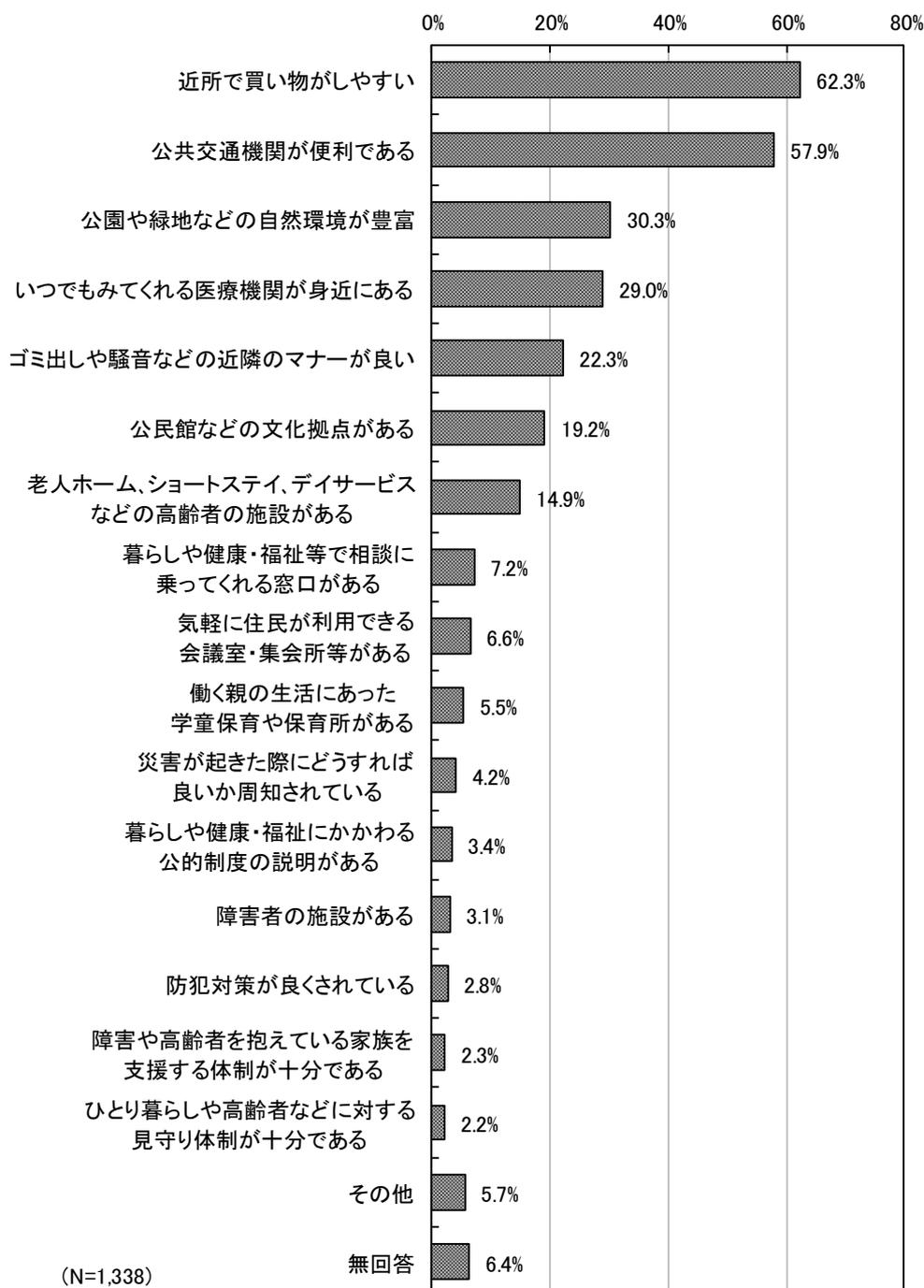
		合計	1. ずっと住み続けたい	2. できれば住み続けたい	3. できれば転出したい	4. 転出したい	5. 無回答
全体		1,338 (100.0)	514 (38.4)	589 (44.0)	160 (12.0)	35 (2.6)	40 (3.0)
問2 年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	55 (19.6)	159 (56.8)	47 (16.8)	13 (4.6)	6 (2.1)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	198 (34.1)	275 (47.3)	80 (13.8)	14 (2.4)	14 (2.4)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	125 (51.9)	90 (37.3)	18 (7.5)	1 (0.4)	7 (2.9)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	131 (58.5)	61 (27.2)	14 (6.3)	6 (2.7)	12 (5.4)
	5. 無回答	12 (100.0)	5 (41.7)	4 (33.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(2) 川口市の「良いところ」(問11)

川口市の良いところについては、「近所で買い物がしやすい」が62.3%で最も多く、次いで「公共交通機関が便利である」が57.9%、「公園や緑地などの自然環境が豊富」が30.3%となっています。

■川口市の良いところ（複数回答）



居住地域別にみると、中央地域は「公共交通機関が便利である」「いつでもみてる医療機関が身近にある」「近所で買い物がしやすい」、横曽根地域は「公共交通機関が便利である」、安行地域は「公園や緑地などの自然環境が豊富」、戸塚地域は「公共交通機関が便利である」「公園や緑地などの自然環境が豊富」が全体に比べ多くなっています。

■川口市の良いところ（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 公共交通機関が便利である	2. 気軽に住民が利用できる会議室・集会所等がある	3. 暮らしや健康・福祉にかかわる公的説明がある	4. 暮らしや健康・福祉等で相談に乗ってくれる窓口がある	5. いつでもみてる医療機関が身近にある	6. ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが良い	7. ひとり暮らしや高齢者などに対する見守り体制が十分である	8. 障害や高齢者を抱えている家族を支援する体制が十分である	
全体	1,338 (100.0)	3,820 (285.5)	775 (57.9)	88 (6.6)	46 (3.4)	97 (7.2)	388 (29.0)	298 (22.3)	30 (2.2)	31 (2.3)	
問9・居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	284 (305.4)	67 (72.0)	5 (5.4)	4 (4.3)	7 (7.5)	37 (39.8)	13 (14.0)	2 (2.2)	1 (1.1)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	442 (292.7)	114 (75.5)	9 (6.0)	4 (2.6)	8 (5.3)	48 (31.8)	31 (20.5)	3 (2.0)	3 (2.0)
	3. 青木地域	177 (100.0)	538 (304.0)	113 (63.8)	13 (7.3)	10 (5.6)	16 (9.0)	62 (35.0)	47 (26.6)	3 (1.7)	5 (2.8)
	4. 南平地域	144 (100.0)	430 (298.6)	88 (61.1)	11 (7.6)	4 (2.8)	10 (6.9)	40 (27.8)	29 (20.1)	2 (1.4)	4 (2.8)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	229 (272.6)	20 (23.8)	6 (7.1)	3 (3.6)	7 (8.3)	20 (23.8)	23 (27.4)	5 (6.0)	4 (4.8)
	6. 神根地域	116 (100.0)	297 (256.0)	43 (37.1)	9 (7.8)	2 (1.7)	11 (9.5)	38 (32.8)	28 (24.1)	3 (2.6)	6 (5.2)
	7. 芝地域	183 (100.0)	515 (281.4)	120 (65.6)	12 (6.6)	7 (3.8)	16 (8.7)	47 (25.7)	41 (22.4)	2 (1.1)	2 (1.1)
	8. 安行地域	81 (100.0)	198 (244.4)	15 (18.5)	3 (3.7)	3 (3.7)	5 (6.2)	17 (21.0)	18 (22.2)	2 (2.5)	3 (3.7)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	482 (313.0)	106 (68.8)	8 (5.2)	2 (1.3)	7 (4.5)	36 (23.4)	33 (21.4)	1 (0.6)	1 (0.6)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	383 (264.1)	85 (58.6)	12 (8.3)	6 (4.1)	8 (5.5)	42 (29.0)	34 (23.4)	7 (4.8)	2 (1.4)
	11. 無回答	10 (100.0)	22 (220.0)	4 (40.0)	0 (-)	1 (10.0)	2 (20.0)	1 (10.0)	1 (10.0)	0 (-)	0 (-)

	9. 働く親の生活にあった学童保育や保育所がある	10. 老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなどの高齢者の施設がある	11. 障害者の施設がある	12. 災害が起きた際にどうすれば良いか周知されている	13. 防犯対策が良くされている	14. 近所で買い物がしやすい	15. 公民館などの文化拠点がある	16. 公園や緑地などの自然環境が豊富	17. その他	18. 無回答	
全体	73 (5.5)	200 (14.9)	42 (3.1)	56 (4.2)	37 (2.8)	834 (62.3)	257 (19.2)	406 (30.3)	76 (5.7)	86 (6.4)	
問9・居住地域	1. 中央地域	7 (7.5)	9 (9.7)	3 (3.2)	5 (5.4)	1 (1.1)	77 (82.8)	19 (20.4)	22 (23.7)	5 (5.4)	0 (-)
	2. 横曽根地域	5 (3.3)	12 (7.9)	1 (0.7)	6 (4.0)	6 (4.0)	106 (70.2)	34 (22.5)	41 (27.2)	5 (3.3)	6 (4.0)
	3. 青木地域	6 (3.4)	19 (10.7)	5 (2.8)	7 (4.0)	3 (1.7)	122 (68.9)	37 (20.9)	48 (27.1)	11 (6.2)	11 (6.2)
	4. 南平地域	13 (9.0)	30 (20.8)	5 (3.5)	5 (3.5)	5 (3.5)	96 (66.7)	37 (25.7)	35 (24.3)	10 (6.9)	6 (4.2)
	5. 新郷地域	8 (9.5)	19 (22.6)	5 (6.0)	4 (4.8)	2 (2.4)	44 (52.4)	13 (15.5)	26 (31.0)	7 (8.3)	13 (15.5)
	6. 神根地域	2 (1.7)	23 (19.8)	5 (4.3)	5 (4.3)	2 (1.7)	49 (42.2)	18 (15.5)	37 (31.9)	6 (5.2)	10 (8.6)
	7. 芝地域	8 (4.4)	26 (14.2)	4 (2.2)	11 (6.0)	8 (4.4)	115 (62.8)	27 (14.8)	49 (26.8)	8 (4.4)	12 (6.6)
	8. 安行地域	6 (7.4)	15 (18.5)	5 (6.2)	6 (7.4)	2 (2.5)	32 (39.5)	13 (16.0)	36 (44.4)	3 (3.7)	14 (17.3)
	9. 戸塚地域	11 (7.1)	19 (12.3)	6 (3.9)	3 (1.9)	5 (3.2)	109 (70.8)	42 (27.3)	80 (51.9)	9 (5.8)	4 (2.6)
	10. 鳩ヶ谷地域	7 (4.8)	27 (18.6)	3 (2.1)	4 (2.8)	3 (2.1)	82 (56.6)	15 (10.3)	30 (20.7)	12 (8.3)	4 (2.8)
	11. 無回答	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (20.0)	2 (20.0)	2 (20.0)	0 (-)	6 (60.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

定住意向別にみると、ずっと住み続けたいは「ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが良い」が全体に比べ多く、“転出意向”（「できれば転出したい」「転出したい」）がある場合は「公共交通機関が便利である」「いつでもみてくれる医療機関が身近にある」「近所で買い物しやすい」が全体に比べ少なくなっています。

■川口市の良いところ（定住意向別）

	回答者数	合計	1. 公共交通機関が便利である	2. 気軽に住民が利用できる会議室・集会所等がある	3. 暮らしや健康・福祉にかかわる公的制度の説明がある	4. 暮らしや健康・福祉等で相談に乗ってくれる窓口がある	5. いつでもみてくれる医療機関が身近にある	6. ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが良い	7. ひとり暮らしや高齢者などに対する見守り体制が十分である	8. 障害や高齢者を抱えている家族を支援する体制が十分である	9. 働く親の生活にあった学童保育や児童保育所がある	
全体	1,338 (100.0)	3,820 (285.5)	775 (57.9)	88 (6.6)	46 (3.4)	97 (7.2)	388 (29.0)	298 (22.3)	30 (2.2)	31 (2.3)	73 (5.5)	
問10 定住意向	1. ずっと住み続けたい	514 (100.0)	1,809 (351.9)	317 (61.7)	46 (8.9)	32 (6.2)	53 (10.3)	198 (38.5)	168 (32.7)	23 (4.5)	17 (3.3)	36 (7.0)
	2. できれば住み続けたい	589 (100.0)	1,534 (260.4)	355 (60.3)	30 (5.1)	11 (1.9)	38 (6.5)	154 (26.1)	99 (16.8)	6 (1.0)	9 (1.5)	25 (4.2)
	3. できれば転出したい	160 (100.0)	329 (205.6)	73 (45.6)	7 (4.4)	0 (-)	3 (1.9)	24 (15.0)	22 (13.8)	0 (-)	2 (1.3)	9 (5.6)
	4. 転出したい	35 (100.0)	56 (160.0)	14 (40.0)	0 (-)	1 (2.9)	2 (5.7)	5 (14.3)	6 (17.1)	0 (-)	0 (-)	1 (2.9)
	5. 無回答	40 (100.0)	92 (230.0)	16 (40.0)	5 (12.5)	2 (5.0)	1 (2.5)	7 (17.5)	3 (7.5)	1 (2.5)	3 (7.5)	2 (5.0)

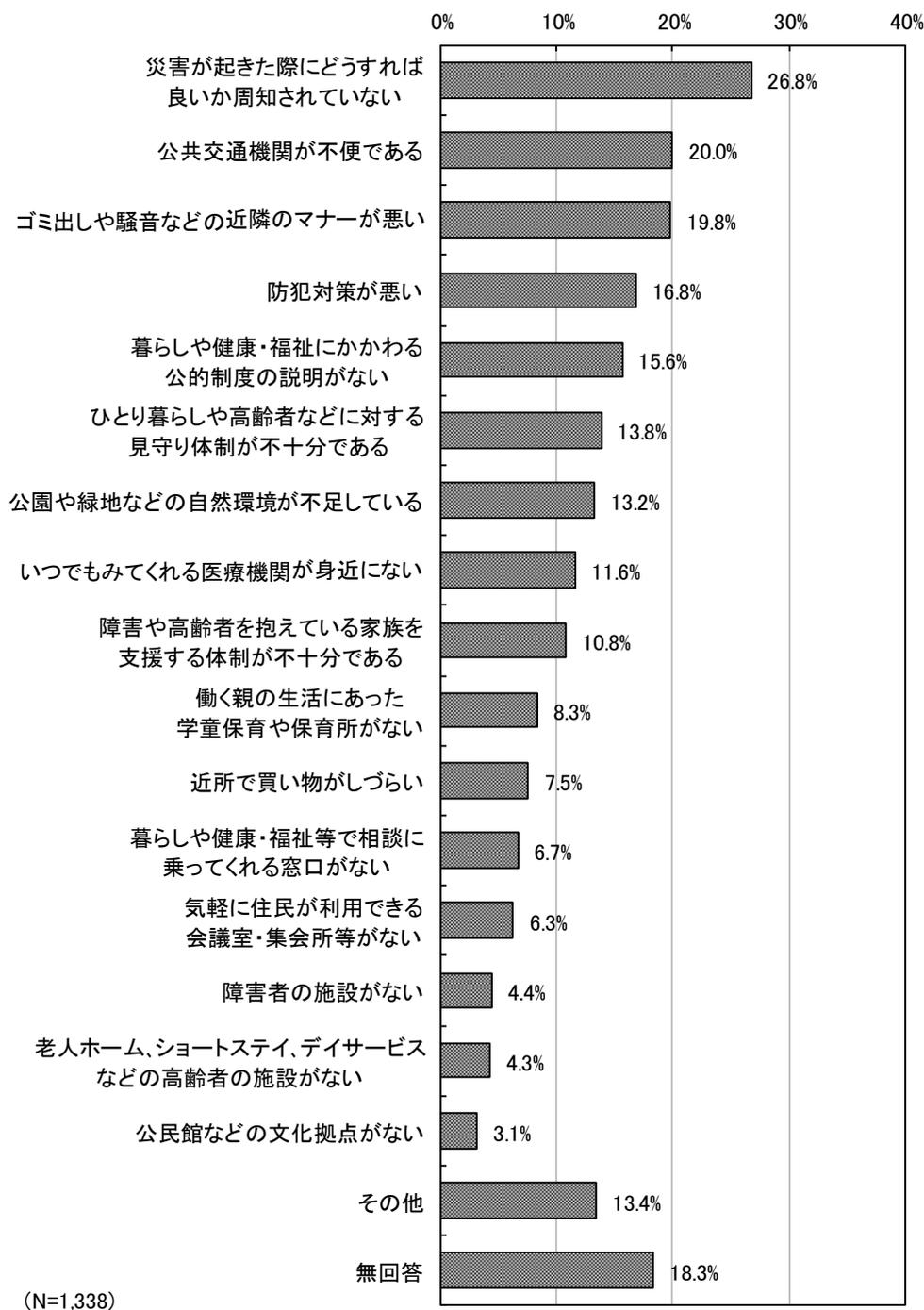
	10. 老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなどの高齢者の施設がある	11. 障害者の施設がある	12. 災害が起きた際にどうすれば良いか周知されている	13. 防犯対策が良くされている	14. 近所で買い物しやすい	15. 公民館などの文化拠点がある	16. 公園や緑地などの自然環境が豊富	17. その他	18. 無回答	
全体	200 (14.9)	42 (3.1)	56 (4.2)	37 (2.8)	834 (62.3)	257 (19.2)	406 (30.3)	76 (5.7)	86 (6.4)	
問10 定住意向	1. ずっと住み続けたい	117 (22.8)	20 (3.9)	37 (7.2)	21 (4.1)	352 (68.5)	139 (27.0)	186 (36.2)	24 (4.7)	23 (4.5)
	2. できれば住み続けたい	64 (10.9)	15 (2.5)	14 (2.4)	12 (2.0)	377 (64.0)	97 (16.5)	170 (28.9)	37 (6.3)	21 (3.6)
	3. できれば転出したい	14 (8.8)	4 (2.5)	4 (2.5)	2 (1.3)	75 (46.9)	17 (10.6)	40 (25.0)	8 (5.0)	25 (15.6)
	4. 転出したい	1 (2.9)	1 (2.9)	0 (-)	0 (-)	13 (37.1)	0 (-)	3 (8.6)	4 (11.4)	5 (14.3)
	5. 無回答	4 (10.0)	2 (5.0)	1 (2.5)	2 (5.0)	17 (42.5)	4 (10.0)	7 (17.5)	3 (7.5)	12 (30.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(3) 川口市の「改善すべきところ」(問12)

川口市の改善すべきところについては、「災害が起きた際にどうすれば良いか周知されていない」が26.8%で最も多く、次いで「公共交通機関が不便である」が20.0%、「ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが悪い」が19.8%となっています。

■川口市の改善すべきところ(複数回答)



居住地域別にみると、新郷地域・神根地域・安行地域は「公共交通機関が不便である」、鳩ヶ谷地域は「公園や緑地などの自然環境が不足している」が全体に比べ多くなっています。

■川口市の改善すべきところ（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 公共交通機関が不便である	2. 気軽に住民が利用できる会議室・集会所等がない	3. 暮らしや健康・福祉にかかわる公的サービスの説明がない	4. 暮らしや健康・福祉等で相談に乗ってくれる窓口がない	5. いつでもみえてくれる医療機関が身近にない	6. ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが悪い	7. ひとり暮らしや高齢者などに対する見守り体制が不十分である	8. 障害や高齢者を抱えている家族を支援する体制が不十分である	
全体	1,338 (100.0)	2,952 (220.6)	267 (20.0)	84 (6.3)	209 (15.6)	89 (6.7)	155 (11.6)	265 (19.8)	185 (13.8)	144 (10.8)	
問9・居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	201 (216.1)	16 (17.2)	3 (3.2)	17 (18.3)	4 (4.3)	6 (6.5)	25 (26.9)	14 (15.1)	10 (10.8)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	344 (227.8)	22 (14.6)	9 (6.0)	28 (18.5)	13 (8.6)	16 (10.6)	42 (27.8)	26 (17.2)	16 (10.6)
	3. 青木地域	177 (100.0)	332 (187.6)	19 (10.7)	7 (4.0)	22 (12.4)	10 (5.6)	15 (8.5)	34 (19.2)	19 (10.7)	20 (11.3)
	4. 南平地域	144 (100.0)	307 (213.2)	24 (16.7)	11 (7.6)	23 (16.0)	6 (4.2)	14 (9.7)	30 (20.8)	23 (16.0)	19 (13.2)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	174 (207.1)	36 (42.9)	6 (7.1)	8 (9.5)	2 (2.4)	7 (8.3)	14 (16.7)	9 (10.7)	6 (7.1)
	6. 神根地域	116 (100.0)	274 (236.2)	38 (32.8)	4 (3.4)	16 (13.8)	5 (4.3)	14 (12.1)	21 (18.1)	20 (17.2)	16 (13.8)
	7. 芝地域	183 (100.0)	452 (247.0)	24 (13.1)	15 (8.2)	29 (15.8)	18 (9.8)	26 (14.2)	42 (23.0)	32 (17.5)	19 (10.4)
	8. 安行地域	81 (100.0)	186 (229.6)	45 (55.6)	7 (8.6)	11 (13.6)	3 (3.7)	15 (18.5)	11 (13.6)	5 (6.2)	6 (7.4)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	340 (220.8)	20 (13.0)	11 (7.1)	33 (21.4)	17 (11.0)	26 (16.9)	26 (16.9)	20 (13.0)	17 (11.0)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	325 (224.1)	21 (14.5)	11 (7.6)	20 (13.8)	10 (6.9)	16 (11.0)	19 (13.1)	15 (10.3)	14 (9.7)
	11. 無回答	10 (100.0)	17 (170.0)	2 (20.0)	0 (-)	2 (20.0)	1 (10.0)	0 (-)	1 (10.0)	2 (20.0)	1 (10.0)

	9. 働く親の生活にあった学童保育や保育所がない	10. 老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなどの高齢者の施設がない	11. 障害者の施設がない	12. 災害が起きた際にどうすれば良いかわからない	13. 防犯対策が悪い	14. 近所で買物物がしづらい	15. 公民館などの文化拠点がない	16. 公園や緑地などの自然環境が不足している	17. その他	18. 無回答	
全体	111 (8.3)	57 (4.3)	59 (4.4)	358 (26.8)	225 (16.8)	101 (7.5)	42 (3.1)	177 (13.2)	179 (13.4)	245 (18.3)	
問9・居住地域	1. 中央地域	9 (9.7)	3 (3.2)	1 (1.1)	33 (35.5)	20 (21.5)	3 (3.2)	1 (1.1)	17 (18.3)	10 (10.8)	9 (9.7)
	2. 横曽根地域	12 (7.9)	7 (4.6)	3 (2.0)	44 (29.1)	27 (17.9)	3 (2.0)	3 (2.0)	24 (15.9)	24 (15.9)	25 (16.6)
	3. 青木地域	11 (6.2)	9 (5.1)	7 (4.0)	43 (24.3)	27 (15.3)	11 (6.2)	1 (0.6)	15 (8.5)	20 (11.3)	42 (23.7)
	4. 南平地域	10 (6.9)	5 (3.5)	11 (7.6)	39 (27.1)	20 (13.9)	7 (4.9)	3 (2.1)	12 (8.3)	28 (19.4)	22 (15.3)
	5. 新郷地域	3 (3.6)	0 (-)	4 (4.8)	19 (22.6)	10 (11.9)	10 (11.9)	4 (4.8)	12 (14.3)	9 (10.7)	15 (17.9)
	6. 神根地域	11 (9.5)	6 (5.2)	5 (4.3)	27 (23.3)	22 (19.0)	16 (13.8)	3 (2.6)	16 (13.8)	11 (9.5)	23 (19.8)
	7. 芝地域	16 (8.7)	12 (6.6)	13 (7.1)	48 (26.2)	33 (18.0)	13 (7.1)	11 (6.0)	30 (16.4)	29 (15.8)	42 (23.0)
	8. 安行地域	3 (3.7)	3 (3.7)	1 (1.2)	18 (22.2)	13 (16.0)	13 (16.0)	3 (3.7)	7 (8.6)	10 (12.3)	12 (14.8)
	9. 戸塚地域	24 (15.6)	7 (4.5)	10 (6.5)	41 (26.6)	27 (17.5)	6 (3.9)	5 (3.2)	7 (4.5)	20 (13.0)	23 (14.9)
	10. 鳩ヶ谷地域	12 (8.3)	5 (3.4)	4 (2.8)	46 (31.7)	23 (15.9)	19 (13.1)	8 (5.5)	37 (25.5)	18 (12.4)	27 (18.6)
	11. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (30.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	5 (50.0)

注：()内は割増 #数を100とした割合

定住意向別にみると、転出したいは「公共交通機関が不便である」「暮らしや健康・福祉等で相談に乗ってくれる窓口がない」「防犯対策が悪い」が全体に比べ多くなっています。

■川口市の改善すべきところ（定住意向別）

	回答者数	合計	1. 公共交通機関が不便である	2. 気軽に住民が利用できる会議室・集会所等がない	3. 暮らしや健康・福祉にかかわる公的サービスの説明がない	4. 暮らしや健康・福祉等で相談に乗ってくれる窓口がない	5. いつでもみえてくれる医療機関が身近にない	6. ゴミ出しや騒音などの近隣のマナーが悪い	7. ひとり暮らしや高齢者などに対する見守り体制が不十分である	8. 障害や高齢者を抱えている家族を支援する体制が不十分である	9. 働く親の生活にあった学童保育や児童保育所がない	
全体	1,338 (100.0)	2,952 (220.6)	267 (20.0)	84 (6.3)	209 (15.6)	89 (6.7)	155 (11.6)	265 (19.8)	185 (13.8)	144 (10.8)	111 (8.3)	
問10・定住意向	1. ずっと住み続けたい	514 (100.0)	1,084 (210.9)	99 (19.3)	31 (6.0)	72 (14.0)	30 (5.8)	50 (9.7)	88 (16.9)	87 (11.7)	33 (6.4)	
	2. できれば住み続けたい	589 (100.0)	1,284 (218.0)	109 (18.5)	35 (5.9)	104 (17.7)	41 (7.0)	68 (11.5)	120 (20.4)	72 (12.2)	51 (8.7)	
	3. できれば転出したい	160 (100.0)	394 (246.3)	41 (25.6)	11 (6.9)	22 (13.8)	10 (6.3)	30 (18.8)	37 (23.1)	14 (8.8)	13 (8.1)	
	4. 転出したい	35 (100.0)	111 (317.1)	14 (40.0)	5 (14.3)	6 (17.1)	6 (17.1)	4 (11.4)	9 (25.7)	8 (22.9)	7 (20.0)	4 (11.4)
	5. 無回答	40 (100.0)	79 (197.5)	4 (10.0)	2 (5.0)	5 (12.5)	2 (5.0)	3 (7.5)	11 (27.5)	4 (10.0)	0 (-)	2 (5.0)

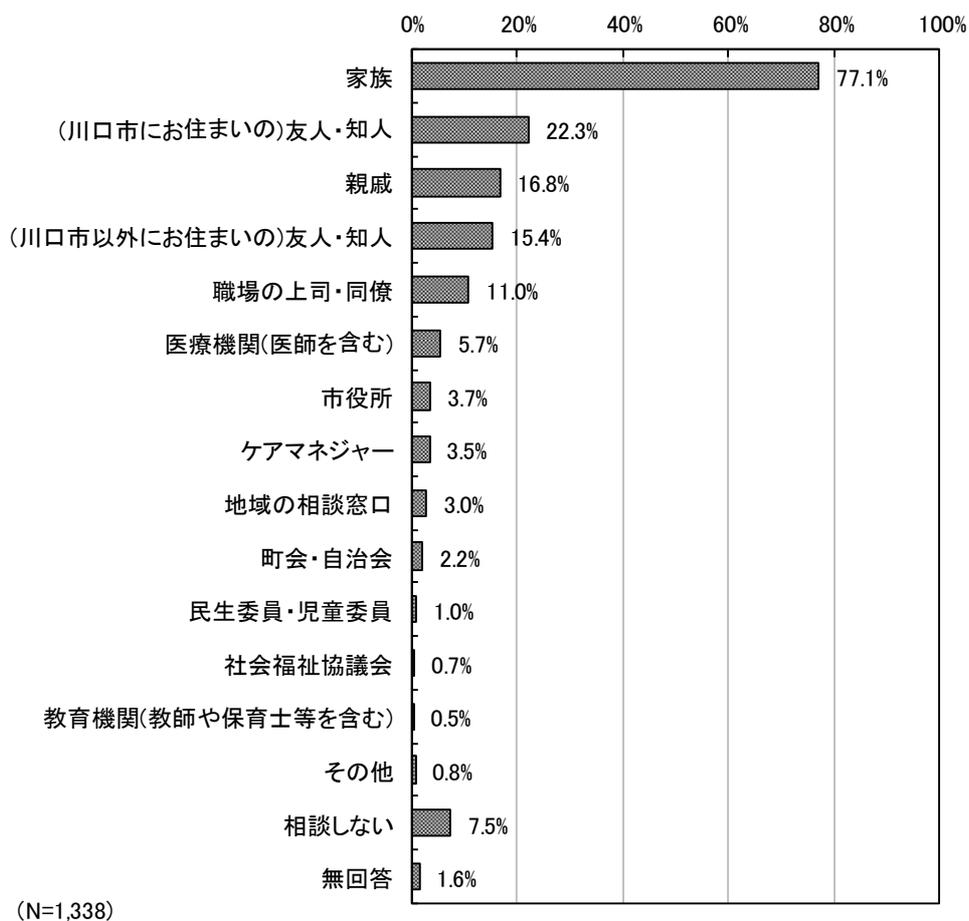
	10. 老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなどの高齢者の施設がない	11. 障害者の施設がない	12. 災害が起きた際にどうすれば良いか周知されていない	13. 防犯対策が悪い	14. 近所で買い物がつらい	15. 公民館などの文化拠点がない	16. 公園や緑地などの自然環境が不足している	17. その他	18. 無回答	
全体	57 (4.3)	59 (4.4)	358 (26.8)	225 (16.8)	101 (7.5)	42 (3.1)	177 (13.2)	179 (13.4)	245 (18.3)	
問10・定住意向	1. ずっと住み続けたい	24 (4.7)	25 (4.9)	135 (26.3)	75 (14.6)	39 (7.6)	14 (2.7)	58 (11.3)	51 (9.9)	113 (22.0)
	2. できれば住み続けたい	23 (3.9)	26 (4.4)	167 (28.4)	103 (17.5)	41 (7.0)	14 (2.4)	70 (11.9)	81 (13.8)	95 (16.1)
	3. できれば転出したい	6 (3.8)	6 (3.8)	38 (23.8)	34 (21.3)	15 (9.4)	9 (5.6)	35 (21.9)	35 (21.9)	17 (10.6)
	4. 転出したい	3 (8.6)	2 (5.7)	10 (28.6)	10 (28.6)	4 (11.4)	3 (8.6)	5 (14.3)	7 (20.0)	4 (11.4)
	5. 無回答	1 (2.5)	0 (-)	8 (20.0)	3 (7.5)	2 (5.0)	2 (5.0)	9 (22.5)	5 (12.5)	16 (40.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(4) 日常生活で困ったときの相談先 (問 13)

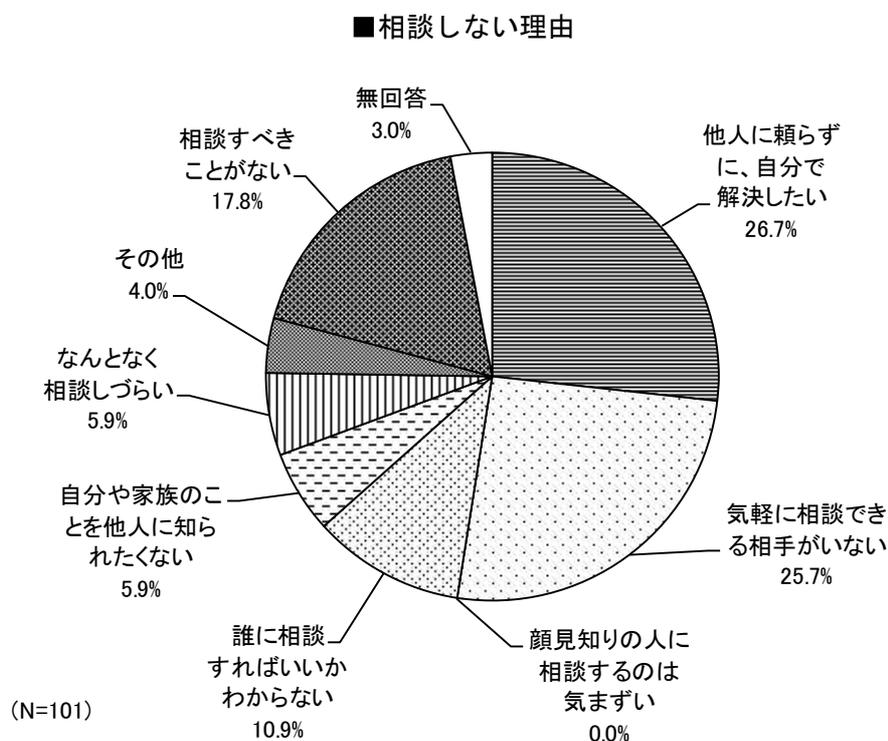
相談先については、「家族」が77.1%で最も多く、次いで「(川口市にお住まいの)友人・知人」が22.3%、「親戚」が16.8%となっています。

■困ったときの相談先 (3つまで)



(5) 相談しない理由 (問 13-2)

問 13 で「相談しない」と回答した方にその理由をきいたところ、「他人に頼らずに、自分で解決したい」が 26.7% で最も多く、次いで「気軽に相談できる相手がない」が 25.7%、「相談すべきことがない」が 17.8% となっています。



居住地域別にみると、青木地域は「自分や家族のことを他人に知られたくない」「なんとなく相談しづらい」、南平地域は「気軽に相談できる相手がない」、新郷地域は「他人に頼らずに、自分で解決したい」「気軽に相談できる相手がない」、神根地域は「他人に頼らずに、自分で解決したい」、安行地域は「相談すべきことがない」、戸塚地域は「相談すべきことがない」、鳩ヶ谷地域は「他人に頼らずに、自分で解決したい」が全体に比べて多くなっています。

■相談しない理由（居住地域別）

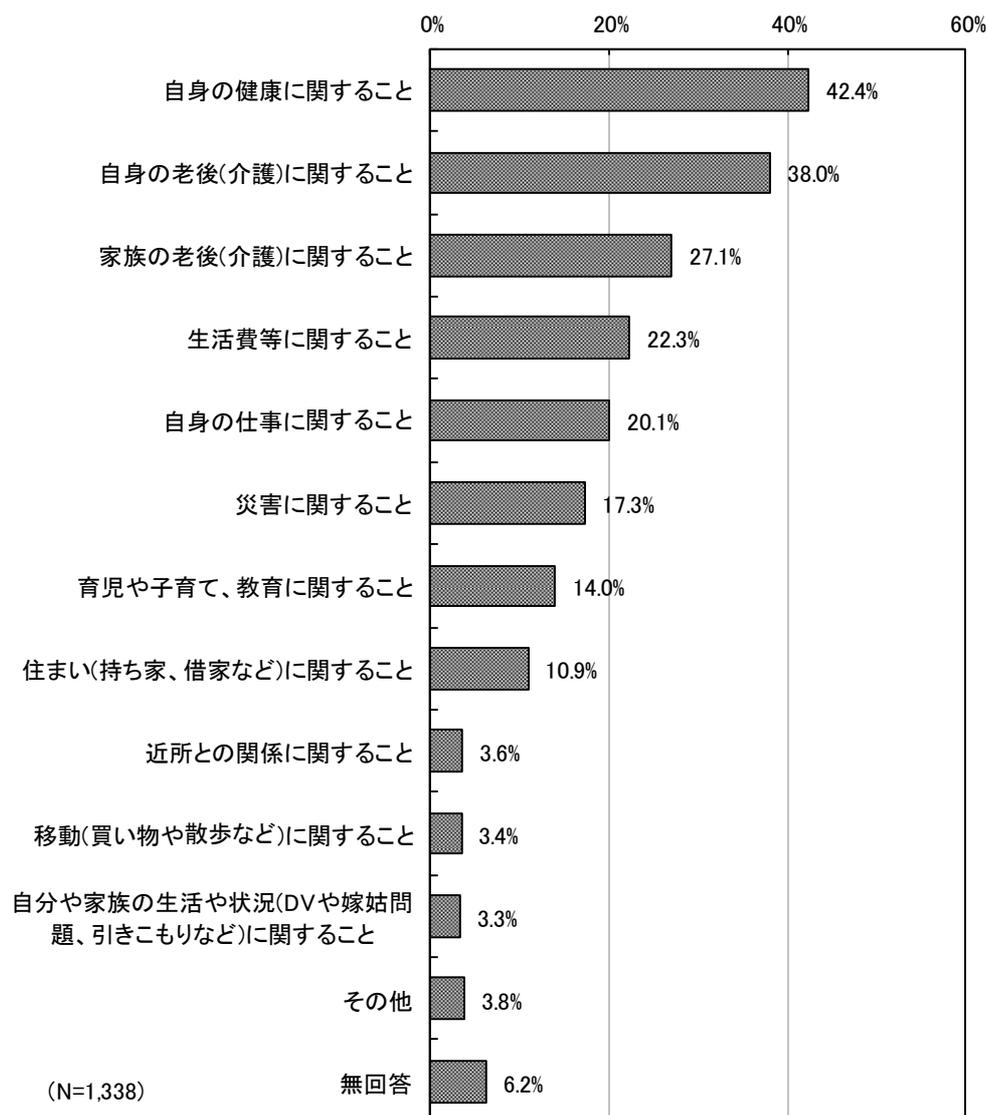
	合 計	1. 他人に頼らずに、自分で解決したい	2. 気軽に相談できる相手がない	3. 顔見知りの人に相談するのは気まずい	4. 誰に相談すればいいかわからない	5. 自分や家族のことを他人に知られたくない	6. なんとなく相談しづらい	7. その他	8. 相談すべきことがない	9. 無回答	
全 体	101 (100.0)	27 (26.7)	26 (25.7)	0 (-)	11 (10.9)	6 (5.9)	6 (5.9)	4 (4.0)	18 (17.8)	3 (3.0)	
問 9 ・ 居 住 地 域	1. 中央地域	6 (100.0)	2 (33.3)	2 (33.3)	0 (-)	1 (16.7)	0 (-)	0 (-)	1 (16.7)	0 (-)	
	2. 横曽根地域	17 (100.0)	3 (17.6)	6 (35.3)	0 (-)	1 (5.9)	1 (5.9)	1 (11.8)	3 (17.6)	0 (-)	
	3. 青木地域	15 (100.0)	2 (13.3)	2 (13.3)	0 (-)	2 (13.3)	3 (20.0)	4 (26.7)	1 (6.7)	0 (-)	
	4. 南平地域	5 (100.0)	0 (-)	2 (40.0)	0 (-)	1 (20.0)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0)	1 (20.0)	
	5. 新郷地域	5 (100.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	0 (-)	1 (20.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
	6. 神根地域	8 (100.0)	3 (37.5)	1 (12.5)	0 (-)	1 (12.5)	0 (-)	1 (12.5)	0 (-)	2 (25.0)	0 (-)
	7. 芝地域	15 (100.0)	5 (33.3)	5 (33.3)	0 (-)	2 (13.3)	1 (6.7)	0 (-)	0 (-)	1 (6.7)	1 (6.7)
	8. 安行地域	10 (100.0)	2 (20.0)	2 (20.0)	0 (-)	1 (10.0)	1 (10.0)	0 (-)	0 (-)	3 (30.0)	1 (10.0)
	9. 戸塚地域	9 (100.0)	2 (22.2)	2 (22.2)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	5 (55.6)	0 (-)
	10. 鳩ヶ谷地域	9 (100.0)	5 (55.6)	1 (11.1)	0 (-)	1 (11.1)	0 (-)	0 (-)	1 (11.1)	1 (11.1)	0 (-)
	11. 無回答	2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(6) 悩みや不安 (問 14)

悩みや不安については、「自分の健康に関すること」が 42.4%で最も多く、次いで「自身の老後(介護)に関すること」が 38.0%、「家族の老後(介護)に関すること」が 27.1%となっています。

■ 悩みや不安 (3つまで)



年齢別にみると、18～39歳は「自身の仕事に関すること」「育児や子育て、教育に関すること」、65～74歳は「自身の老後（介護）に関すること」、75歳以上は「自身の健康に関すること」「自身の老後（介護）に関すること」が全体に比べ多くなっています。

■悩みや不安（年齢別）

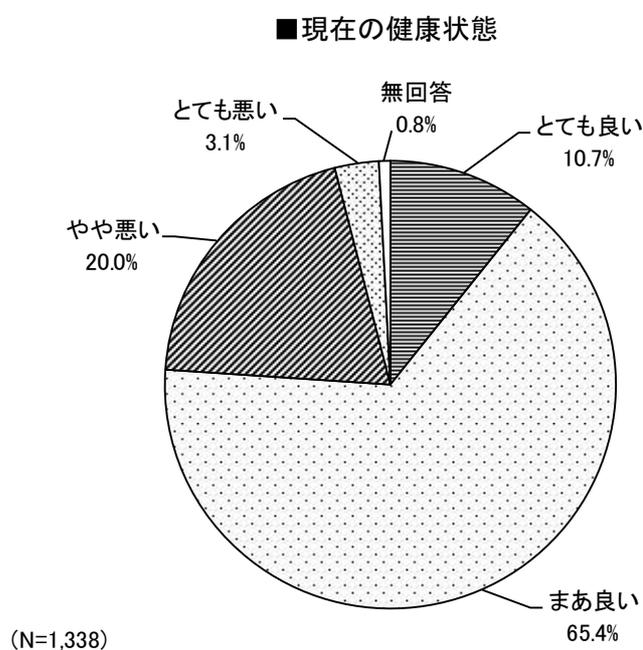
	回答者数	合計	1. 自身の健康に関する こと	2. 自身の仕事に関する こと	3. 自身の老後（介護） に関する こと	4. 家族の老後（介護） に関する こと	5. 生活費等 に関する こと	6. 近所との 関係に 関する こと	7. 育児や子 育て、教 育に 関する こと	8. 自分や家 族の生活 や状況 (DVや嫁 姑問題、 引きこも りなど) に 関する	
全 体	1,338 (100.0)	2,842 (212.4)	567 (42.4)	269 (20.1)	509 (38.0)	362 (27.1)	299 (22.3)	48 (3.6)	187 (14.0)	44 (3.3)	
問 2 ・ 年 齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	77 (27.5)	107 (38.2)	41 (14.6)	42 (15.0)	81 (28.9)	13 (4.6)	90 (32.1)	15 (5.4)	
	2. 40～64歳	581 (100.0)	235 (225.8)	143 (40.4)	236 (40.6)	199 (34.3)	128 (22.0)	25 (4.3)	96 (16.5)	20 (3.4)	
	3. 65～74歳	241 (100.0)	487 (202.1)	123 (51.0)	15 (6.2)	119 (49.4)	65 (27.0)	53 (22.0)	3 (1.2)	1 (0.4)	3 (1.2)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	430 (192.0)	124 (55.4)	3 (1.3)	108 (48.2)	49 (21.9)	36 (16.1)	7 (3.1)	0 (-)	5 (2.2)
	5. 無回答	12 (100.0)	28 (233.3)	8 (66.7)	1 (8.3)	5 (41.7)	7 (58.3)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)

	9. 移動(買 い物や散 歩など) に 関する こと	10. 災害に 関 する こと	11. 住まい (持ち 家、借家 など)に 関 する こと	12. その他	13. 無回答	
全 体	46 (3.4)	231 (17.3)	146 (10.9)	51 (3.8)	83 (6.2)	
問 2 ・ 年 齢	1. 18～39歳	10 (3.6)	43 (15.4)	36 (12.9)	14 (5.0)	16 (5.7)
	2. 40～64歳	13 (2.2)	102 (17.6)	76 (13.1)	17 (2.9)	22 (3.8)
	3. 65～74歳	9 (3.7)	47 (19.5)	21 (8.7)	9 (3.7)	19 (7.9)
	4. 75歳以上	13 (5.8)	38 (17.0)	12 (5.4)	11 (4.9)	24 (10.7)
	5. 無回答	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (-)	2 (16.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(7) 現在の健康状況 (問 15)

現在の健康状況については、「まあ良い」が 65.4%で最も多く、次いで「やや悪い」が 20.0%となっています。



年齢別にみると、18～39歳は「とても良い」、75歳以上は「やや悪い」が全体に比べ多くなっています。

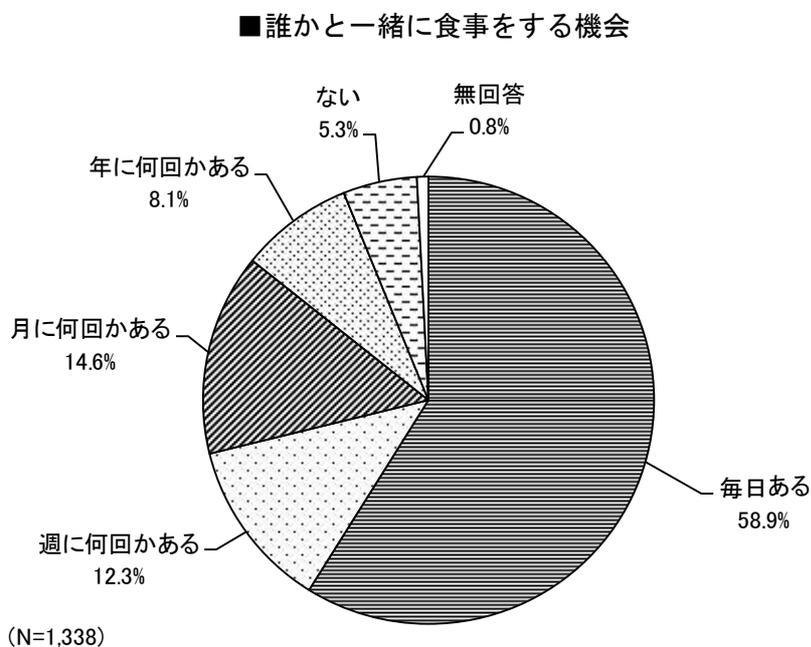
■現在の健康状態 (年齢別)

		合 計	1. とても良い	2. まあ良い	3. やや悪い	4. とても悪い	5. 無回答
全 体		1,338 (100.0)	143 (10.7)	875 (65.4)	267 (20.0)	42 (3.1)	11 (0.8)
問 2 ・ 年 齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	68 (24.3)	169 (60.4)	37 (13.2)	6 (2.1)	0 (-)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	48 (8.3)	421 (72.5)	97 (16.7)	13 (2.2)	2 (0.3)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	17 (7.1)	161 (66.8)	54 (22.4)	8 (3.3)	1 (0.4)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	9 (4.0)	120 (53.6)	75 (33.5)	13 (5.8)	7 (3.1)
	5. 無回答	12 (100.0)	1 (8.3)	4 (33.3)	4 (33.3)	2 (16.7)	1 (8.3)

注：()内はツブ #数を100とした割合

(8) 誰かと一緒に食事をする機会 (問 16)

誰かと一緒に食事をする機会については、「毎日ある」が 58.9%で最も多く、次いで「月に何回かある」が 14.6%となっています。



年齢別にみると、75歳以上は「毎日ある」が全体に比べ少なくなっています。

■ 誰かと一緒に食事をする機会 (年齢別)

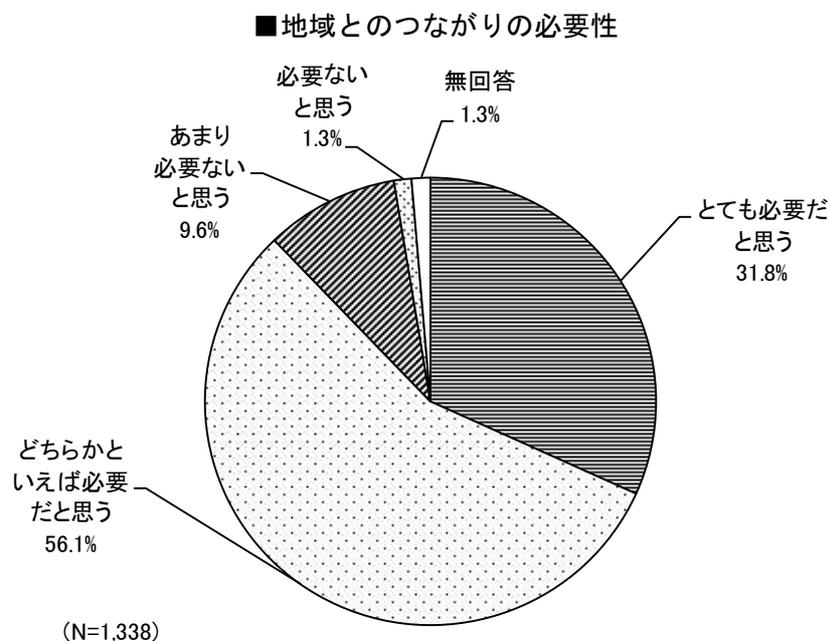
		合 計	1. 毎日ある	2. 週に何回かある	3. 月に何回かある	4. 年に何回かある	5. ない	6. 無回答
全 体		1,338 (100.0)	788 (58.9)	164 (12.3)	195 (14.6)	109 (8.1)	71 (5.3)	11 (0.8)
問 2 ・ 年 齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	176 (62.9)	47 (16.8)	35 (12.5)	11 (3.9)	10 (3.6)	1 (0.4)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	368 (63.3)	84 (14.5)	65 (11.2)	42 (7.2)	21 (3.6)	1 (0.2)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	133 (55.2)	15 (6.2)	50 (20.7)	25 (10.4)	17 (7.1)	1 (0.4)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	101 (45.1)	18 (8.0)	43 (19.2)	31 (13.8)	23 (10.3)	8 (3.6)
	5. 無回答	12 (100.0)	10 (83.3)	0 (-)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

3. 地域とのつながりについて

(1) 地域とのつながりの必要性（問17）

地域とのつながりの必要性については、「どちらかといえば必要だと思う」が 56.1%で最も多く、次いで「とても必要だと思う」が 31.8%となっています。



定住意向別にみると、できれば転出したいは「どちらかといえば必要だと思う」が、「転出したい」は「必要ないと思う」が全体に比べ多くなっています。

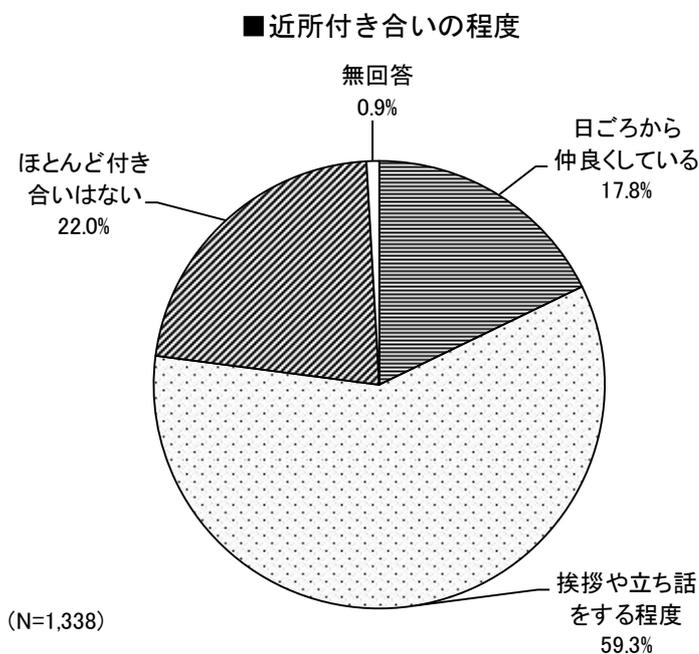
■ 地域とのつながりの必要性（定住意向別）

		合計	1. とても必要だと思う	2. どちらかといえば必要だと思う	3. あまり必要ないと思う	4. 必要ないと思う	5. 無回答
全体		1,338 (100.0)	425 (31.8)	750 (56.1)	128 (9.6)	17 (1.3)	18 (1.3)
問10 定住意向	1. ずっと住み続けたい	514 (100.0)	209 (40.7)	251 (48.8)	42 (8.2)	6 (1.2)	6 (1.2)
	2. できれば住み続けたい	589 (100.0)	165 (28.0)	354 (60.1)	59 (10.0)	6 (1.0)	5 (0.8)
	3. できれば転出したい	160 (100.0)	29 (18.1)	108 (67.5)	20 (12.5)	0 (-)	3 (1.9)
	4. 転出したい	35 (100.0)	11 (31.4)	16 (45.7)	3 (8.6)	5 (14.3)	0 (-)
	5. 無回答	40 (100.0)	11 (27.5)	21 (52.5)	4 (10.0)	0 (-)	4 (10.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(2) 近所付き合いの程度 (問 18)

近所付き合いについては、「日頃から仲良くしている」が 17.8、「挨拶や立ち話をする程度」が 59.3%で最も多く、「ほとんど付き合いはない」が 22.0%となっています。



年齢別にみると、18～39歳は「ほとんど付き合いがない」、75歳以上は「日頃から仲良くしている（困ったときに助け合える）」が全体に比べ多くなっています。

■ 近所付き合いの程度 (年齢別)

		合計	1. 日頃から仲良くしている (困ったときに助け合える)	2. 挨拶や立ち話をする程度	3. ほとんど付き合いはない	4. 無回答
全体		1,338 (100.0)	238 (17.8)	793 (59.3)	295 (22.0)	12 (0.9)
問2 年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	24 (8.6)	154 (55.0)	101 (36.1)	1 (0.4)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	73 (12.6)	373 (64.2)	134 (23.1)	1 (0.2)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	59 (24.5)	144 (59.8)	36 (14.9)	2 (0.8)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	79 (35.3)	117 (52.2)	21 (9.4)	7 (3.1)
	5. 無回答	12 (100.0)	3 (25.0)	5 (41.7)	3 (25.0)	1 (8.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合

定住意向別にみると、転出したいは「ほとんど付き合いがない」が全体に比べ多くなっています。

■近所付き合いの程度（定住意向別）

		合 計	1. 日ごろか ら仲良く している (困った ときに助 け合え	2. 挨拶や立 ち話をす る程度	3. ほとんど 付き合い はない	4. 無回答
全 体		1,338 (100.0)	238 (17.8)	793 (59.3)	295 (22.0)	12 (0.9)
問 10 ・ 定 住 意 向	1. ずっと住み続けたい	514 (100.0)	136 (26.5)	308 (59.9)	67 (13.0)	3 (0.6)
	2. できれば住み続けたい	589 (100.0)	75 (12.7)	353 (59.9)	155 (26.3)	6 (1.0)
	3. できれば転出したい	160 (100.0)	15 (9.4)	101 (63.1)	43 (26.9)	1 (0.6)
	4. 転出したい	35 (100.0)	1 (2.9)	15 (42.9)	19 (54.3)	0 (-)
	5. 無回答	40 (100.0)	11 (27.5)	16 (40.0)	11 (27.5)	2 (5.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合

地域とのつながりの必要性別にみると、とても必要だと思うは「日ごろから仲良くしている（困ったときに助け合える）」、あまり必要ないと思う・必要ないと思うは「ほとんど付き合いはない」が全体に比べ多くなっています。

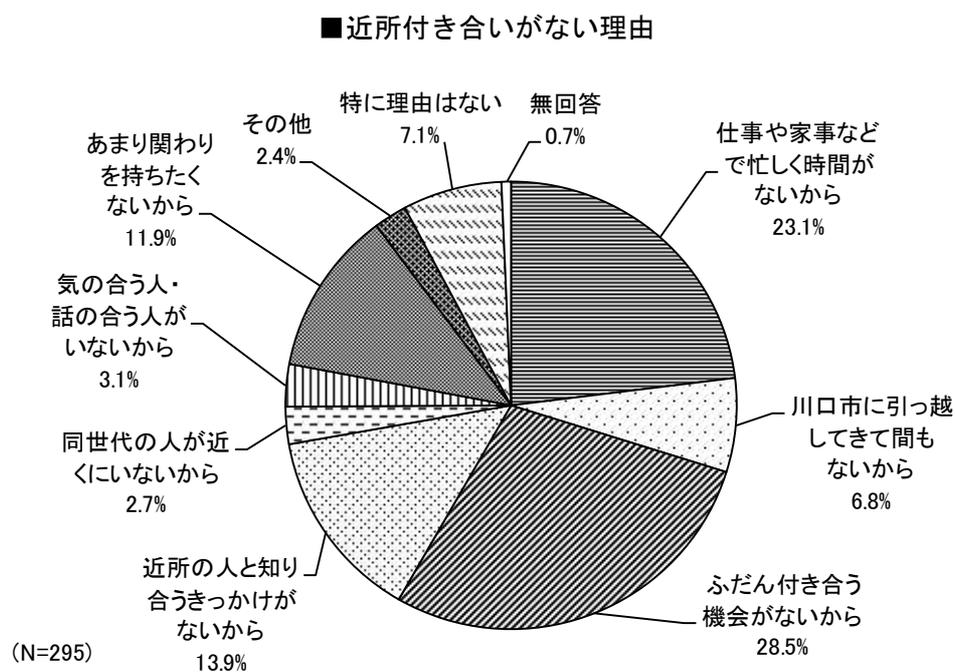
■近所付き合いの程度（地域とのつながりの必要性別）

		合 計	1. 日ごろか ら仲良く している (困った ときに助 け合え	2. 挨拶や立 ち話をす る程度	3. ほとんど 付き合い はない	4. 無回答
全 体		1,338 (100.0)	238 (17.8)	793 (59.3)	295 (22.0)	12 (0.9)
問 17 ・ 地 域 と の つ な が り	1. とても必要だと思う	425 (100.0)	144 (33.9)	240 (56.5)	38 (8.9)	3 (0.7)
	2. どちらかといえば必要だと思う	750 (100.0)	87 (11.6)	476 (63.5)	184 (24.5)	3 (0.4)
	3. あまり必要ないと思う	128 (100.0)	4 (3.1)	68 (53.1)	56 (43.8)	0 (-)
	4. 必要ないと思う	17 (100.0)	0 (-)	4 (23.5)	13 (76.5)	0 (-)
	5. 無回答	18 (100.0)	3 (16.7)	5 (27.8)	4 (22.2)	6 (33.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合

(3) 近所付き合いがない理由 (問 18-2)

問 18 で「ほとんど付き合いはない」と回答した方に、その理由をきいたところ、「ふだん付き合いの機会がないから」が 28.5%で最も多く、次いで「仕事や家事などで忙しく時間がないから」が 23.1%、「近所の人と知り合うきっかけがないから」が 13.9%、となっています。



居住地域別にみると、中央地域は「あまり関わりを持ちたくないから」、新郷地域は「あまり関わりを持ちたくないから」「特に理由はない」、安行地域・戸塚地域は「仕事や家事などで忙しく時間がないから」が全体に比べ多くなっています。

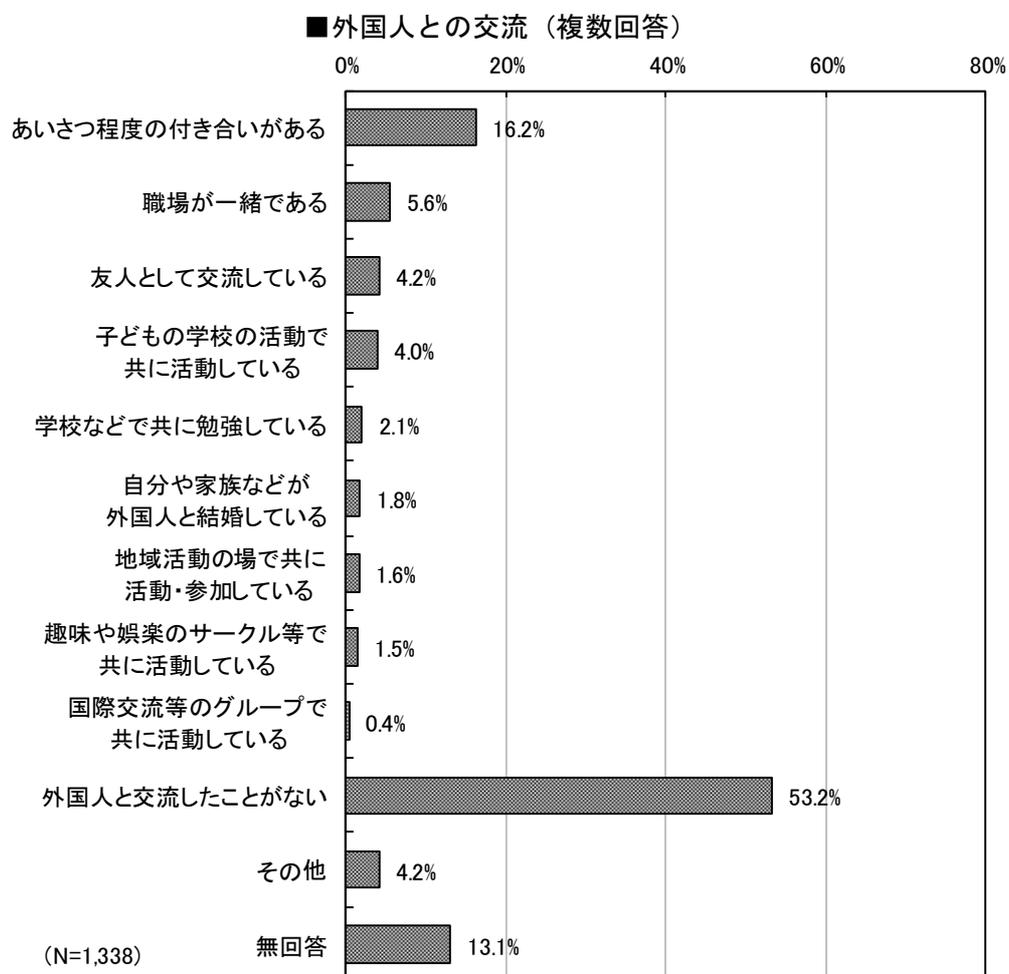
■近所付き合いがない理由（居住地域別）

	合 計	1. 仕事や家事などで忙しく時間がないから	2. 川口市に引っ越してきて間もないから	3. ふだん付き合う機会がないから	4. 近所の人と知り合いうきかけがないから	5. 同世代の人が近くにいないから	6. 気の合う人・話の合う人がいないから	7. あまり関わりを持ちたくないから	8. その他	9. 特に理由はない	10. 無回答
全 体	295 (100.0)	68 (23.1)	20 (6.8)	84 (28.5)	41 (13.9)	8 (2.7)	9 (3.1)	35 (11.9)	7 (2.4)	21 (7.1)	2 (0.7)
問 9 ・ 居 住 地 域	1. 中央地域	26 (100.0)	1 (3.8)	1 (3.8)	9 (34.6)	6 (23.1)	1 (3.8)	1 (3.8)	6 (23.1)	1 (3.8)	0 (-)
	2. 横曽根地域	45 (100.0)	9 (20.0)	4 (8.9)	13 (28.9)	7 (15.6)	2 (4.4)	1 (2.2)	6 (13.3)	1 (2.2)	2 (4.4)
	3. 青木地域	33 (100.0)	5 (15.2)	2 (6.1)	9 (27.3)	4 (12.1)	0 (-)	2 (6.1)	6 (18.2)	0 (-)	4 (12.1)
	4. 南平地域	31 (100.0)	10 (32.3)	1 (3.2)	9 (29.0)	6 (19.4)	0 (-)	0 (-)	1 (3.2)	1 (3.2)	3 (9.7)
	5. 新郷地域	13 (100.0)	4 (30.8)	1 (7.7)	0 (-)	0 (-)	1 (7.7)	0 (-)	3 (23.1)	0 (-)	3 (23.1)
	6. 神根地域	18 (100.0)	4 (22.2)	1 (5.6)	5 (27.8)	2 (11.1)	1 (5.6)	1 (5.6)	1 (5.6)	1 (5.6)	2 (11.1)
	7. 芝地域	40 (100.0)	8 (20.0)	0 (-)	13 (32.5)	7 (17.5)	1 (2.5)	2 (5.0)	6 (15.0)	2 (5.0)	1 (2.5)
	8. 安行地域	17 (100.0)	6 (35.3)	2 (11.8)	5 (29.4)	1 (5.9)	0 (-)	0 (-)	1 (5.9)	0 (-)	2 (11.8)
	9. 戸塚地域	39 (100.0)	13 (33.3)	3 (7.7)	14 (35.9)	5 (12.8)	0 (-)	2 (5.1)	1 (2.6)	1 (2.6)	0 (-)
	10. 鳩ヶ谷地域	32 (100.0)	8 (25.0)	5 (15.6)	7 (21.9)	2 (6.3)	2 (6.3)	0 (-)	4 (12.5)	0 (-)	4 (12.5)
	11. 無回答	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(4) 市内で活動している外国人との交流（問 19）

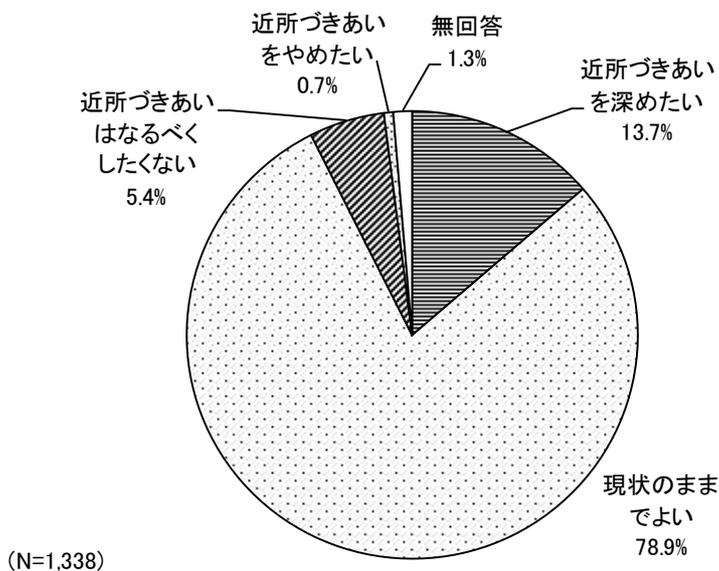
市内で活動している外国人との交流については、「外国人と交流したことがない」が 53.2%で最も多く、「交流がある」中では「あいさつ程度の付き合いがある」が 16.2%で最も多く、次いで「職場が一緒である」が 5.6%となっています。



(5) 今後の近所付き合いについての意向 (問 20)

近所付き合いについては、「現状のままでよい」が 78.9%で最も多く、次いで「近所付き合いを深めたい」が 13.7%となっています。

■今後の近所付き合い意向



定住意向別にみると、転出したいは「近所付き合いをやめたい」が全体に比べ多くなっています。

■今後の近所付き合い意向 (定住意向別)

		合計	1. 近所づきあいを深めたい	2. 現状のままでよい	3. 近所づきあいはなるべくしたくない	4. 近所づきあいをやめたい	5. 無回答
全体		1,338 (100.0)	183 (13.7)	1,056 (78.9)	72 (5.4)	9 (0.7)	18 (1.3)
問10 定住意向	1. ずっと住み続けたい	514 (100.0)	81 (15.8)	409 (79.6)	18 (3.5)	4 (0.8)	2 (0.4)
	2. できれば住み続けたい	589 (100.0)	81 (13.8)	465 (78.9)	34 (5.8)	0 (-)	9 (1.5)
	3. できれば転出したい	160 (100.0)	14 (8.8)	124 (77.5)	18 (11.3)	1 (0.6)	3 (1.9)
	4. 転出したい	35 (100.0)	2 (5.7)	25 (71.4)	2 (5.7)	4 (11.4)	2 (5.7)
	5. 無回答	40 (100.0)	5 (12.5)	33 (82.5)	0 (-)	0 (-)	2 (5.0)

注: ()内はパーセント数を100とした割合

地域とのつながりの必要性別にみると、とても必要だと思うは「近所付き合いを深めたい」、あまり必要ないと思うは「近所付き合いはなるべくしたくない」、必要ないと思うは「近所付き合いをやめたい」が全体に比べ多くなっています。

■今後の近所付き合い意向（地域とのつながりの必要性別）

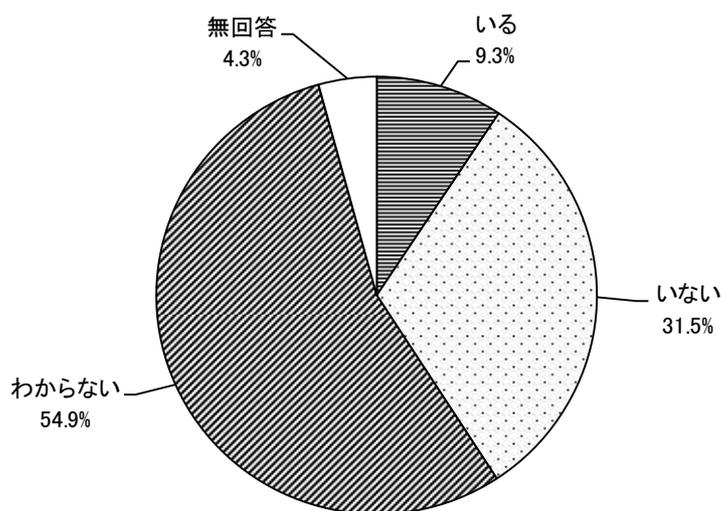
		合計	1. 近所づき あいを深 めたい	2. 現状のま までよい	3. 近所づき あいはな るべくし たくない	4. 近所づき あいをや めたい	5. 無回答
全 体		1,338 (100.0)	183 (13.7)	1,056 (78.9)	72 (5.4)	9 (0.7)	18 (1.3)
問 17 ・ 地 域 と の つ な が り	1. とても必要だと思う	425 (100.0)	128 (30.1)	289 (68.0)	4 (0.9)	1 (0.2)	3 (0.7)
	2. どちらかといえば必要だと思う	750 (100.0)	52 (6.9)	658 (87.7)	32 (4.3)	1 (0.1)	7 (0.9)
	3. あまり必要ないと思う	128 (100.0)	2 (1.6)	91 (71.1)	33 (25.8)	1 (0.8)	1 (0.8)
	4. 必要ないと思う	17 (100.0)	0 (-)	8 (47.1)	2 (11.8)	6 (35.3)	1 (5.9)
	5. 無回答	18 (100.0)	1 (5.6)	10 (55.6)	1 (5.6)	0 (-)	6 (33.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(6) 日常生活を送るうえで困っている方の有無（問21）

困っている方については、「いる」が9.3%、「いない」が31.5%、「わからない」が54.9%となっています。

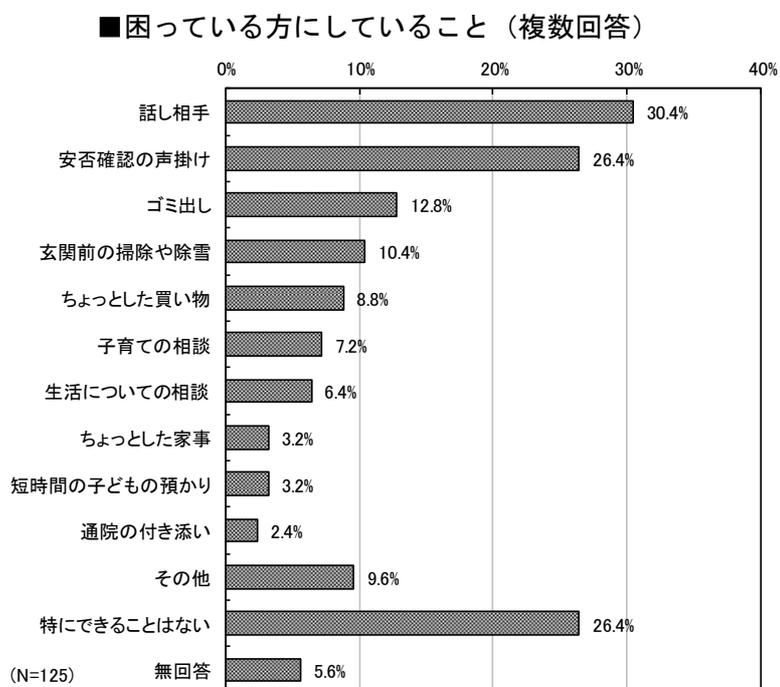
■困っている方の有無



(N=1,338)

(7) 現在、困っている方にしていること (問 21-2)

問 21 で「いる」と回答した方に、困っている方にしていることは、「話し相手」が 30.4% で最も多く、次いで「安否確認の声掛け」が 26.4% となっています。また「特にできることはない」も多くなっています。



年齢別にみると、65～74歳は「安否確認の声掛け」「話し相手」「ゴミ出し」「玄関前の掃除や除雪」が全体に比べ多くなっています。

■困っている方にしていること（年齢別）

	回答者数	合計	1. 安否確認の声掛け	2. 話し相手	3. ちょっとした家事	4. ちょっとした買い物	5. ゴミ出し	6. 玄関前の掃除や除雪	7. 通院の付き添い	8. 短時間の子どもの預かり
全体	125 (100.0)	191 (152.8)	33 (26.4)	38 (30.4)	4 (3.2)	11 (8.8)	16 (12.8)	13 (10.4)	3 (2.4)	4 (3.2)
問2・年齢	1. 18～39歳	24 (100.0)	38 (158.3)	7 (29.2)	9 (37.5)	0 (-)	3 (12.5)	1 (4.2)	0 (-)	2 (8.3)
	2. 40～64歳	50 (100.0)	76 (152.0)	10 (20.0)	15 (30.0)	2 (4.0)	4 (8.0)	6 (12.0)	6 (12.0)	1 (2.0)
	3. 65～74歳	23 (100.0)	44 (191.3)	10 (43.5)	10 (43.5)	1 (4.3)	2 (8.7)	6 (26.1)	5 (21.7)	0 (4.3)
	4. 75歳以上	26 (100.0)	30 (115.4)	6 (23.1)	4 (15.4)	0 (-)	1 (3.8)	3 (11.5)	2 (7.7)	0 (-)
	5. 無回答	2 (100.0)	3 (150.0)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

	9. 子育ての相談	10. 生活についての相談	11. その他	12. 特にできることはない	13. 無回答	
全体	9 (7.2)	8 (6.4)	12 (9.6)	33 (26.4)	7 (5.6)	
問2・年齢	1. 18～39歳	4 (16.7)	1 (4.2)	2 (8.3)	8 (33.3)	0 (-)
	2. 40～64歳	4 (8.0)	5 (10.0)	5 (10.0)	14 (28.0)	2 (4.0)
	3. 65～74歳	1 (4.3)	1 (4.3)	1 (4.3)	4 (17.4)	2 (8.7)
	4. 75歳以上	0 (-)	1 (3.8)	4 (15.4)	6 (23.1)	3 (11.5)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

居住地域別にみると、中央地域は「ちょっとした買い物」「通院の付き添い」「短時間の子どもの預かり」「子育ての相談」、横曽根地域は「安否確認の声掛け」「生活についての相談」、青木地域・南平地域は「安否確認の声掛け」、神根地域は「話し相手」「ちょっとした家事」「ちょっとした買い物」「ゴミ出し」「特にできることはない」、芝地域は「特にできることはない」、安行地域は「話し相手」「玄関前の掃除や除雪」が全体に比べ多くなっています。

■困っている方にしていること（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 安否確認 の声掛け	2. 話し相手	3. ちょっと した家事	4. ちょっと した買い 物	5. ゴミ出し	6. 玄関前の 掃除や除 雪	7. 通院の付 き添い	8. 短時間の 子どもの 預かり
全 体	125 (100.0)	191 (152.8)	33 (26.4)	38 (30.4)	4 (3.2)	11 (8.8)	16 (12.8)	13 (10.4)	3 (2.4)	4 (3.2)
問 9 ・ 居 住 地 域	1. 中央地域	5 (100.0)	7 (140.0)	0 (-)	1 (20.0)	0 (-)	1 (20.0)	1 (20.0)	0 (-)	1 (20.0)
	2. 横曽根地域	18 (100.0)	29 (161.1)	7 (38.9)	6 (33.3)	0 (-)	2 (11.1)	3 (16.7)	3 (16.7)	0 (-)
	3. 青木地域	17 (100.0)	23 (135.3)	7 (41.2)	4 (23.5)	0 (-)	1 (5.9)	1 (5.9)	3 (17.6)	0 (-)
	4. 南平地域	13 (100.0)	20 (153.8)	6 (46.2)	5 (38.5)	0 (-)	0 (-)	2 (15.4)	2 (15.4)	0 (-)
	5. 新郷地域	11 (100.0)	17 (154.5)	2 (18.2)	4 (36.4)	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	6. 神根地域	14 (100.0)	31 (221.4)	2 (14.3)	6 (42.9)	2 (14.3)	4 (28.6)	4 (28.6)	2 (14.3)	1 (7.1)
	7. 芝地域	17 (100.0)	23 (135.3)	2 (11.8)	1 (5.9)	1 (5.9)	1 (5.9)	3 (17.6)	2 (11.8)	0 (-)
	8. 安行地域	2 (100.0)	3 (150.0)	0 (-)	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)	0 (-)
	9. 戸塚地域	13 (100.0)	16 (123.1)	2 (15.4)	5 (38.5)	0 (-)	0 (-)	1 (7.7)	0 (-)	0 (-)
	10. 鳩ヶ谷地域	14 (100.0)	21 (150.0)	5 (35.7)	5 (35.7)	0 (-)	1 (7.1)	1 (7.1)	0 (-)	1 (7.1)
	11. 無回答	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

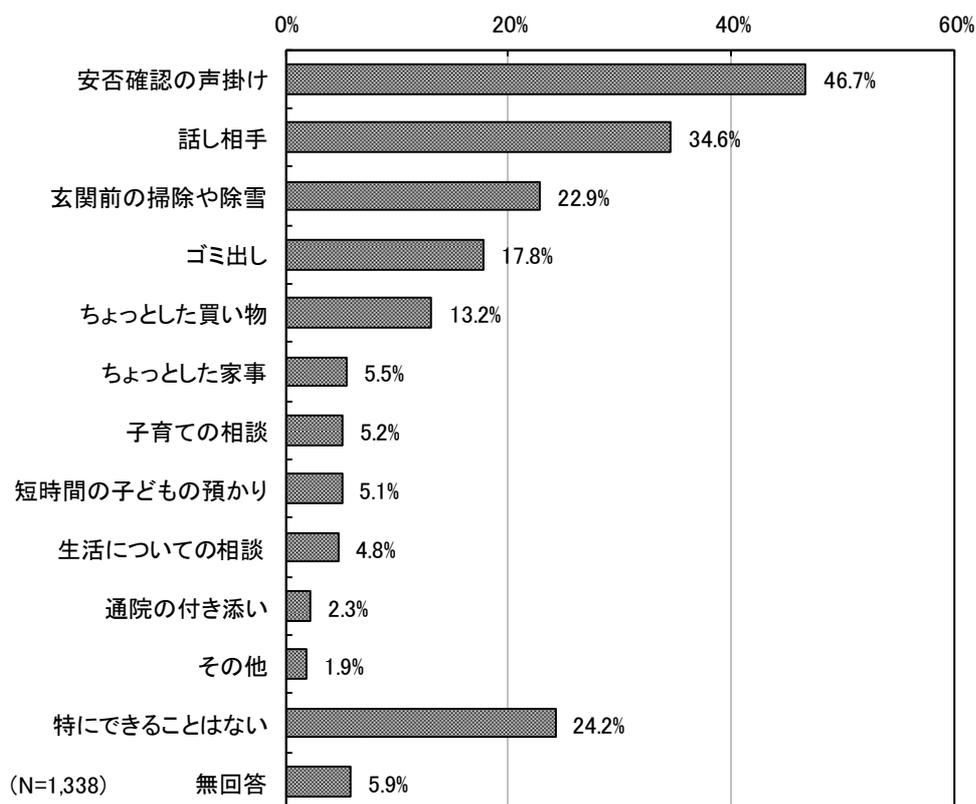
	9. 子育ての 相談	10. 生活につ いての相 談	11. その他	12. 特にでき ることは ない	13. 無回答	
全 体	9 (7.2)	8 (6.4)	12 (9.6)	33 (26.4)	7 (5.6)	
問 9 ・ 居 住 地 域	1. 中央地域	1 (20.0)	0 (-)	0 (-)	1 (20.0)	0 (-)
	2. 横曽根地域	1 (5.6)	3 (16.7)	2 (11.1)	2 (11.1)	0 (-)
	3. 青木地域	2 (11.8)	0 (-)	0 (-)	4 (23.5)	1 (5.9)
	4. 南平地域	0 (-)	1 (7.7)	0 (-)	3 (23.1)	1 (7.7)
	5. 新郷地域	1 (9.1)	1 (9.1)	4 (36.4)	2 (18.2)	1 (9.1)
	6. 神根地域	1 (7.1)	1 (7.1)	0 (-)	6 (42.9)	1 (7.1)
	7. 芝地域	2 (11.8)	0 (-)	1 (5.9)	7 (41.2)	1 (5.9)
	8. 安行地域	0 (-)	0 (-)	1 (50.0)	0 (-)	0 (-)
	9. 戸塚地域	1 (7.7)	1 (7.7)	2 (15.4)	4 (30.8)	0 (-)
	10. 鳩ヶ谷地域	0 (-)	1 (7.1)	2 (14.3)	4 (28.6)	1 (7.1)
	11. 無回答	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)

注：()内はツブA #数を100とした割合

(8) 困っている方がいる場合にできること (問 22)

困っている方にできることについては、「安否確認の声掛け」が 46.7%で最も多く、次いで「話し相手」が 34.6%、「特にできることはない」が 24.2%となっています。

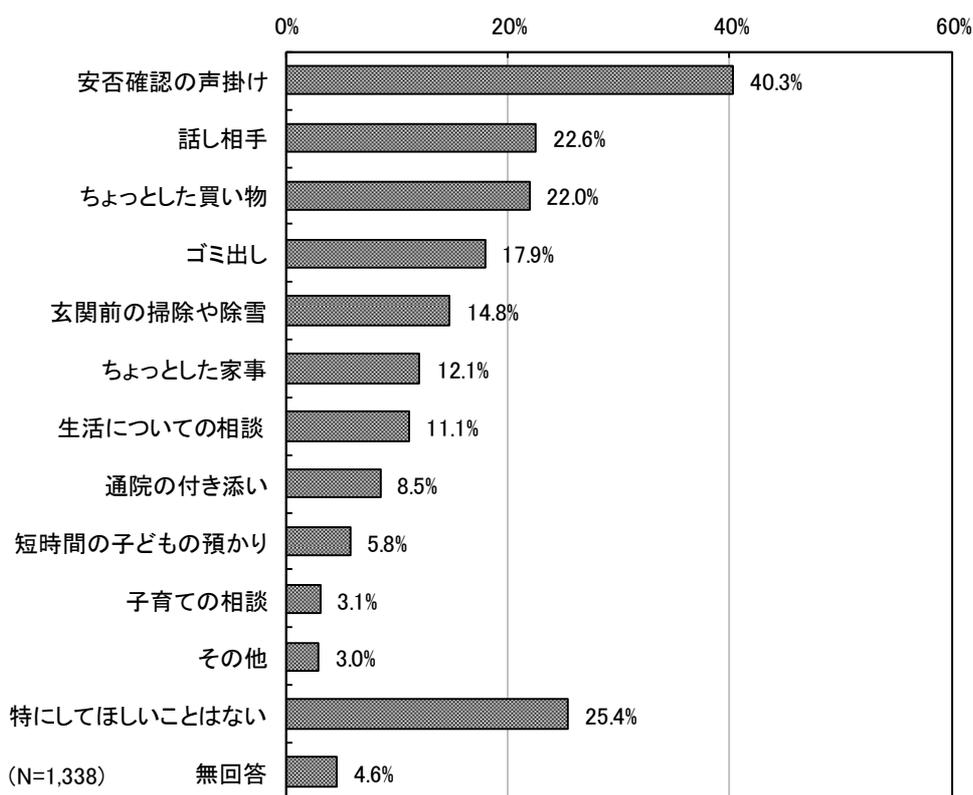
■ 困っている方にできること (複数回答)



**(9) 日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合に手助けをしてもらいたいこと
(問 23)**

手助けをしてもらいたいことについては、「安否確認の声掛け」が 40.3%で最も多く、次いで「特にしてほしいことはない」が 25.4%、「話し相手」が 22.6%となっています。

■手助けをしてもらいたいこと（複数回答）



年齢別にみると、18～39歳は「短時間の子どもの預かり」が全体に比べ多くなっています。

■手助けをしてもらいたいこと（年齢別）

	回答者数	合計	1. 安否確認の声掛け	2. 話し相手	3. ちょっとした家事	4. ちょっとした買い物	5. ゴミ出し	6. 玄関前の掃除や除雪	7. 通院の付き添い	8. 短時間の子どもの預かり	
全体	1,338 (100.0)	2,560 (191.3)	539 (40.3)	302 (22.6)	162 (12.1)	294 (22.0)	240 (17.9)	198 (14.8)	114 (8.5)	78 (5.8)	
問2・年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	560 (200.0)	112 (40.0)	58 (20.7)	34 (12.1)	65 (23.2)	37 (13.2)	29 (10.4)	13 (4.6)	53 (18.9)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	1,100 (189.3)	236 (40.6)	128 (22.0)	77 (13.3)	122 (21.0)	103 (17.7)	103 (17.7)	52 (9.0)	25 (4.3)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	455 (188.8)	96 (39.8)	54 (22.4)	24 (10.0)	64 (26.6)	59 (24.5)	38 (15.8)	24 (10.0)	0 (-)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	425 (189.7)	91 (40.6)	60 (26.8)	26 (11.6)	40 (17.9)	39 (17.4)	28 (12.5)	24 (10.7)	0 (-)
	5. 無回答	12 (100.0)	20 (166.7)	4 (33.3)	2 (16.7)	1 (8.3)	3 (25.0)	2 (16.7)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)

	9. 子育ての相談	10. 生活についての相談	11. その他	12. 特にしてほしいことはない	13. 無回答	
全体	42 (3.1)	149 (11.1)	40 (3.0)	340 (25.4)	62 (4.6)	
問2・年齢	1. 18～39歳	35 (12.5)	40 (14.3)	7 (2.5)	73 (26.1)	4 (1.4)
	2. 40～64歳	7 (1.2)	72 (12.4)	15 (2.6)	148 (25.5)	12 (2.1)
	3. 65～74歳	0 (-)	16 (6.6)	9 (3.7)	54 (22.4)	17 (7.1)
	4. 75歳以上	0 (-)	18 (8.0)	9 (4.0)	62 (27.7)	28 (12.5)
	5. 無回答	0 (-)	3 (25.0)	0 (-)	3 (25.0)	1 (8.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合

居住地域別にみると、神根地域は「玄関前の掃除や除雪」、戸塚地域は「安否確認の声掛け」が全体に比べ多くなっています。

■手助けをしてもらいたいこと（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 安否確認の声掛け	2. 話し相手	3. ちょっとした家事	4. ちょっとした買い物	5. ゴミ出し	6. 玄関前の掃除や除雪	7. 通院の付き添い	8. 短時間の子どもの預かり	
全体	1,338 (100.0)	2,560 (191.3)	539 (40.3)	302 (22.6)	162 (12.1)	294 (22.0)	240 (17.9)	198 (14.8)	114 (8.5)	78 (5.8)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	170 (182.8)	38 (40.9)	17 (18.3)	12 (12.9)	22 (23.7)	15 (16.1)	12 (12.9)	6 (6.5)	8 (8.6)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	292 (193.4)	58 (38.4)	24 (15.9)	28 (18.5)	40 (26.5)	28 (18.5)	18 (11.9)	12 (7.9)	11 (7.3)
	3. 青木地域	177 (100.0)	301 (170.1)	62 (35.0)	36 (20.3)	13 (7.3)	27 (15.3)	31 (17.5)	23 (13.0)	13 (7.3)	7 (4.0)
	4. 南平地域	144 (100.0)	277 (192.4)	52 (36.1)	35 (24.3)	17 (11.8)	32 (22.2)	26 (18.1)	20 (13.9)	16 (11.1)	9 (6.3)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	153 (182.1)	33 (39.3)	23 (27.4)	7 (8.3)	14 (16.7)	14 (16.7)	14 (16.7)	7 (8.3)	3 (3.6)
	6. 神根地域	116 (100.0)	228 (196.6)	41 (35.3)	26 (22.4)	17 (14.7)	26 (22.4)	22 (19.0)	31 (26.7)	12 (10.3)	3 (2.6)
	7. 芝地域	183 (100.0)	333 (182.0)	75 (41.0)	38 (20.8)	22 (12.0)	38 (20.8)	34 (18.6)	20 (10.9)	11 (6.0)	6 (3.3)
	8. 安行地域	81 (100.0)	138 (170.4)	31 (38.3)	17 (21.0)	6 (7.4)	16 (19.8)	12 (14.8)	13 (16.0)	9 (11.1)	6 (7.4)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	345 (224.0)	78 (50.6)	43 (27.9)	23 (14.9)	35 (22.7)	28 (18.2)	26 (16.9)	13 (8.4)	16 (10.4)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	308 (212.4)	67 (46.2)	42 (29.0)	17 (11.7)	41 (28.3)	28 (19.3)	21 (14.5)	15 (10.3)	9 (6.2)
	11. 無回答	10 (100.0)	15 (150.0)	4 (40.0)	1 (10.0)	0 (-)	3 (30.0)	2 (20.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

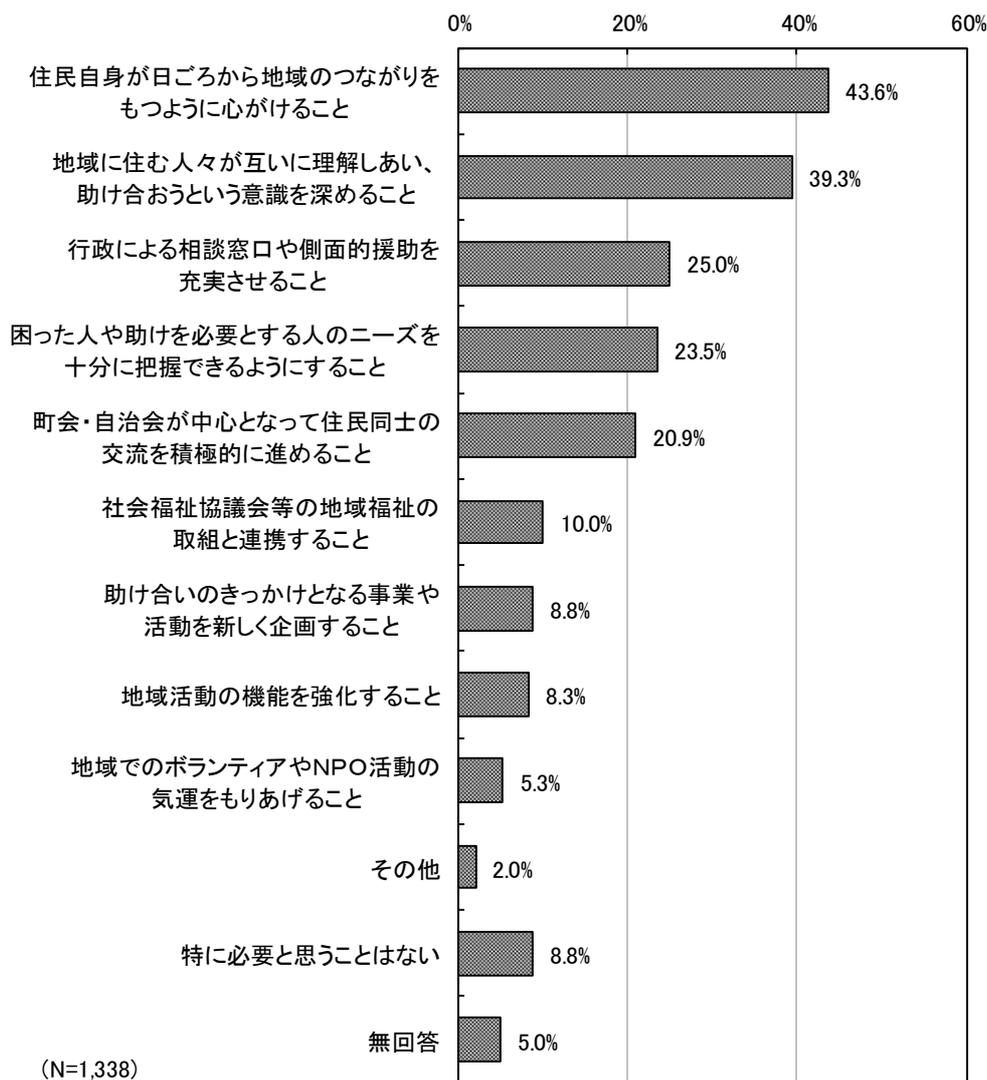
	9. 子育ての相談	10. 生活についての相談	11. その他	12. 特にしてほしいことはない	13. 無回答	
全体	42 (3.1)	149 (11.1)	40 (3.0)	340 (25.4)	62 (4.6)	
問9 居住地域	1. 中央地域	2 (2.2)	11 (11.8)	4 (4.3)	22 (23.7)	1 (1.1)
	2. 横曽根地域	6 (4.0)	11 (7.3)	8 (5.3)	38 (25.2)	10 (6.6)
	3. 青木地域	7 (4.0)	15 (8.5)	1 (0.6)	52 (29.4)	14 (7.9)
	4. 南平地域	3 (2.1)	18 (12.5)	6 (4.2)	39 (27.1)	4 (2.8)
	5. 新郷地域	0 (-)	4 (4.8)	2 (2.4)	26 (31.0)	6 (7.1)
	6. 神根地域	0 (-)	14 (12.1)	3 (2.6)	28 (24.1)	5 (4.3)
	7. 芝地域	3 (1.6)	24 (13.1)	4 (2.2)	45 (24.6)	13 (7.1)
	8. 安行地域	2 (2.5)	6 (7.4)	2 (2.5)	14 (17.3)	4 (4.9)
	9. 戸塚地域	14 (9.1)	24 (15.6)	4 (2.6)	40 (26.0)	1 (0.6)
	10. 鳩ヶ谷地域	5 (3.4)	21 (14.5)	5 (3.4)	34 (23.4)	3 (2.1)
	11. 無回答	0 (-)	1 (10.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	1 (10.0)

注：()内はサブ#数を100とした割合

(10) 地域で助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと（問 24）

助け合いの輪を広げていくために必要だと思うことについては、「住民自身が日頃から地域のつながりをもつように心がけること」が 43.6%で最も多く、次いで「地域に住む人々が互いに理解しあい、助け合おうという意識を深めること」が 39.3%、「行政による相談窓口や側面的援助を充実させること」が 25.0%となっています。

■ 助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと（3つまで）



居住地域別にみると、神根地域は「地域に住む人々が互いに理解しあい、助け合おうという意識を深めること」が全体に比べ多く、安行地域は「町会・自治会が中心となって住民同士の交流を積極的に進めること」が全体に比べ少なくなっている。

■助け合いの輪を広げていくために必要だと思うこと（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 住民自身 が日ごろ から地域 のつなが りをもつ ように心 がけるこ と	2. 地域に住 む人々が 互いに理 解しあ い、助け 合おうと いう意識 を深める こと	3. 町会・自 治会が中 心となっ て住民同 士の交流 を積極的 に進める こと	4. 地域での ボラン ティアや NPO活 動の気運 をもちあ げること	5. 助け合い のきっか けとなる 事業や活 動を新し く企画す ること	6. 困った人 や助けを 必要とす る人の ニーズを 十分に把 握できる ようにす ること	7. 行政によ る相談窓 口や側面 的援助を 充実させ ること	8. 社会福祉 協議会等 の地域福 祉の取組 と連携す ること	
全 体	1,338 (100.0)	2,684 (200.6)	584 (43.6)	526 (39.3)	280 (20.9)	71 (5.3)	118 (8.8)	314 (23.5)	334 (25.0)	134 (10.0)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	197 (211.8)	42 (45.2)	31 (33.3)	22 (23.7)	1 (1.1)	13 (14.0)	28 (30.1)	30 (32.3)	11 (11.8)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	297 (196.7)	53 (35.1)	54 (35.8)	23 (15.2)	8 (5.3)	10 (6.6)	47 (31.1)	48 (31.8)	21 (13.9)
	3. 青木地域	177 (100.0)	351 (198.3)	78 (44.1)	70 (39.5)	38 (21.5)	8 (4.5)	14 (7.9)	38 (21.5)	40 (22.6)	16 (9.0)
	4. 南平地域	144 (100.0)	281 (195.1)	62 (43.1)	43 (29.9)	28 (19.4)	10 (6.9)	12 (8.3)	32 (22.2)	39 (27.1)	15 (10.4)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	158 (188.1)	31 (36.9)	26 (31.0)	18 (21.4)	6 (7.1)	7 (8.3)	19 (22.6)	17 (20.2)	11 (13.1)
	6. 神根地域	116 (100.0)	249 (214.7)	57 (49.1)	60 (51.7)	32 (27.6)	10 (8.6)	5 (4.3)	29 (25.0)	24 (20.7)	13 (11.2)
	7. 芝地域	183 (100.0)	355 (194.0)	74 (40.4)	72 (39.3)	43 (23.5)	4 (2.2)	16 (8.7)	40 (21.9)	48 (26.2)	13 (7.1)
	8. 安行地域	81 (100.0)	158 (195.1)	36 (44.4)	32 (39.5)	7 (8.6)	5 (6.2)	11 (13.6)	18 (22.2)	25 (30.9)	8 (9.9)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	337 (218.8)	74 (48.1)	72 (46.8)	40 (26.0)	10 (6.5)	18 (11.7)	32 (20.8)	35 (22.7)	19 (12.3)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	287 (197.9)	73 (50.3)	62 (42.8)	28 (19.3)	9 (6.2)	12 (8.3)	31 (21.4)	27 (18.6)	7 (4.8)
	11. 無回答	10 (100.0)	14 (140.0)	4 (40.0)	4 (40.0)	1 (10.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)

	9. 地域活動 の機能を 強化する こと	10. その他	11. 特に必要 と思うこ とはない	12. 無回答	
全 体	111 (8.3)	27 (2.0)	118 (8.8)	67 (5.0)	
問9 居住地域	1. 中央地域	9 (9.7)	3 (3.2)	5 (5.4)	2 (2.2)
	2. 横曽根地域	10 (6.6)	4 (2.6)	11 (7.3)	8 (5.3)
	3. 青木地域	16 (9.0)	2 (1.1)	20 (11.3)	11 (6.2)
	4. 南平地域	14 (9.7)	7 (4.9)	11 (7.6)	8 (5.6)
	5. 新郷地域	7 (8.3)	0 (-)	11 (13.1)	5 (6.0)
	6. 神根地域	7 (6.0)	2 (1.7)	6 (5.2)	4 (3.4)
	7. 芝地域	11 (6.0)	2 (1.1)	19 (10.4)	13 (7.1)
	8. 安行地域	5 (6.2)	1 (1.2)	5 (6.2)	5 (6.2)
	9. 戸塚地域	15 (9.7)	3 (1.9)	14 (9.1)	5 (3.2)
	10. 鳩ヶ谷地域	17 (11.7)	2 (1.4)	15 (10.3)	4 (2.8)
	11. 無回答	0 (-)	1 (10.0)	1 (10.0)	2 (20.0)

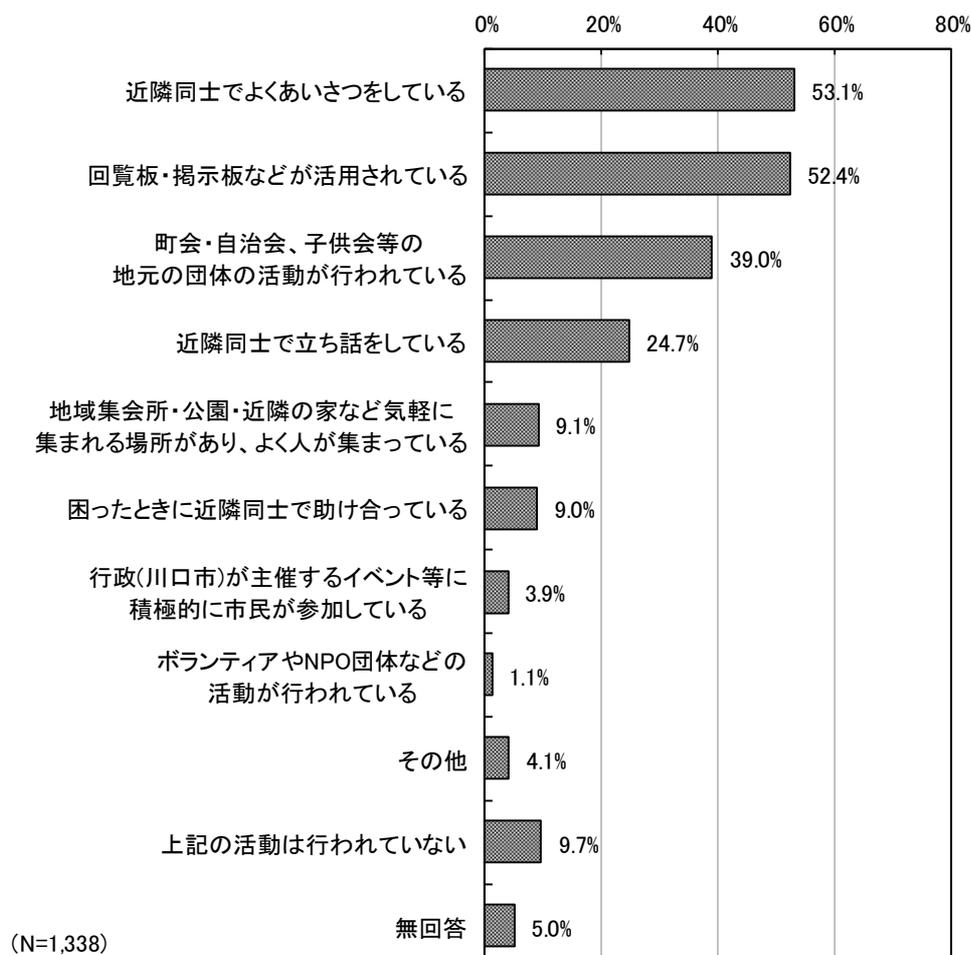
注：()内はサンプル数を100とした割合

4. 地域活動について

(1) 居住地域における地域活動状況（問 25）

居住地域における地域活動状況については、「近隣同士でよくあいさつをしている」が 53.1%で最も多く、次いで「回覧板・掲示板などが活用されている」が 52.4%、「町会・自治会、子供会等の地元の団体の活動が行われている」が 39.0%となっています。

■ 居住地域における地域活動状況（複数回答）



年齢別にみると、75歳以上は「近隣同士で立ち話をしている」が全体に比べ多くなっています。

■居住地域における地域活動状況（年齢別）

		回答者数	合 計	1. 近隣同士 でよくあ いさつを している	2. 近隣同士 で立ち話 をしている	3. 困ったと きに近隣 同士で助 け合っ ている	4. 回覧板・ 掲示板な どが活用 されている	5. 町会・自 治会、子 供会等 の地元の 団体の活 動が行わ れている	6. 地域集 会所・公 園・近隣 の家など 気軽に集 まれる場 所があり、 よく人 が集ま っている	7. ボラン ティアや NPO団体 などの活 動が行わ れている	8. 行政(川 口市)が 主催する イベント 等に積極 的に市民 が参加し ている	9. その他	10. 上記の活 動は行わ れていな い
全 体		1,338 (100.0)	2,825 (211.1)	710 (53.1)	331 (24.7)	120 (9.0)	701 (52.4)	522 (39.0)	122 (9.1)	15 (1.1)	52 (3.9)	55 (4.1)	130 (9.7)
問 2 ・ 年 齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	534 (190.7)	131 (46.8)	55 (19.6)	17 (6.1)	122 (43.6)	98 (35.0)	29 (10.4)	1 (0.4)	14 (5.0)	13 (4.6)	42 (15.0)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	1,203 (207.1)	306 (52.7)	120 (20.7)	40 (6.9)	319 (54.9)	253 (43.5)	39 (6.7)	7 (1.2)	17 (2.9)	27 (4.6)	55 (9.5)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	558 (231.5)	137 (56.8)	69 (28.6)	34 (14.1)	136 (56.4)	102 (42.3)	25 (10.4)	4 (1.7)	12 (5.0)	7 (2.9)	18 (7.5)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	501 (223.7)	130 (58.0)	82 (36.6)	26 (11.6)	118 (52.7)	64 (28.6)	27 (12.1)	3 (1.3)	9 (4.0)	8 (3.6)	13 (5.8)
	5. 無回答	12 (100.0)	29 (241.7)	6 (50.0)	5 (41.7)	3 (25.0)	6 (50.0)	5 (41.7)	2 (16.7)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (16.7)

注：()内はサンプル数を100とした割合

居住地域別にみると、中央地域は「回覧板・掲示板などが活用されている」「町会・自治会、子供会等の地元の団体の活動が行われている」、横曽根地域は「近隣同士で立ち話をしている」、戸塚地区は「回覧板・掲示板などが活用されている」が全体に比べ少なく、神根地域は「回覧板・掲示板などが活用されている」が全体に比べ多くなっています。

■居住地域における地域活動状況（居住地域別）

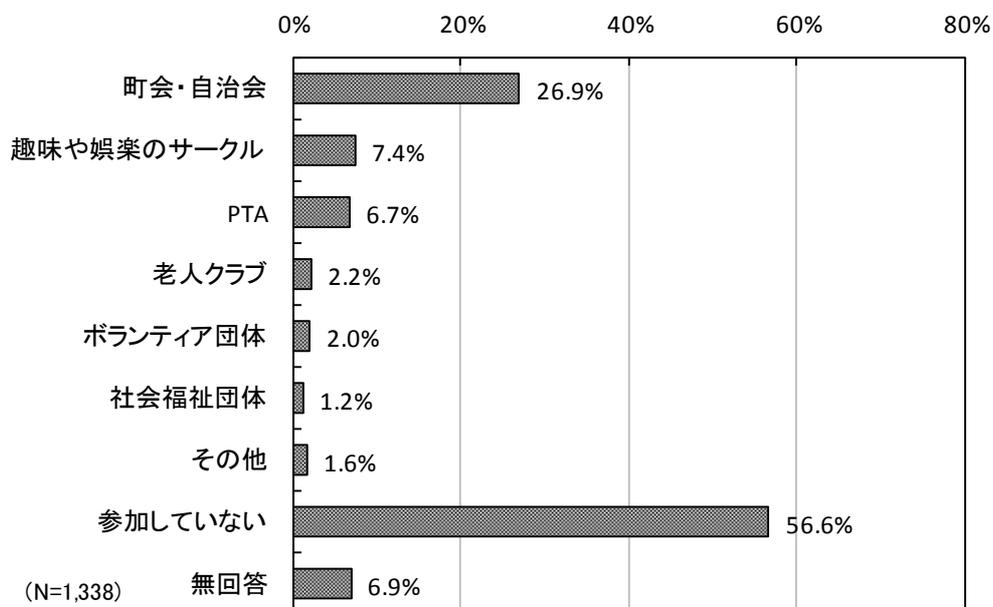
		回答者数	合 計	1. 近隣同士 でよくあ いさつを している	2. 近隣同士 で立ち話 をしている	3. 困ったと きに近隣 同士で助 け合っ ている	4. 回覧板・ 掲示板な どが活用 されている	5. 町会・自 治会、子 供会等 の地元の 団体の活 動が行わ れている	6. 地域集 会所・公 園・近隣 の家など 気軽に集 まれる場 所があり、 よく人 が集ま っている	7. ボラン ティアや NPO団体 などの活 動が行わ れている	8. 行政(川 口市)が 主催する イベント 等に積極 的に市民 が参加し ている	9. その他	10. 上記の活 動は行わ れていな い
全 体		1,338 (100.0)	2,825 (211.1)	710 (53.1)	331 (24.7)	120 (9.0)	701 (52.4)	522 (39.0)	122 (9.1)	15 (1.1)	52 (3.9)	55 (4.1)	130 (9.7)
問 9 ・ 居 住 地 域	1. 中央地域	93 (100.0)	156 (167.7)	45 (48.4)	14 (15.1)	2 (2.2)	32 (34.4)	26 (28.0)	5 (5.4)	0 (-)	9 (9.7)	4 (4.3)	16 (17.2)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	287 (190.1)	67 (44.4)	20 (13.2)	10 (6.6)	74 (49.0)	52 (34.4)	15 (9.9)	1 (0.7)	8 (5.3)	13 (8.6)	17 (11.3)
	3. 青木地域	177 (100.0)	372 (210.2)	91 (51.4)	40 (22.6)	12 (6.8)	101 (57.1)	70 (39.5)	16 (9.0)	2 (1.1)	8 (4.5)	2 (1.1)	17 (9.6)
	4. 南平地域	144 (100.0)	302 (209.7)	80 (55.6)	30 (20.8)	14 (9.7)	79 (54.9)	56 (38.9)	17 (11.8)	4 (2.8)	2 (1.4)	5 (3.5)	11 (7.6)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	191 (227.4)	49 (58.3)	28 (33.3)	8 (9.5)	44 (52.4)	36 (42.9)	6 (7.1)	2 (2.4)	4 (4.8)	2 (2.4)	6 (7.1)
	6. 神根地域	116 (100.0)	287 (247.4)	62 (53.4)	38 (32.8)	18 (15.5)	75 (64.7)	56 (48.3)	16 (13.8)	2 (1.7)	6 (5.2)	3 (2.6)	8 (6.9)
	7. 芝地域	183 (100.0)	413 (225.7)	106 (57.9)	53 (29.0)	21 (11.5)	102 (55.7)	76 (41.5)	16 (8.7)	1 (0.5)	6 (3.3)	9 (4.9)	15 (8.2)
	8. 安行地域	81 (100.0)	177 (218.5)	45 (55.6)	25 (30.9)	8 (9.9)	44 (54.3)	33 (40.7)	3 (3.7)	0 (-)	1 (1.2)	3 (3.7)	9 (11.1)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	307 (199.4)	81 (52.6)	34 (22.1)	11 (7.1)	60 (39.0)	62 (40.3)	14 (9.1)	1 (0.6)	4 (2.6)	9 (5.8)	26 (16.9)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	317 (218.6)	80 (55.2)	46 (31.7)	15 (10.3)	88 (60.7)	52 (35.9)	14 (9.7)	2 (1.4)	4 (2.8)	4 (2.8)	5 (3.4)
	11. 無回答	10 (100.0)	16 (160.0)	4 (40.0)	3 (30.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	3 (30.0)	0 (30.0)	0 (-)	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(2) 地域活動への参加状況 (問 26)

地域活動への参加状況については、「参加していない」が 56.6%で最も多く、次いで「町会・自治会」が 26.9%となっています。

■地域活動への参加状況 (複数回答)



年齢別にみると、18～39歳は「参加していない」が全体に比べ多く、65～74歳・75歳以上は「参加していない」が全体に比べ少なくなっています。

■地域活動への参加状況 (年齢別)

		回答者数	合計	1. 町会・自治会	2. 社会福祉団体	3. ボランティア団体	4. 老人クラブ	5. PTA	6. 趣味や娯楽のサークル	7. その他	8. 参加していない	9. 無回答	
全体		1,338 (100.0)	1,492 (111.5)	360 (26.9)	16 (1.2)	27 (2.0)	29 (2.2)	90 (6.7)	99 (7.4)	22 (1.6)	757 (56.6)	92 (6.9)	
問2 年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	297 (106.1)	34 (12.1)	2 (0.7)	1 (0.4)	0 (-)	29 (10.4)	8 (2.9)	3 (1.1)	213 (76.1)	7 (2.5)	
	2. 40～64歳	581 (100.0)	643 (110.7)	169 (29.1)	6 (1.0)	10 (1.7)	2 (0.3)	59 (10.2)	27 (4.6)	10 (1.7)	341 (58.7)	19 (3.3)	
	3. 65～74歳	241 (100.0)	273 (113.3)	87 (36.1)	3 (1.2)	8 (3.3)	6 (2.5)	1 (0.4)	39 (16.2)	5 (2.1)	103 (42.7)	21 (8.7)	
	4. 75歳以上	224 (100.0)	266 (118.8)	67 (29.9)	5 (2.2)	8 (3.6)	21 (9.4)	0 (-)	0 (11.2)	25 (1.8)	4 (1.8)	93 (41.5)	43 (19.2)
	5. 無回答	12 (100.0)	13 (108.3)	3 (25.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	7 (58.3)	2 (16.7)

注: ()内はサブ #数を100とした割合

居住地域別にみると、中央地域は「参加していない」、神根地域は「町会・自治会」が全体に比べ多くなっています。

■地域活動への参加状況（居住地域別）

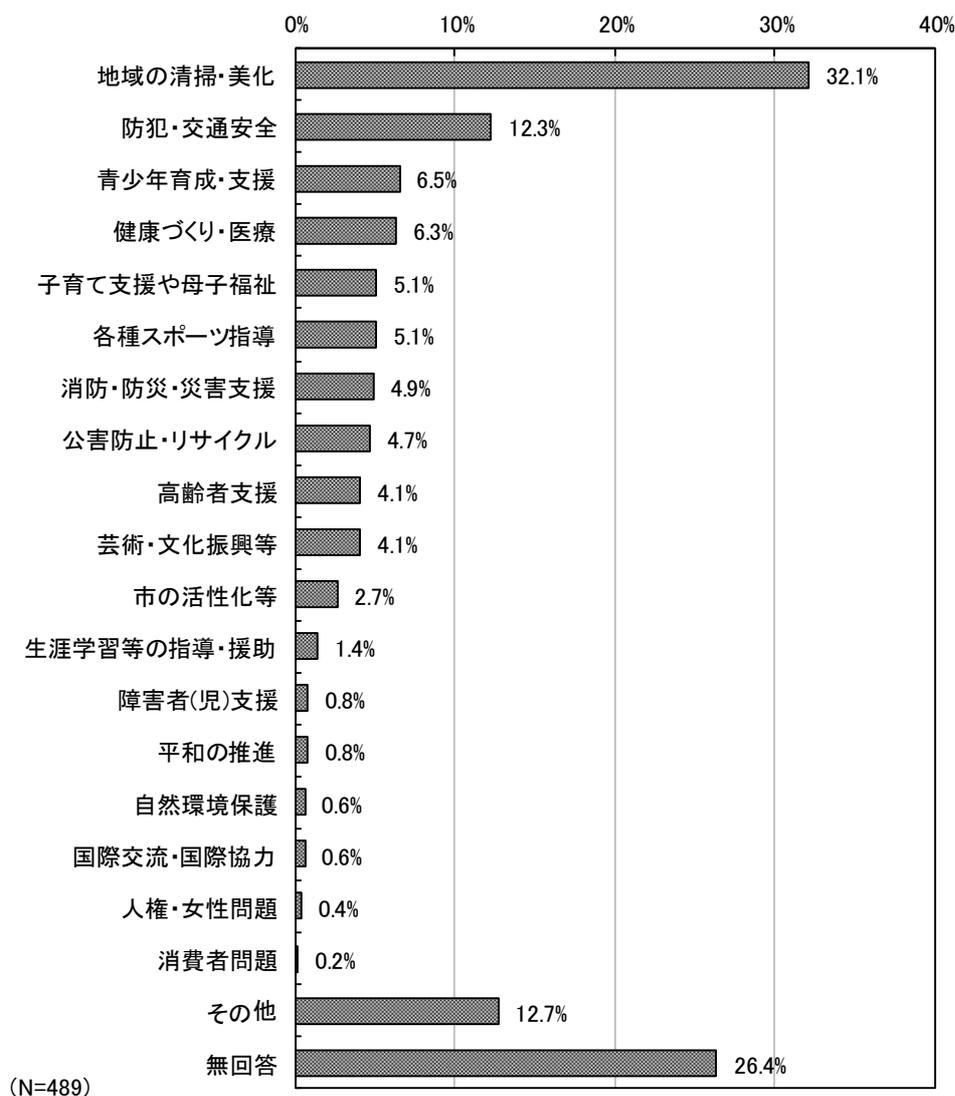
	回答者数	合計	1. 町会・自治会	2. 社会福祉団体	3. ボランティア団体	4. 老人クラブ	5. PTA	6. 趣味や娯楽のサークル	7. その他	8. 参加していない	9. 無回答	
全体	1,338 (100.0)	1,492 (111.5)	360 (26.9)	16 (1.2)	27 (2.0)	29 (2.2)	90 (6.7)	99 (7.4)	22 (1.6)	757 (56.6)	92 (6.9)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	100 (107.5)	15 (16.1)	0 (-)	0 (-)	2 (2.2)	7 (7.5)	5 (5.4)	2 (2.2)	66 (71.0)	3 (3.2)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	161 (106.6)	28 (18.5)	1 (0.7)	5 (3.3)	4 (2.6)	6 (4.0)	10 (6.6)	2 (1.3)	97 (64.2)	8 (5.3)
	3. 青木地域	177 (100.0)	198 (111.9)	51 (28.8)	2 (1.1)	4 (2.3)	3 (1.7)	9 (5.1)	15 (8.5)	2 (1.1)	98 (55.4)	14 (7.9)
	4. 南平地域	144 (100.0)	165 (114.6)	35 (24.3)	1 (0.7)	5 (3.5)	4 (2.8)	9 (6.3)	13 (9.0)	2 (1.4)	86 (59.7)	10 (6.9)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	97 (115.5)	30 (35.7)	1 (1.2)	1 (1.2)	1 (1.2)	10 (11.9)	4 (4.8)	2 (2.4)	43 (51.2)	5 (6.0)
	6. 神根地域	116 (100.0)	129 (111.2)	48 (41.4)	1 (0.9)	0 (-)	5 (4.3)	7 (6.0)	5 (4.3)	1 (0.9)	54 (46.6)	8 (6.9)
	7. 芝地域	183 (100.0)	203 (110.9)	47 (25.7)	3 (1.6)	2 (1.1)	5 (2.7)	12 (6.6)	15 (8.2)	3 (1.6)	98 (53.6)	18 (9.8)
	8. 安行地域	81 (100.0)	87 (107.4)	23 (28.4)	1 (1.2)	0 (-)	1 (1.2)	7 (8.6)	5 (6.2)	3 (3.7)	43 (53.1)	4 (4.9)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	172 (111.7)	38 (24.7)	1 (0.6)	4 (2.6)	0 (-)	14 (9.1)	15 (9.7)	4 (2.6)	87 (56.5)	9 (5.8)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	170 (117.2)	43 (29.7)	5 (3.4)	6 (4.1)	4 (2.8)	8 (5.5)	12 (8.3)	1 (0.7)	81 (55.9)	10 (6.9)
	11. 無回答	10 (100.0)	10 (100.0)	2 (20.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)	0 (-)	4 (40.0)	3 (30.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(3) 参加している地域活動の活動内容（問 26-2）

問 26 で何らかの活動をしていると回答した方に、その内容を聞いたところ、「地域の清掃・美化」が 32.1%、「その他」が 12.7%、「防犯・交通安全」が 12.3%となっています。

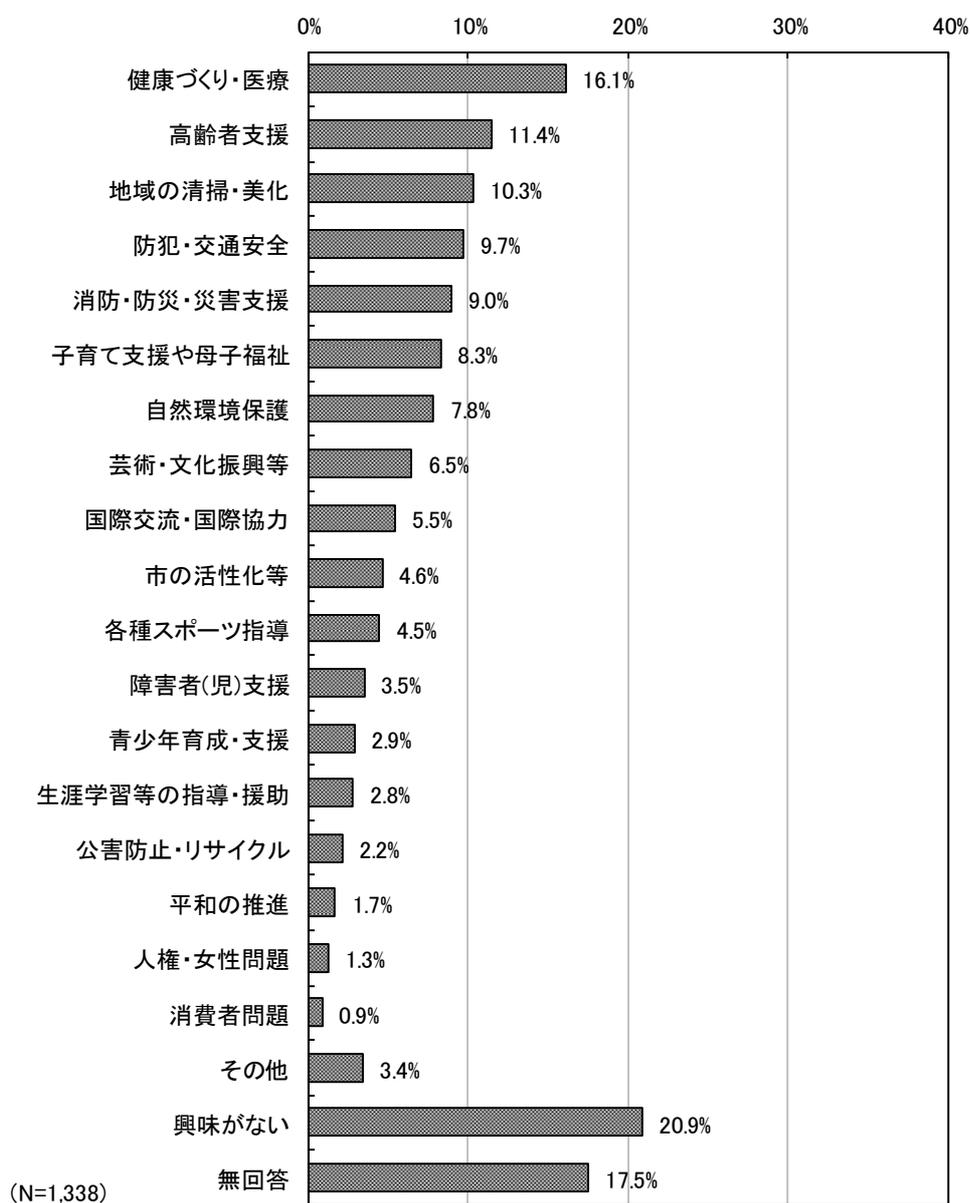
■参加している地域活動内容（複数回答）



(4) 今後取り組んでみたい地域活動（問 27）

今後取り組んでみたい地域活動については、「興味がない」が 20.9%で最も多く、次いで「健康づくり・医療」が 16.1%、「高齢者支援」が 11.4%、「地域の清掃・美化」が 10.3%となっています。

■ 今後取り組んでみたい地域活動（3つまで）



年齢別にみると、18～39歳は「子育て支援や母子福祉」が全体に比べ多くなっています。

■今後取り組んでみたい地域活動（年齢別）

		回答者数	合計	1. 高齢者支援	2. 障害者(児)支援	3. 子育て支援や母子福祉	4. 健康づくり・医療	5. 地域の清掃・美化	6. 市の活性化等	7. 防犯・交通安全	8. 消防・防災・災害支援	9. 自然環境保護	10. 公害防止・リサイクル
全体		1,338 (100.0)	2,018 (150.8)	153 (11.4)	47 (3.5)	111 (8.3)	215 (16.1)	138 (10.3)	62 (4.6)	130 (9.7)	120 (9.0)	105 (7.8)	29 (2.2)
問2 年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	450 (160.7)	15 (5.4)	9 (3.2)	60 (21.4)	32 (11.4)	18 (6.4)	13 (4.6)	32 (11.4)	28 (10.0)	18 (6.4)	7 (2.5)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	878 (151.1)	60 (10.3)	30 (5.2)	43 (7.4)	92 (15.8)	62 (10.7)	28 (4.8)	62 (10.7)	66 (11.4)	52 (9.0)	14 (2.4)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	355 (147.3)	31 (12.9)	2 (0.8)	7 (2.9)	51 (21.2)	27 (11.2)	12 (5.0)	21 (8.7)	14 (5.8)	22 (9.1)	5 (2.1)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	317 (141.5)	46 (20.5)	5 (2.2)	1 (0.4)	39 (17.4)	30 (13.4)	9 (4.0)	14 (6.3)	11 (4.9)	12 (5.4)	2 (0.9)
	5. 無回答	12 (100.0)	18 (150.0)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (-)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (-)	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)

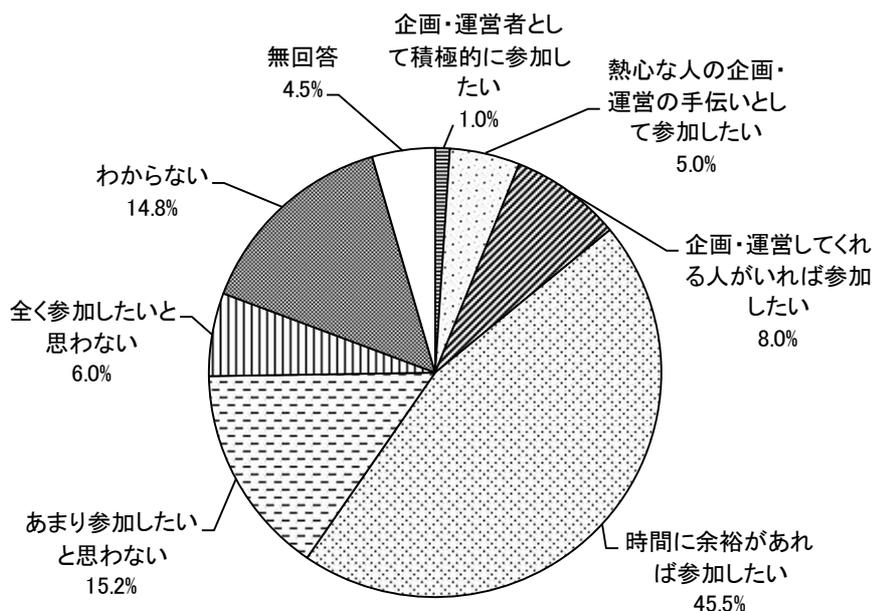
		11. 生涯学習等の指導・援助	12. 各種スポーツ指導	13. 青少年育成・支援	14. 芸術・文化振興等	15. 国際交流・国際協力	16. 消費者問題	17. 人権・女性問題	18. 平和の推進	19. その他	20. 興味がない	21. 無回答
全体		38 (2.8)	60 (4.5)	39 (2.9)	87 (6.5)	73 (5.5)	12 (0.9)	17 (1.3)	23 (1.7)	46 (3.4)	279 (20.9)	234 (17.5)
問2 年齢	1. 18～39歳	8 (2.9)	23 (8.2)	14 (5.0)	32 (11.4)	29 (10.4)	1 (0.4)	6 (2.1)	1 (0.4)	7 (2.5)	77 (27.5)	20 (7.1)
	2. 40～64歳	19 (3.3)	24 (4.1)	15 (2.6)	36 (6.2)	36 (6.2)	4 (0.7)	5 (0.9)	9 (1.5)	17 (2.9)	133 (22.9)	71 (12.2)
	3. 65～74歳	8 (3.3)	11 (4.6)	6 (2.5)	11 (4.6)	6 (2.5)	1 (0.4)	3 (1.2)	8 (3.3)	10 (4.1)	38 (15.8)	61 (25.3)
	4. 75歳以上	3 (1.3)	1 (0.4)	3 (1.3)	7 (3.1)	2 (0.9)	5 (2.2)	3 (1.3)	5 (2.2)	12 (5.4)	29 (12.9)	78 (34.8)
	5. 無回答	0 (-)	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (16.7)	4 (33.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(5) 地域活動への参加依頼があった場合の参加意向 (問28)

地域活動への参加依頼があった場合の参加意向については、「時間に余裕があれば参加したい」が45.5%で最も多く、次いで「あまり参加したいと思わない」が15.2%、「企画・運営してくれる人がいれば参加したい」が8.0%となっています。

■ 地域活動への参加依頼があった場合の参加意向



(N=1,338)

居住地域別にみると、中央地域は「時間に余裕があれば参加したい」が全体に比べ多くなっています。

■地域活動への参加依頼があった場合の参加意向（居住地域別）

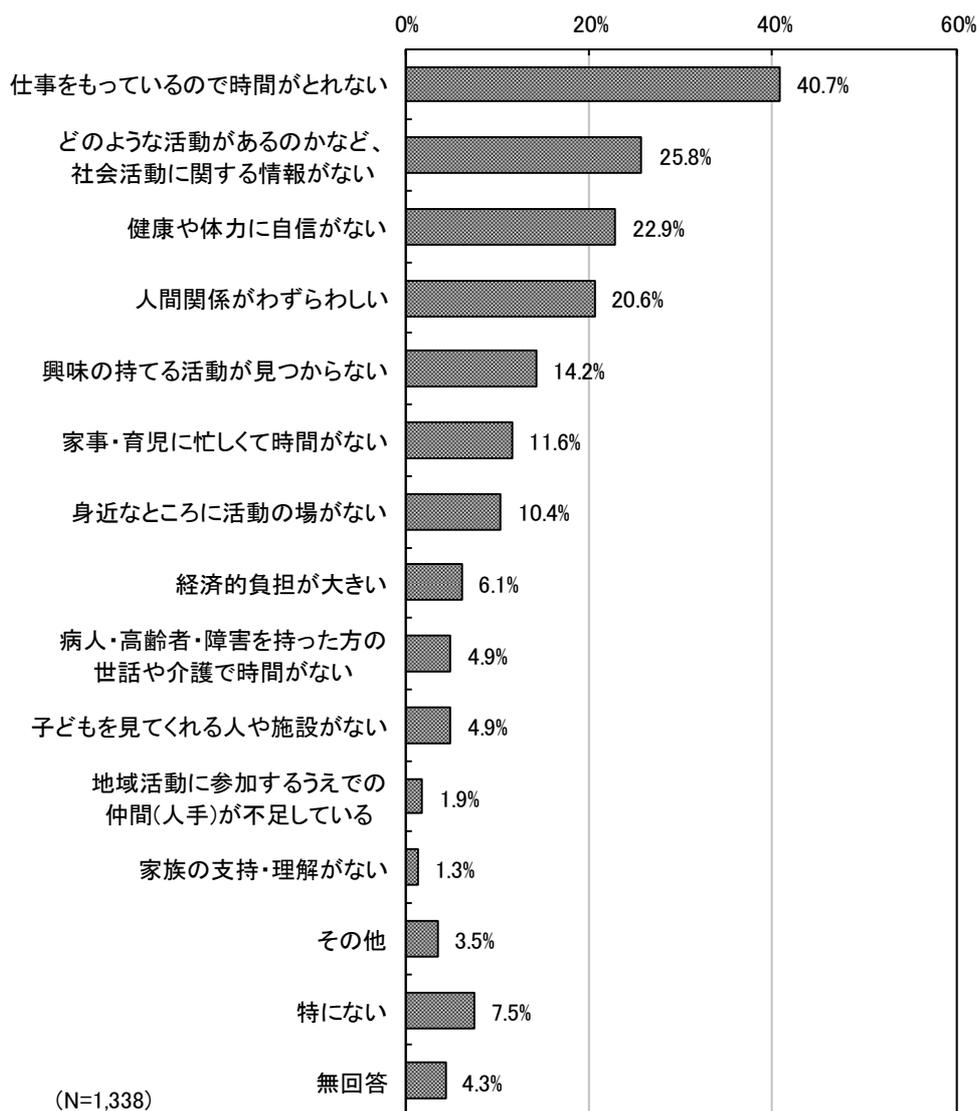
	合 計	1. 企画・運営者として積極的に参加したい	2. 熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい	3. 企画・運営してくれる人がいれば参加したい	4. 時間に余裕があれば参加したい	5. あまり参加したいと思わない	6. 全く参加したいと思わない	7. わからない	8. 無回答	
全 体	1,338 (100.0)	14 (1.0)	67 (5.0)	107 (8.0)	609 (45.5)	203 (15.2)	80 (6.0)	198 (14.8)	60 (4.5)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	0 (-)	7 (7.5)	4 (4.3)	53 (57.0)	11 (11.8)	7 (7.5)	11 (11.8)	0 (-)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	4 (2.6)	5 (3.3)	13 (8.6)	67 (44.4)	23 (15.2)	11 (7.3)	21 (13.9)	7 (4.6)
	3. 青木地域	177 (100.0)	4 (2.3)	9 (5.1)	14 (7.9)	80 (45.2)	23 (13.0)	7 (4.0)	34 (19.2)	6 (3.4)
	4. 南平地域	144 (100.0)	1 (0.7)	7 (4.9)	15 (10.4)	59 (41.0)	22 (15.3)	12 (8.3)	21 (14.6)	7 (4.9)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	0 (-)	7 (8.3)	4 (4.8)	31 (36.9)	14 (16.7)	11 (13.1)	12 (14.3)	5 (6.0)
	6. 神根地域	116 (100.0)	1 (0.9)	4 (3.4)	7 (6.0)	54 (46.6)	18 (15.5)	2 (1.7)	23 (19.8)	7 (6.0)
	7. 芝地域	183 (100.0)	0 (-)	6 (3.3)	14 (7.7)	86 (47.0)	32 (17.5)	13 (7.1)	22 (12.0)	10 (5.5)
	8. 安行地域	81 (100.0)	0 (-)	2 (2.5)	5 (6.2)	36 (44.4)	15 (18.5)	2 (2.5)	16 (19.8)	5 (6.2)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	3 (1.9)	10 (6.5)	18 (11.7)	75 (48.7)	23 (14.9)	7 (4.5)	16 (10.4)	2 (1.3)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	1 (0.7)	9 (6.2)	13 (9.0)	66 (45.5)	19 (13.1)	8 (5.5)	21 (14.5)	8 (5.5)
	11. 無回答	10 (100.0)	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)	2 (20.0)	3 (30.0)	0 (-)	1 (10.0)	3 (30.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(6) 地域活動に参加しづらいと感じる理由 (問 29)

地域活動に参加しづらいと感じる理由については、「仕事をもっているので時間がとれない」が40.7%で最も多く、次いで「どのような活動があるのかなど、社会活動に関する情報がない」が25.8%、「健康や体力に自信がない」が22.9%となっています。

■地域活動に参加しづらいと感じる理由 (複数回答)



年齢別にみると、18～39歳は「家事・育児に忙しくて時間がない」「子どもを見てくれる人や施設がない」、40～64歳は「仕事をもっているので時間がとれない」、65～74歳・75歳以上は「健康や体力に自信がない」が全体に比べ多くなっています。

■地域活動に参加しづらいと感じる理由（年齢別）

	回答者数	合計	1. どのような活動があるのかなど、社会活動に関する情報がない	2. 興味の持てる活動が見つからない	3. 健康や体力に自信がない	4. 人間関係がわずらわしい	5. 身近なところで活動の場がない	6. 家事・育児に忙しくて時間がない	7. 地域活動に参加するうえで仲間(人手)が不足している	8. 病人・高齢者・障害を持った方の世話や介護で時間が足りない	9. 経済的負担が大きい	
全体	1,338 (100.0)	2,417 (180.6)	345 (25.8)	190 (14.2)	306 (22.9)	275 (20.6)	139 (10.4)	155 (11.6)	25 (1.9)	66 (4.9)	82 (6.1)	
問2・年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	573 (204.6)	94 (33.6)	42 (15.0)	21 (7.5)	69 (24.6)	31 (11.1)	70 (25.0)	3 (1.1)	3 (1.1)	17 (6.1)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	1,122 (193.1)	158 (27.2)	87 (15.0)	87 (15.0)	143 (24.6)	60 (10.3)	76 (13.1)	13 (2.2)	35 (6.0)	36 (6.2)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	369 (153.1)	52 (21.6)	35 (14.5)	80 (33.2)	35 (14.5)	30 (12.4)	5 (2.1)	5 (2.1)	15 (6.2)	16 (6.6)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	338 (150.9)	39 (17.4)	25 (11.2)	113 (50.4)	27 (12.1)	18 (8.0)	4 (1.8)	4 (1.8)	12 (5.4)	13 (5.8)
	5. 無回答	12 (100.0)	15 (125.0)	2 (16.7)	1 (8.3)	5 (41.7)	1 (8.3)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)

	10. 子どもを見てくれる人や施設がない	11. 家族の支持・理解がない	12. 仕事をもっているので時間がとれない	13. その他	14. 特にない	15. 無回答	
全体	66 (4.9)	18 (1.3)	545 (40.7)	47 (3.5)	100 (7.5)	58 (4.3)	
問2・年齢	1. 18～39歳	46 (16.4)	5 (1.8)	136 (48.6)	11 (3.9)	20 (7.1)	5 (1.8)
	2. 40～64歳	19 (3.3)	7 (1.2)	341 (58.7)	22 (3.8)	30 (5.2)	8 (1.4)
	3. 65～74歳	0 (-)	3 (1.2)	53 (22.0)	2 (0.8)	20 (8.3)	18 (7.5)
	4. 75歳以上	1 (0.4)	3 (1.3)	12 (5.4)	11 (4.9)	30 (13.4)	26 (11.6)
	5. 無回答	0 (-)	0 (-)	3 (25.0)	1 (8.3)	0 (-)	1 (8.3)

注：()内はサンプル数を100とした割合

居住地域別にみると、中央地域は「どのような活動があるのかなど、社会活動に関する情報がない」「仕事をもっているので時間がとれない」が全体に比べ多く、新郷地域は「仕事をもっているので時間がとれない」が全体に比べ少なくなっています。

■地域活動に参加しづらいと感じる理由（居住地域別）

	回答者数	合計	1. どのような活動があるのかなど、社会活動に関する情報がない	2. 興味の持てる活動が見つからない	3. 健康や体力に自信がない	4. 人間関係がわずらわしい	5. 身近なところに活動の場がない	6. 家事・育児に忙しくて時間がない	7. 地域活動に参加するうえで（人手）が不足している	8. 病人・高齢者・障害者を持った方の世話や介護で時間が足りない	9. 経済的負担が大きい	
全体	1,338 (100.0)	2,417 (180.6)	345 (25.8)	190 (14.2)	306 (22.9)	275 (20.6)	139 (10.4)	155 (11.6)	25 (1.9)	66 (4.9)	82 (6.1)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	178 (191.4)	35 (37.6)	13 (14.0)	16 (17.2)	17 (18.3)	12 (12.9)	11 (11.8)	3 (3.2)	0 (-)	4 (4.3)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	294 (194.7)	39 (25.8)	29 (19.2)	36 (23.8)	44 (29.1)	16 (10.6)	12 (7.9)	3 (2.0)	11 (7.3)	12 (7.9)
	3. 青木地域	177 (100.0)	316 (178.5)	41 (23.2)	24 (13.6)	48 (27.1)	34 (19.2)	19 (10.7)	17 (9.6)	3 (1.7)	11 (6.2)	17 (9.6)
	4. 南平地域	144 (100.0)	262 (181.9)	31 (21.5)	19 (13.2)	39 (27.1)	25 (17.4)	9 (6.3)	20 (13.9)	5 (3.5)	11 (7.6)	12 (8.3)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	152 (181.0)	18 (21.4)	10 (11.9)	26 (31.0)	23 (27.4)	9 (10.7)	8 (9.5)	1 (1.2)	7 (8.3)	4 (4.8)
	6. 神根地域	116 (100.0)	200 (172.4)	27 (23.3)	12 (10.3)	21 (18.1)	21 (18.1)	12 (10.3)	14 (12.1)	1 (0.9)	6 (5.2)	7 (6.0)
	7. 芝地域	183 (100.0)	313 (171.0)	42 (23.0)	29 (15.8)	44 (24.0)	36 (19.7)	12 (6.6)	20 (10.9)	2 (1.1)	10 (5.5)	11 (6.0)
	8. 安行地域	81 (100.0)	142 (175.3)	22 (27.2)	10 (12.3)	12 (14.8)	15 (18.5)	13 (16.0)	10 (12.3)	1 (1.2)	2 (2.5)	6 (7.4)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	305 (198.1)	51 (33.1)	18 (11.7)	24 (15.6)	35 (22.7)	23 (14.9)	27 (17.5)	5 (3.2)	4 (2.6)	7 (4.5)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	244 (168.3)	39 (26.9)	26 (17.9)	36 (24.8)	23 (15.9)	14 (9.7)	16 (11.0)	1 (0.7)	3 (2.1)	2 (1.4)
	11. 無回答	10 (100.0)	11 (110.0)	0 (-)	0 (-)	4 (40.0)	2 (20.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)

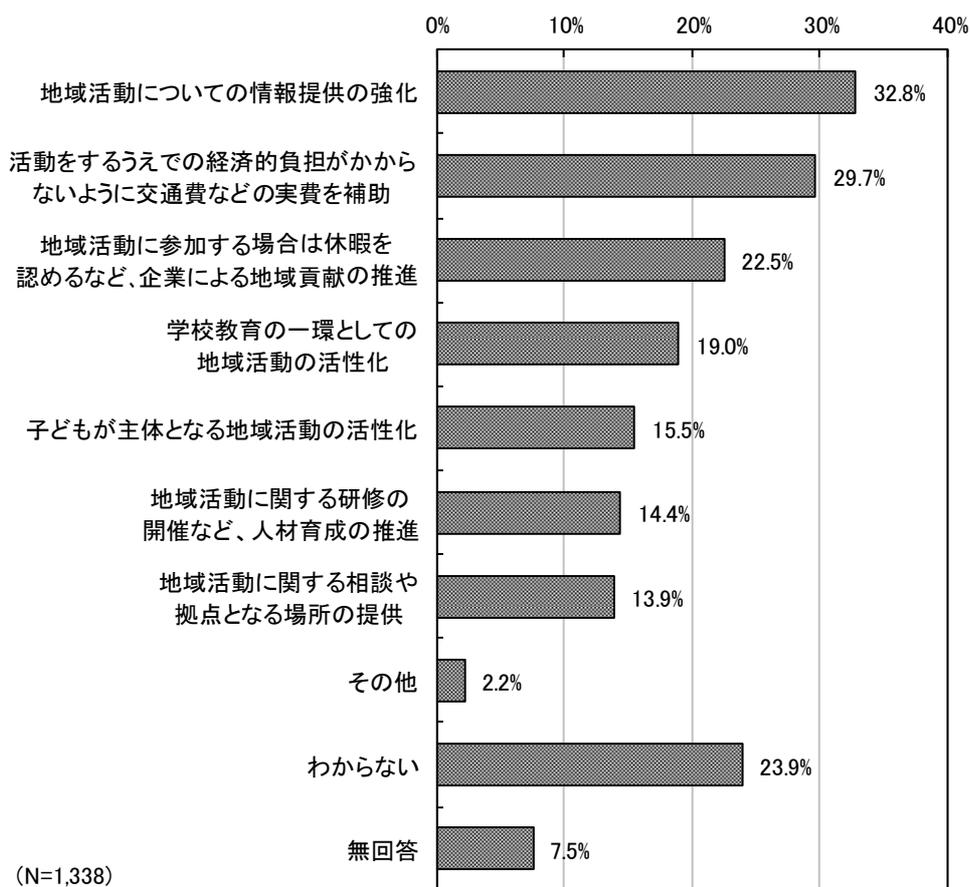
	10. 子どもを見てくれる人や施設がない	11. 家族の支持・理解がない	12. 仕事をもっているので時間がとれない	13. その他	14. 特になし	15. 無回答	
全体	66 (4.9)	18 (1.3)	545 (40.7)	47 (3.5)	100 (7.5)	58 (4.3)	
問9 居住地域	1. 中央地域	4 (4.3)	2 (2.2)	52 (55.9)	1 (1.1)	6 (6.5)	2 (2.2)
	2. 横曽根地域	4 (2.6)	1 (0.7)	68 (45.0)	4 (2.6)	9 (6.0)	6 (4.0)
	3. 青木地域	9 (5.1)	2 (1.1)	58 (32.8)	7 (4.0)	18 (10.2)	8 (4.5)
	4. 南平地域	13 (9.0)	4 (2.8)	56 (38.9)	2 (1.4)	9 (6.3)	7 (4.9)
	5. 新郷地域	3 (3.6)	2 (2.4)	25 (29.8)	4 (4.8)	9 (10.7)	3 (3.6)
	6. 神根地域	5 (4.3)	3 (2.6)	46 (39.7)	7 (6.0)	9 (7.8)	9 (7.8)
	7. 芝地域	4 (2.2)	0 (-)	71 (38.8)	8 (4.4)	14 (7.7)	10 (5.5)
	8. 安行地域	2 (2.5)	0 (-)	34 (42.0)	4 (4.9)	6 (7.4)	5 (6.2)
	9. 戸塚地域	13 (8.4)	2 (1.3)	77 (50.0)	7 (4.5)	10 (6.5)	2 (1.3)
	10. 鳩ヶ谷地域	9 (6.2)	2 (1.4)	57 (39.3)	3 (2.1)	9 (6.2)	4 (2.8)
	11. 無回答	0 (-)	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)	1 (10.0)	2 (20.0)

注：（）内はサンプル数を100とした割合

(7) 地域活動を広げていくために必要な支援（問 30）

地域活動を広げていくために必要な支援については、「地域活動についての情報提供の強化」が32.8%で最も多く、次いで「活動をするうえでの経済的負担がかからないように交通費などの実費を補助」が29.7%、「わからない」が23.9%となっています。

■地域活動を広げていくために必要な支援（複数回答）



居住地域別にみると、中央地域は「地域活動に関する研修の開催など、人材育成の推進」、戸塚地域は「地域活動についての情報提供の強化」が全体に比べ多くなっています。

■地域活動を上げていくために必要な支援（居住地域別）

	回答者数	合 計	1. 活動をするうえでの経済的負担がかからないように交通費などの実費を補助	2. 地域活動に参加する場合は休暇を認めるなど、企業による地域貢献の推進	3. 学校教育の一環としての地域活動の活性化	4. 子どもが主体となる地域活動の活性化	5. 地域活動に関する相談や拠点となる場所の提供	6. 地域活動に関する研修の開催など、人材育成の推進	7. 地域活動についての情報提供の強化	8. その他	9. わからない	10. 無回答	
全 体	1,338 (100.0)	2,429 (181.5)	397 (29.7)	301 (22.5)	254 (19.0)	208 (15.5)	186 (13.9)	193 (14.4)	439 (32.8)	30 (2.2)	320 (23.9)	101 (7.5)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	191 (205.4)	30 (32.3)	20 (21.5)	23 (24.7)	17 (18.3)	18 (19.4)	24 (25.8)	38 (40.9)	2 (2.2)	17 (18.3)	2 (2.2)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	279 (184.8)	47 (31.1)	30 (19.9)	32 (21.2)	24 (15.9)	19 (12.6)	23 (15.2)	52 (34.4)	7 (4.6)	37 (24.5)	8 (5.3)
	3. 青木地域	177 (100.0)	338 (191.0)	53 (29.9)	43 (24.3)	36 (20.3)	29 (16.4)	21 (11.9)	30 (16.9)	63 (35.6)	4 (2.3)	48 (27.1)	11 (6.2)
	4. 南平地域	144 (100.0)	250 (173.6)	47 (32.6)	43 (29.9)	23 (16.0)	22 (15.3)	14 (9.7)	15 (10.4)	37 (25.7)	1 (0.7)	36 (25.0)	12 (8.3)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	155 (184.5)	22 (26.2)	21 (25.0)	11 (13.1)	13 (15.5)	15 (17.9)	10 (11.9)	25 (29.8)	5 (6.0)	23 (27.4)	10 (11.9)
	6. 神根地域	116 (100.0)	201 (173.3)	32 (27.6)	24 (20.7)	25 (21.6)	19 (16.4)	14 (12.1)	16 (13.8)	35 (30.2)	0 (-)	25 (21.6)	11 (9.5)
	7. 芝地域	183 (100.0)	326 (178.1)	64 (35.0)	41 (22.4)	34 (18.6)	27 (14.8)	25 (13.7)	23 (12.6)	47 (25.7)	4 (2.2)	46 (25.1)	15 (8.2)
	8. 安行地域	81 (100.0)	130 (160.5)	19 (23.5)	15 (18.5)	13 (16.0)	9 (11.1)	10 (12.3)	8 (9.9)	25 (30.9)	1 (1.2)	19 (23.5)	11 (13.6)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	296 (192.2)	45 (29.2)	37 (24.0)	38 (24.7)	27 (17.5)	25 (16.2)	23 (14.9)	66 (42.9)	5 (3.2)	25 (16.2)	5 (3.2)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	252 (173.8)	35 (24.1)	26 (17.9)	19 (13.1)	21 (14.5)	25 (17.2)	21 (14.5)	51 (35.2)	1 (0.7)	41 (28.3)	12 (8.3)
	11. 無回答	10 (100.0)	11 (110.0)	3 (30.0)	1 (10.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	3 (30.0)	4 (40.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

定住意向別にみると、転出したいは「活動をするうえでの経済的負担がかからないように交通費などの実費を補助」「地域活動に関する相談や拠点となる場所の提供」が全体に比べ多くなっています。

■地域活動を上げていくために必要な支援（定住意向別）

	回答者数	合 計	1. 活動をするうえでの経済的負担がかからないように交通費などの実費を補助	2. 地域活動に参加する場合は休暇を認めるなど、企業による地域貢献の推進	3. 学校教育の一環としての地域活動の活性化	4. 子どもが主体となる地域活動の活性化	5. 地域活動に関する相談や拠点となる場所の提供	6. 地域活動に関する研修の開催など、人材育成の推進	7. 地域活動についての情報提供の強化	8. その他	9. わからない	10. 無回答	
全 体	1,338 (100.0)	2,429 (181.5)	397 (29.7)	301 (22.5)	254 (19.0)	208 (15.5)	186 (13.9)	193 (14.4)	439 (32.8)	30 (2.2)	320 (23.9)	101 (7.5)	
問10 定住意向	1. ずっと住み続けたい	514 (100.0)	940 (182.9)	168 (32.7)	109 (21.2)	96 (18.7)	74 (14.4)	71 (13.8)	81 (15.8)	164 (31.9)	9 (1.8)	121 (23.5)	47 (9.1)
	2. できれば住み続けたい	589 (100.0)	1,051 (178.4)	164 (27.8)	144 (24.4)	111 (18.8)	95 (16.1)	78 (13.2)	74 (12.6)	197 (33.4)	15 (2.5)	135 (22.9)	38 (6.5)
	3. できれば転出したい	160 (100.0)	291 (181.9)	43 (26.9)	33 (20.6)	33 (20.6)	30 (18.8)	23 (14.4)	22 (13.8)	52 (32.5)	4 (2.5)	46 (28.8)	5 (3.1)
	4. 転出したい	35 (100.0)	77 (220.0)	14 (40.0)	9 (25.7)	7 (20.0)	5 (14.3)	5 (25.7)	7 (20.0)	14 (40.0)	2 (5.7)	6 (17.1)	4 (11.4)
	5. 無回答	40 (100.0)	70 (175.0)	8 (20.0)	6 (15.0)	7 (17.5)	4 (10.0)	5 (12.5)	9 (22.5)	12 (30.0)	0 (-)	12 (30.0)	7 (17.5)

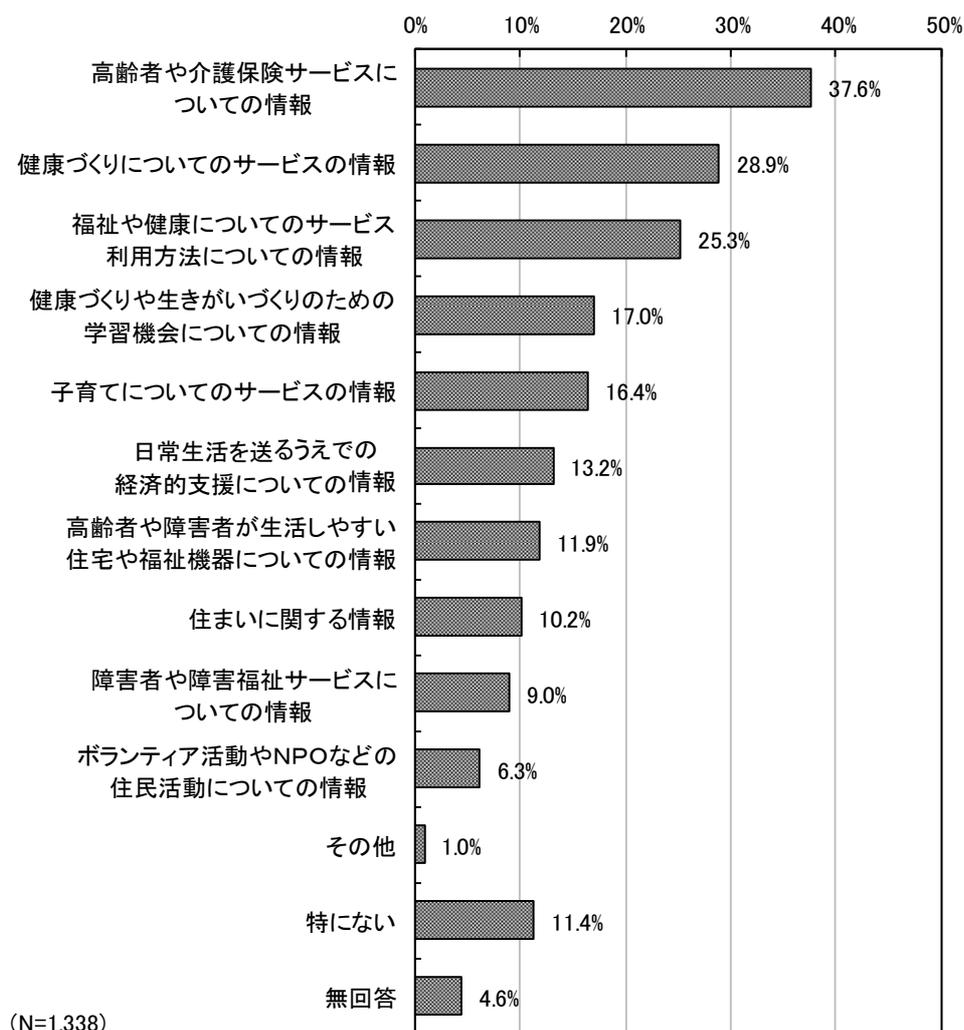
注：()内はサンプル数を100とした割合

5. 今後の福祉施策について

(1) 福祉や健康について知りたい情報（問 31）

福祉や健康について知りたい情報については、「高齢者や介護保険サービスについての情報」が37.6%で最も多く、次いで「健康づくりについてのサービスの情報」が28.9%、「福祉や健康についてのサービス利用方法についての情報」が25.3%となっています。

■ 福祉や健康について知りたい情報（3つまで）



年齢別にみると、18～39歳は「子育てについてのサービスの情報」、75歳以上は「高齢者や介護保険サービスについての情報」が全体に比べ多くなっています。

■福祉や健康について知りたい情報（年齢別）

	回答者数	合計	1. 健康づくりについてのサービスの情報	2. 子育てについてのサービスの情報	3. 高齢者や介護保険サービスについての情報	4. 障害者や障害福祉サービスについての情報	5. 福祉や健康についてのサービス利用方法についての情報	6. ボランティア活動やNPOなどの住民活動についての情報	7. 健康づくりや生きがいづくりのための学習機会(講座や教室)についての情報	8. 高齢者や障害者が生活しやすい住宅や福祉機器についての情報	9. 日常生活を送るうえでの経済的支援についての情報(生活困窮など)	
全体	1,338 (100.0)	2,578 (192.7)	387 (28.9)	220 (16.4)	503 (37.6)	121 (9.0)	338 (25.3)	84 (6.3)	228 (17.0)	159 (11.9)	176 (13.2)	
問2・年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	75 (26.8)	131 (46.8)	47 (16.8)	29 (10.4)	42 (15.0)	16 (5.7)	28 (10.0)	11 (3.9)	42 (15.0)	
	2. 40～64歳	581 (100.0)	1,162 (200.0)	176 (30.3)	86 (14.8)	223 (38.4)	57 (9.8)	153 (26.3)	48 (8.3)	114 (19.6)	85 (14.3)	
	3. 65～74歳	241 (100.0)	467 (193.8)	77 (32.0)	1 (0.4)	109 (45.2)	19 (7.9)	77 (32.0)	14 (5.8)	54 (22.4)	29 (12.0)	
	4. 75歳以上	224 (100.0)	406 (181.3)	57 (25.4)	2 (0.9)	118 (52.7)	14 (6.3)	61 (27.2)	6 (2.7)	31 (13.8)	30 (13.4)	21 (9.4)
	5. 無回答	12 (100.0)	25 (208.3)	2 (16.7)	0 (-)	6 (50.0)	2 (16.7)	5 (41.7)	0 (-)	1 (8.3)	4 (33.3)	1 (8.3)

	10. 住まい(住宅など)に関する情報	11. その他	12. 特にない	13. 無回答	
全体	136 (10.2)	13 (1.0)	152 (11.4)	61 (4.6)	
問2・年齢	1. 18～39歳	52 (18.6)	1 (0.4)	42 (15.0)	2 (0.7)
	2. 40～64歳	61 (10.5)	7 (1.2)	57 (9.8)	12 (2.1)
	3. 65～74歳	15 (6.2)	3 (1.2)	24 (10.0)	16 (6.6)
	4. 75歳以上	7 (3.1)	2 (0.9)	26 (11.6)	31 (13.8)
	5. 無回答	1 (8.3)	0 (-)	3 (25.0)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

居住地域別にみると、中央地域は「健康づくりについてのサービスの情報」、戸塚地域は「子育てについてのサービスの情報」が全体に比べ高くなっています。

■福祉や健康について知りたい情報（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 健康づくりについてのサービスの情報	2. 子育てについてのサービスの情報	3. 高齢者や介護保険サービスについての情報	4. 障害者や障害福祉サービスについての情報	5. 福祉や健康についてのサービス利用方法についての情報	6. ボランティア活動やNPOなどの住民活動についての情報	7. 健康づくりや生きがいのための学習機会(講座や教室)についての情報	8. 高齢者や障害者が生活しやすい住宅や福祉機器についての情報	9. 日常生活を送るうえでの経済的支援についての情報(生活困窮など)	
全 体	1,338 (100.0)	2,578 (192.7)	387 (28.9)	220 (16.4)	503 (37.6)	121 (9.0)	338 (25.3)	84 (6.3)	228 (17.0)	159 (11.9)	176 (13.2)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	42 (45.2)	20 (21.5)	33 (35.5)	3 (3.2)	28 (30.1)	5 (5.4)	21 (22.6)	6 (6.5)	9 (9.7)	
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	289 (191.4)	44 (29.1)	20 (13.2)	50 (33.1)	8 (5.3)	48 (31.8)	12 (7.9)	25 (16.6)	19 (12.6)	21 (13.9)
	3. 青木地域	177 (100.0)	345 (194.9)	48 (27.1)	23 (13.0)	68 (38.4)	20 (11.3)	49 (27.7)	14 (7.9)	29 (16.4)	27 (15.3)	23 (13.0)
	4. 南平地域	144 (100.0)	270 (187.5)	35 (24.3)	29 (20.1)	54 (37.5)	9 (6.3)	26 (18.1)	4 (2.8)	26 (18.1)	19 (13.2)	23 (16.0)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	152 (181.0)	18 (21.4)	8 (9.5)	33 (39.3)	11 (13.1)	18 (21.4)	4 (4.8)	12 (14.3)	10 (11.9)	10 (11.9)
	6. 神根地域	116 (100.0)	227 (195.7)	28 (24.1)	11 (9.5)	49 (42.2)	21 (18.1)	25 (21.6)	9 (7.8)	18 (15.5)	15 (12.9)	21 (18.1)
	7. 芝地域	183 (100.0)	369 (201.6)	55 (30.1)	29 (15.8)	79 (43.2)	17 (9.3)	52 (28.4)	11 (6.0)	26 (14.2)	24 (13.1)	26 (14.2)
	8. 安行地域	81 (100.0)	145 (179.0)	23 (28.4)	12 (14.8)	25 (30.9)	7 (8.6)	19 (23.5)	5 (6.2)	14 (17.3)	11 (13.6)	6 (7.4)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	315 (204.5)	52 (33.8)	44 (28.6)	56 (36.4)	16 (10.4)	38 (24.7)	11 (7.1)	27 (17.5)	14 (9.1)	24 (15.6)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	258 (177.9)	38 (26.2)	24 (16.6)	49 (33.8)	9 (6.2)	30 (20.7)	9 (6.2)	29 (20.0)	14 (9.7)	11 (7.6)
	11. 無回答	10 (100.0)	20 (200.0)	4 (40.0)	- (-)	7 (70.0)	0 (-)	5 (50.0)	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)	2 (20.0)

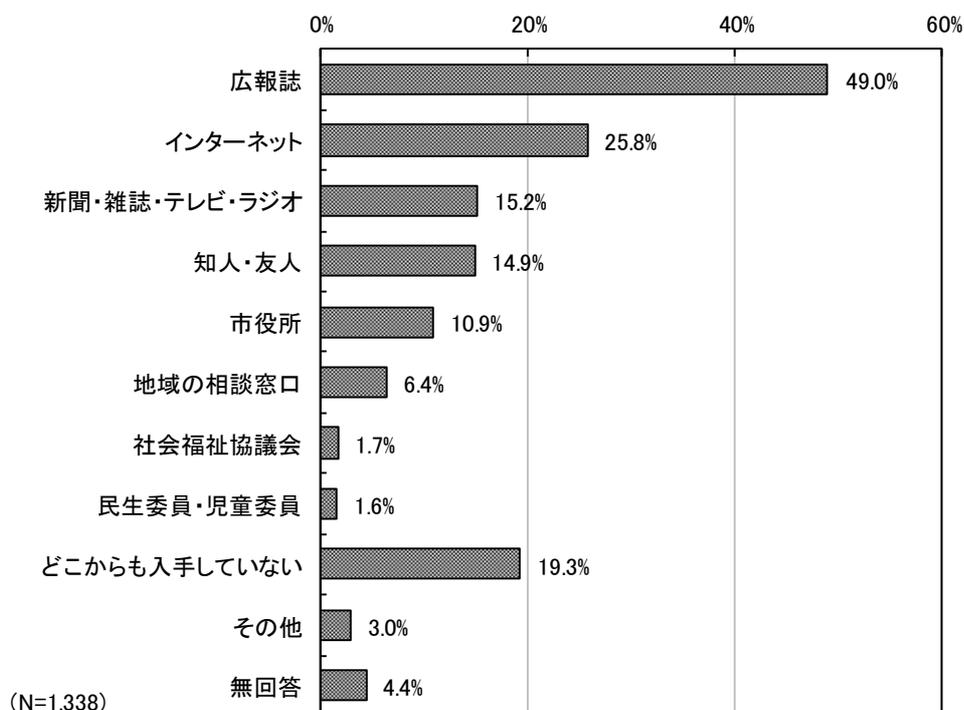
	10. 住まい(住宅など)に関する情報	11. その他	12. 特にない	13. 無回答	
全 体	136 (10.2)	13 (1.0)	152 (11.4)	61 (4.6)	
問9 居住地域	1. 中央地域	12 (12.9)	0 (-)	8 (8.6)	1 (1.1)
	2. 横曽根地域	21 (13.9)	3 (2.0)	13 (8.6)	5 (3.3)
	3. 青木地域	15 (8.5)	1 (0.6)	19 (10.7)	9 (5.1)
	4. 南平地域	16 (11.1)	2 (1.4)	21 (14.6)	6 (4.2)
	5. 新郷地域	4 (4.8)	0 (-)	15 (17.9)	9 (10.7)
	6. 神根地域	12 (10.3)	0 (-)	15 (12.9)	3 (2.6)
	7. 芝地域	19 (10.4)	1 (0.5)	21 (11.5)	9 (4.9)
	8. 安行地域	8 (9.9)	2 (2.5)	6 (7.4)	7 (8.6)
	9. 戸塚地域	14 (9.1)	2 (1.3)	14 (9.1)	3 (1.9)
	10. 鳩ヶ谷地域	15 (10.3)	2 (1.4)	19 (13.1)	9 (6.2)
	11. 無回答	0 (-)	0 (-)	1 (10.0)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

(2) 福祉サービスに関する情報の入手先 (問 32)

福祉サービスに関する情報の入手先については、「広報誌」が 49.0%で最も多く、次いで「インターネット」が 25.8%、「どこからも入手していない」が 19.3%となっています。

■福祉サービスに関する情報の入手先 (3つまで)



年齢別にみると、18～39歳は「インターネット」が全体に比べ多く、65～74歳・75歳以上は「インターネット」が全体に比べ少なくなっています。

■福祉サービスに関する情報の入手先 (年齢別)

	回答者数	合計	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	
			広報誌	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	インターネット	知人・友人	民生委員・児童委員	市役所	社会福祉協議会	地域の相談窓口 (地域包括支援センター、子育て支援センター、地域活動支援センターなど)	どこからも入手していない	その他	無回答	
全体	1,338 (100.0)	2,037 (152.2)	656 (49.0)	203 (15.2)	345 (25.8)	199 (14.9)	22 (1.6)	146 (10.9)	23 (1.7)	86 (6.4)	258 (19.3)	40 (3.0)	59 (4.4)	
問2 年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	410 (146.4)	107 (38.2)	33 (11.8)	110 (39.3)	28 (10.0)	0 (-)	28 (10.0)	2 (0.7)	13 (4.6)	75 (26.8)	12 (4.3)	2 (0.7)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	903 (155.4)	309 (53.2)	71 (12.2)	202 (34.8)	92 (15.8)	4 (0.7)	63 (10.8)	5 (0.9)	27 (4.6)	102 (17.6)	15 (2.6)	13 (2.2)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	367 (152.3)	134 (55.6)	51 (21.2)	20 (8.3)	42 (17.4)	7 (2.9)	25 (10.4)	9 (3.7)	17 (7.1)	46 (19.1)	3 (1.2)	13 (5.4)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	335 (149.6)	101 (45.1)	45 (20.1)	9 (4.0)	35 (15.6)	11 (4.9)	27 (12.1)	7 (3.1)	27 (12.1)	33 (14.7)	9 (4.0)	31 (13.8)
	5. 無回答	12 (100.0)	22 (183.3)	5 (41.7)	3 (25.0)	4 (33.3)	2 (16.7)	0 (-)	3 (25.0)	0 (-)	2 (16.7)	2 (16.7)	1 (8.3)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

居住地域別にみると、中央地域は「インターネット」、横曽根地域は「広報誌」が全体に比べ多くなっています。

■福祉サービスに関する情報の入手先（居住地域別）

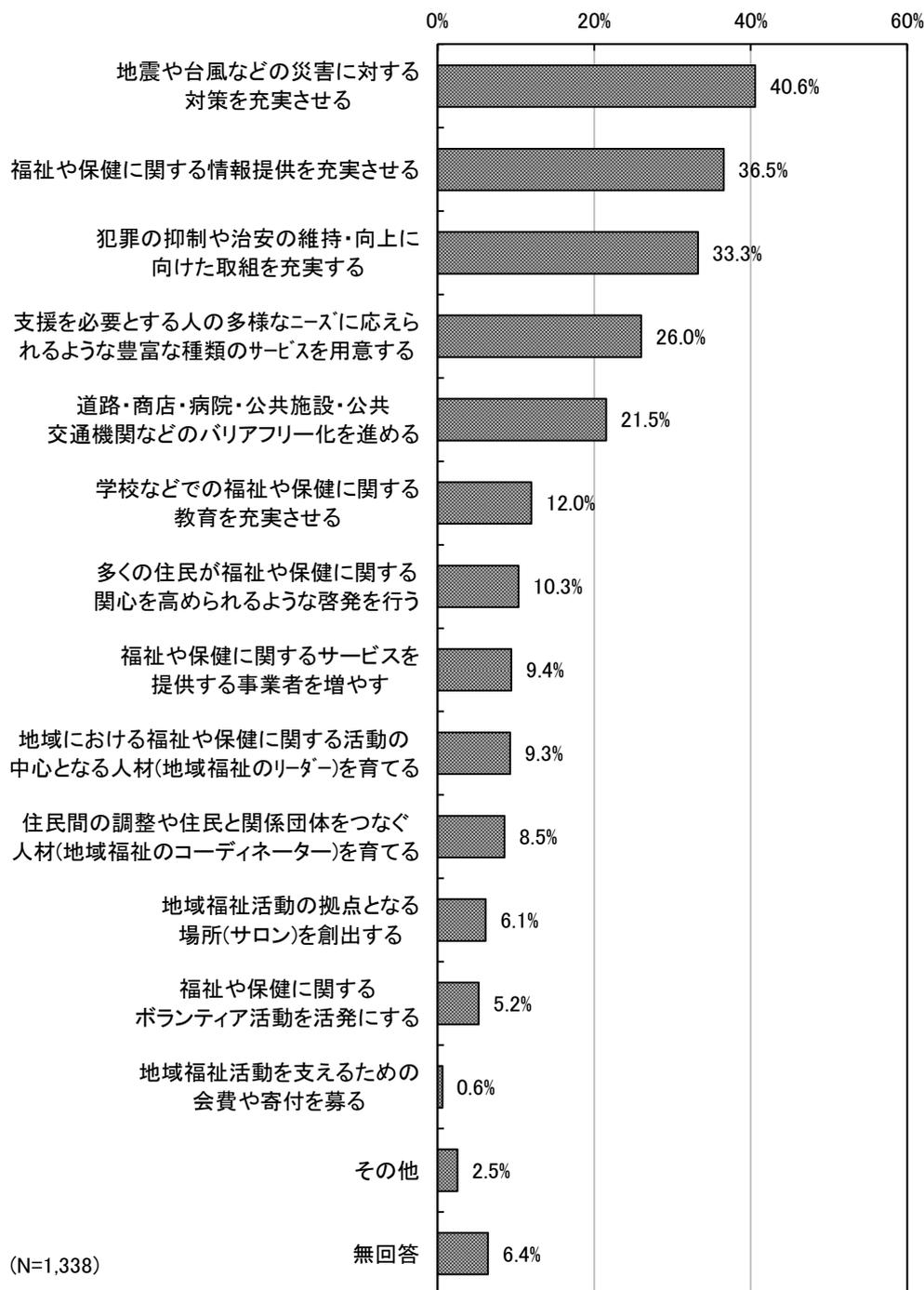
	回答者数	合計	1. 広報誌	2. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	3. インターネット	4. 知人・友人	5. 民生委員・児童委員	6. 市役所	7. 社会福祉協議会	8. 地域の相談窓口（地域包括支援センター、子育て支援センター、地域活動支援センターなど）	9. どこからも入手していない	10. その他	11. 無回答	
全体	1,338 (100.0)	2,037 (152.2)	656 (49.0)	203 (15.2)	345 (25.8)	199 (14.9)	22 (1.6)	146 (10.9)	23 (1.7)	86 (6.4)	258 (19.3)	40 (3.0)	59 (4.4)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	143 (153.8)	48 (51.6)	11 (11.8)	36 (38.7)	12 (12.9)	1 (1.1)	12 (12.9)	1 (1.1)	2 (2.2)	14 (15.1)	3 (3.2)	3 (3.2)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	236 (156.3)	90 (59.6)	22 (14.6)	46 (30.5)	18 (11.9)	3 (2.0)	10 (6.6)	2 (1.3)	11 (7.3)	25 (16.6)	2 (1.3)	7 (4.6)
	3. 青木地域	177 (100.0)	276 (155.9)	85 (48.0)	27 (15.3)	34 (19.2)	28 (15.8)	2 (1.1)	24 (13.6)	5 (2.8)	19 (10.7)	36 (20.3)	6 (3.4)	10 (5.6)
	4. 南平地域	144 (100.0)	224 (155.6)	67 (46.5)	20 (13.9)	33 (22.9)	25 (17.4)	3 (2.1)	20 (13.9)	4 (2.8)	13 (9.0)	32 (22.2)	6 (4.2)	1 (0.7)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	133 (158.3)	37 (44.0)	16 (19.0)	20 (23.8)	16 (19.0)	3 (3.6)	12 (14.3)	2 (2.4)	4 (4.8)	15 (17.9)	2 (2.4)	6 (7.1)
	6. 神根地域	116 (100.0)	173 (149.1)	58 (50.0)	18 (15.5)	26 (22.4)	25 (21.6)	3 (2.6)	8 (6.9)	2 (1.7)	8 (6.9)	16 (13.8)	2 (1.7)	7 (6.0)
	7. 芝地域	183 (100.0)	264 (144.3)	87 (47.5)	32 (17.5)	46 (25.1)	22 (12.0)	1 (0.5)	14 (7.7)	1 (0.5)	10 (5.5)	40 (21.9)	5 (2.7)	6 (3.3)
	8. 安行地域	81 (100.0)	117 (144.4)	35 (43.2)	11 (13.6)	19 (23.5)	9 (11.1)	1 (1.2)	8 (9.9)	0 (-)	2 (2.5)	23 (28.4)	2 (2.5)	7 (8.6)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	245 (159.1)	66 (42.9)	26 (16.9)	52 (33.8)	24 (15.6)	1 (0.6)	20 (13.0)	2 (1.3)	11 (7.1)	31 (20.1)	7 (4.5)	5 (3.2)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	214 (147.6)	79 (54.5)	19 (13.1)	32 (22.1)	18 (12.4)	4 (2.8)	16 (11.0)	4 (2.8)	6 (4.1)	24 (16.6)	5 (3.4)	7 (4.8)
	11. 無回答	10 (100.0)	12 (120.0)	4 (40.0)	1 (10.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	0 (-)	2 (20.0)	0 (-)	0 (-)	2 (20.0)	0 (-)	0 (-)

注：()内は割合を100とした割合

(3) 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために必要だと思うこと (問 33)

住み慣れた地域で安心して生活していくために必要だと思うことについては、「地震や台風などの災害に対する対策を充実させる」が40.6%で最も多く、次いで「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が36.5%、「犯罪の抑制や治安の維持・向上に向けた取組を充実する」が33.3%となっています。

■ 地域で安心して生活していくために必要なこと (3つまで)



居住地域別にみると、中央地域は「犯罪の抑制や治安の維持・向上に向けた取組を充実する」が全体に比べ多くなっています。

■地域で安心して生活していくために必要なこと（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 福祉や保健に関する情報提供を充実させる	2. 支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する	3. 福祉や保健に関するサービスを提供する事業者を増やす	4. 地域における福祉や保健に関する活動の中心となる人材(地域福祉のリーダー)を育てる	5. 住民間の調整や住民と関係団体をつなぐ人材(地域福祉のコーディネーター)を育てる	6. 福祉や保健に関するボランティア活動を活発にする	7. 地域福祉活動の拠点となる場所(サロン)を創出する	8. 地域福祉活動を支えるための会費や寄付を募る	9. 学校などでの福祉や保健に関する教育を充実させる	
全体	1,338 (100.0)	3,055 (228.3)	489 (36.5)	348 (26.0)	126 (9.4)	124 (9.3)	114 (8.5)	70 (5.2)	82 (6.1)	8 (0.6)	160 (12.0)	
問9・居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	230 (247.3)	41 (44.1)	23 (24.7)	10 (10.8)	3 (3.2)	6 (6.5)	4 (6.5)	6 (-)	0 (10.8)	
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	341 (225.8)	56 (37.1)	37 (24.5)	12 (7.9)	17 (11.3)	15 (9.9)	6 (4.0)	12 (7.9)	1 (0.7)	20 (13.2)
	3. 青木地域	177 (100.0)	397 (224.3)	67 (37.9)	45 (25.4)	16 (9.0)	20 (11.3)	16 (9.0)	15 (8.5)	10 (5.6)	1 (0.6)	26 (14.7)
	4. 南平地域	144 (100.0)	332 (230.6)	45 (31.3)	39 (27.1)	12 (8.3)	14 (9.7)	16 (11.1)	7 (4.9)	7 (4.9)	3 (2.1)	22 (15.3)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	183 (217.9)	25 (29.8)	22 (26.2)	10 (11.9)	8 (9.5)	5 (6.0)	6 (7.1)	4 (4.8)	0 (-)	6 (7.1)
	6. 神根地域	116 (100.0)	267 (230.2)	43 (37.1)	30 (25.9)	10 (8.6)	11 (9.5)	6 (5.2)	8 (6.9)	8 (6.9)	0 (-)	17 (14.7)
	7. 芝地域	183 (100.0)	420 (229.5)	73 (39.9)	47 (25.7)	17 (9.3)	20 (10.9)	13 (7.1)	5 (2.7)	8 (4.4)	1 (0.5)	13 (7.1)
	8. 安行地域	81 (100.0)	179 (221.0)	21 (25.9)	21 (25.9)	6 (7.4)	6 (7.4)	7 (8.6)	3 (3.7)	7 (8.6)	0 (-)	11 (13.6)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	376 (244.2)	65 (42.2)	44 (28.6)	19 (12.3)	12 (7.8)	17 (11.0)	8 (5.2)	11 (7.1)	1 (0.6)	22 (14.3)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	314 (216.6)	51 (35.2)	37 (25.5)	14 (9.7)	13 (9.0)	13 (9.0)	8 (5.5)	9 (6.2)	1 (0.7)	12 (8.3)
	11. 無回答	10 (100.0)	16 (160.0)	2 (20.0)	3 (30.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (10.0)

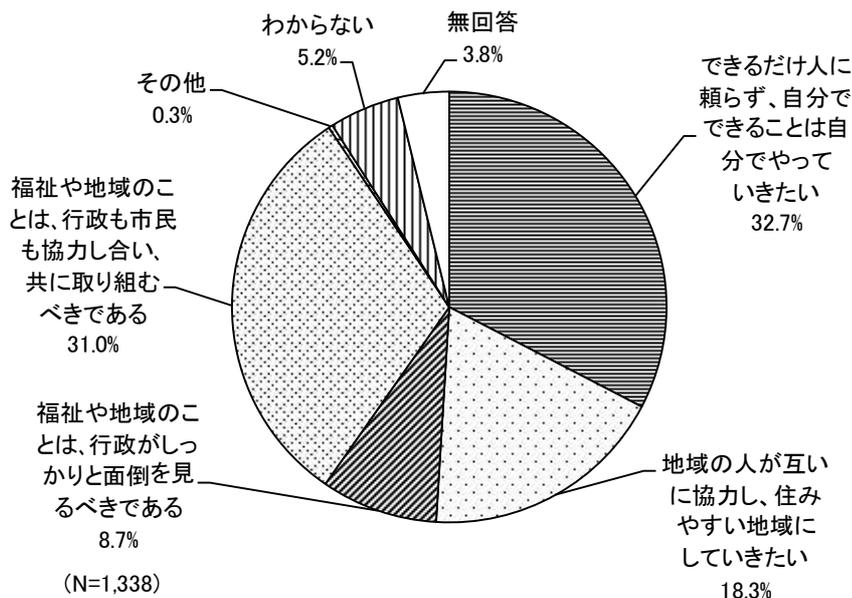
	10. 多くの住民が福祉や保健に関する関心を高められるような啓発を行う	11. 道路・商店・病院・公共施設・公共交通機関などのバリアフリー化を進める	12. 地震や台風などの災害に対する対策を充実させる	13. 犯罪の抑制や治安の維持・向上に向けた取組を充実する	14. その他	15. 無回答	
全体	138 (10.3)	288 (21.5)	543 (40.6)	445 (33.3)	34 (2.5)	86 (6.4)	
問9・居住地域	1. 中央地域	4 (4.3)	28 (30.1)	47 (50.5)	43 (46.2)	2 (2.2)	3 (3.2)
	2. 横曽根地域	12 (7.9)	25 (16.6)	47 (31.1)	65 (43.0)	5 (3.3)	11 (7.3)
	3. 青木地域	23 (13.0)	32 (18.1)	59 (33.3)	50 (28.2)	2 (1.1)	15 (8.5)
	4. 南平地域	14 (9.7)	34 (23.6)	71 (49.3)	42 (29.2)	3 (2.1)	3 (2.1)
	5. 新郷地域	14 (16.7)	16 (19.0)	35 (41.7)	21 (25.0)	2 (2.4)	9 (10.7)
	6. 神根地域	11 (9.5)	29 (25.0)	48 (41.4)	37 (31.9)	3 (2.6)	6 (5.2)
	7. 芝地域	20 (10.9)	50 (27.3)	79 (43.2)	55 (30.1)	6 (3.3)	13 (7.1)
	8. 安行地域	7 (8.6)	19 (23.5)	34 (42.0)	26 (32.1)	1 (1.2)	10 (12.3)
	9. 戸塚地域	15 (9.7)	31 (20.1)	61 (39.6)	64 (41.6)	3 (1.9)	3 (1.9)
	10. 鳩ヶ谷地域	18 (12.4)	24 (16.6)	59 (40.7)	38 (26.2)	6 (4.1)	11 (7.6)
	11. 無回答	0 (-)	0 (-)	3 (30.0)	4 (40.0)	1 (10.0)	2 (20.0)

注:()内は割合を100とした割合

(4) 地域における福祉についての考え (問 34)

地域における福祉についての考えについては、「できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい」が 32.7%で最も多く、次いで「福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである」が 31.0%、「地域の人が互いに協力し、住みやすい地域にしていきたい」が 18.3%となっています。

■地域における福祉についての考え



年齢別にみると、65～74歳は「できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい」が全体に比べ多くなっています。

■地域における福祉についての考え (年齢別)

	合計	1. できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい	2. 地域の人が互いに協力し、住みやすい地域にしていきたい	3. 福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである	4. 福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである	5. その他	6. わからない	7. 無回答	
全体	1,338 (100.0)	437 (32.7)	245 (18.3)	116 (8.7)	415 (31.0)	4 (0.3)	70 (5.2)	51 (3.8)	
問2 年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	65 (23.2)	75 (26.8)	36 (12.9)	82 (29.3)	1 (0.4)	19 (6.8)	2 (0.7)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	170 (29.3)	95 (16.4)	58 (10.0)	213 (36.7)	3 (0.5)	33 (5.7)	9 (1.5)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	106 (44.0)	40 (16.6)	7 (2.9)	70 (29.0)	0 (-)	7 (2.9)	11 (4.6)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	93 (41.5)	32 (14.3)	12 (5.4)	49 (21.9)	0 (-)	9 (4.0)	29 (12.9)
	5. 無回答	12 (100.0)	3 (25.0)	3 (25.0)	3 (25.0)	1 (8.3)	0 (-)	2 (16.7)	0 (-)

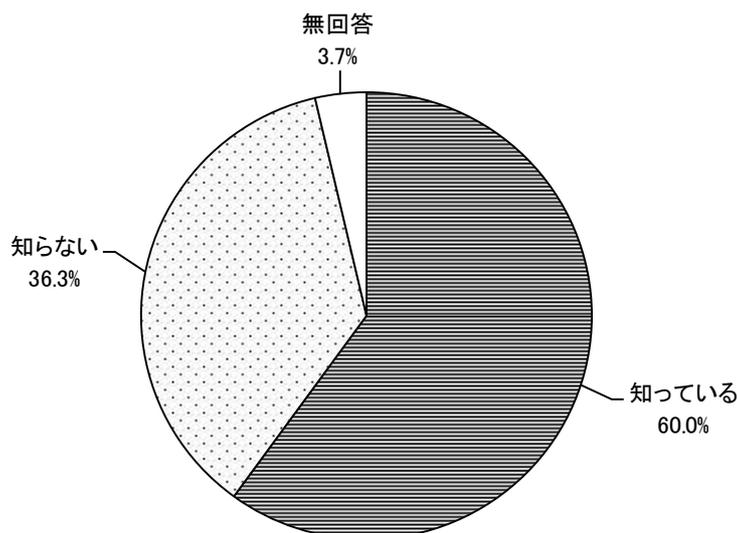
注：()内はサンプル数を100とした割合

6. 災害時における助け合いについて

(1) 災害時の避難先の認知度（問35）

災害時の避難先の認知度については、「知っている」が60.0%、「知らない」が36.3%となっています。

■災害時の避難先の認知度



(N=1,338)

居住地域別にみると、中央地域は「知らない」が全体に比べ多くなっています。

■災害時の避難先の認知度（居住地域別）

	合計	1. 知っている	2. 知らない	3. 無回答	
全体	1,338 (100.0)	803 (60.0)	486 (36.3)	49 (3.7)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	47 (50.5)	45 (48.4)	1 (1.1)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	92 (60.9)	55 (36.4)	4 (2.6)
	3. 青木地域	177 (100.0)	107 (60.5)	65 (36.7)	5 (2.8)
	4. 南平地域	144 (100.0)	87 (60.4)	53 (36.8)	4 (2.8)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	52 (61.9)	25 (29.8)	7 (8.3)
	6. 神根地域	116 (100.0)	68 (58.6)	42 (36.2)	6 (5.2)
	7. 芝地域	183 (100.0)	109 (59.6)	68 (37.2)	6 (3.3)
	8. 安行地域	81 (100.0)	55 (67.9)	23 (28.4)	3 (3.7)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	90 (58.4)	59 (38.3)	5 (3.2)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	91 (62.8)	46 (31.7)	8 (5.5)
	11. 無回答	10 (100.0)	5 (50.0)	5 (50.0)	0 (-)

注：()内はサンプル数を100とした割合

定住意向別にみると、転出したいは「知らない」が全体に比べ多くなっています。

■災害時の避難先の認知度（地域別）

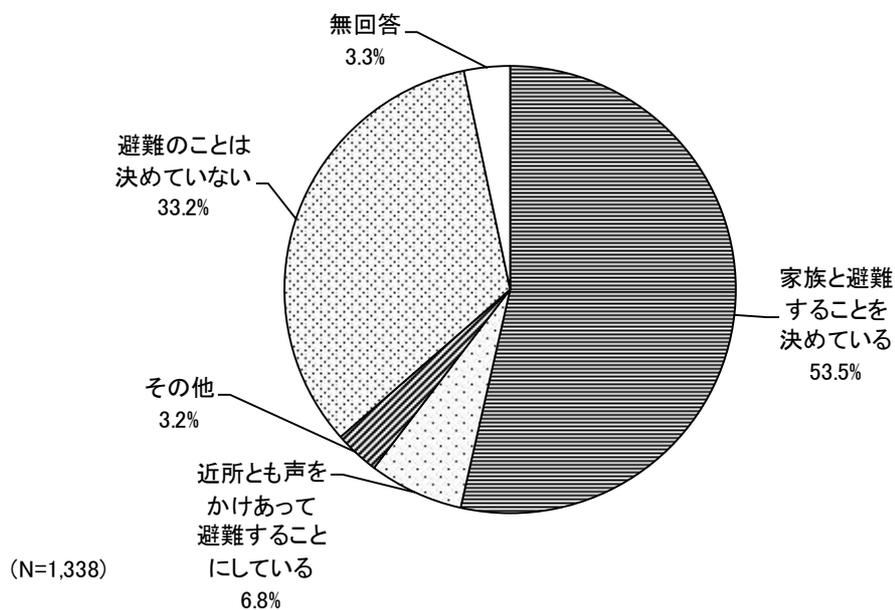
		合 計	1. 知っている	2. 知らない	3. 無回答
全 体		1,338 (100.0)	803 (60.0)	486 (36.3)	49 (3.7)
問10 定住意向	1. ずっと住み続けたい	514 (100.0)	327 (63.6)	168 (32.7)	19 (3.7)
	2. できれば住み続けたい	589 (100.0)	348 (59.1)	224 (38.0)	17 (2.9)
	3. できれば転出したい	160 (100.0)	92 (57.5)	61 (38.1)	7 (4.4)
	4. 転出したい	35 (100.0)	13 (37.1)	20 (57.1)	2 (5.7)
	5. 無回答	40 (100.0)	23 (57.5)	13 (32.5)	4 (10.0)

注：()内はサンプル数を100とした割合

(2) 災害時に誰と避難をするか（問36）

災害時に誰と避難をするのかについては、「家族と避難することを決めている」が53.5%で最も多く、次いで「避難のことは決めていない」が33.2%、「近所とも声をかけあって避難することになっている」が6.8%となっています。

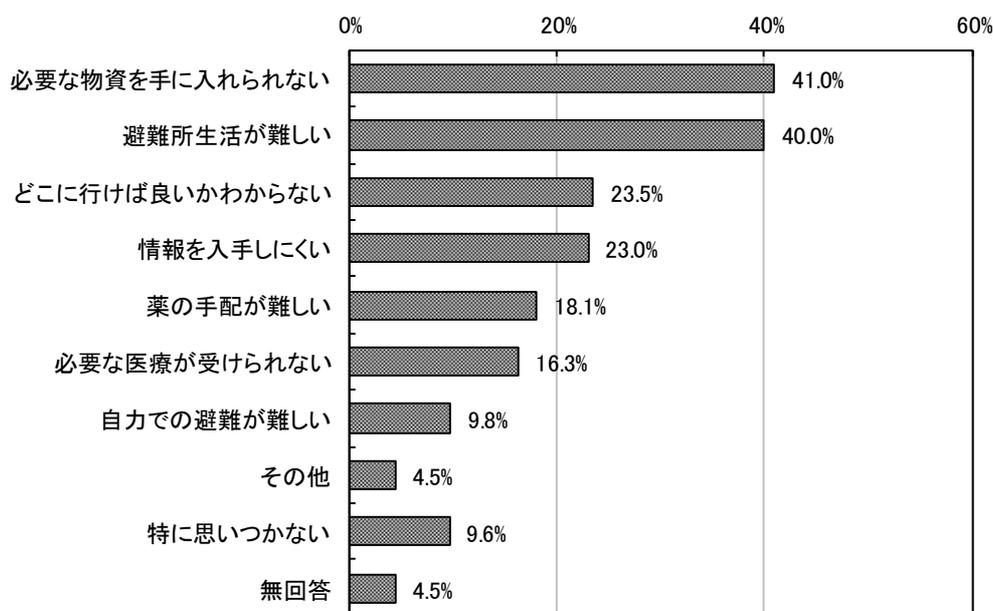
■災害時に誰と避難をするのか



(3) 大規模な災害が起きた時に心配なこと (問 37)

大規模な災害が起きた時に必要なことについては、「必要な物資を手に入れられない」が41.0%で最も多く、次いで「避難所生活が難しい」が40.0%、「どこに行けば良いかわからない」が23.5%となっています。

■大規模な災害が起きた時に心配なこと (3つまで)



(N=1,338)

年齢別にみると、18～39歳は「必要な物資を手に入れられない」、75歳以上は「自力での避難が難しい」が全体に比べ多くなっています。

■大規模な災害が起きた時に心配なこと (年齢別)

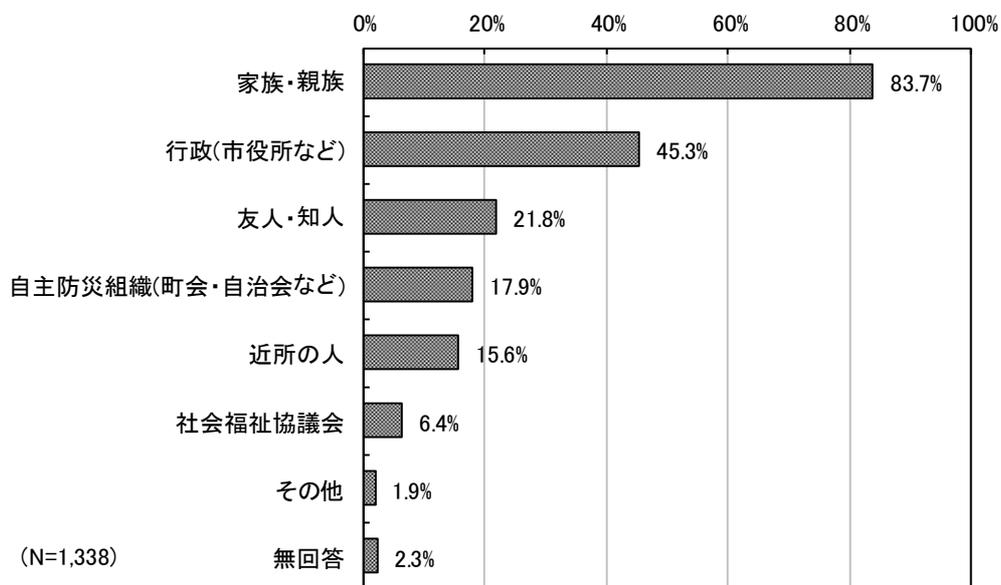
		回答者数	合計	1. 自力での避難が難しい	2. 避難所生活が難しい	3. 薬の手配が難しい	4. 情報を入手しにくい	5. 必要な医療が受けられない	6. 必要な物資を手に入れられない	7. どこに行けば良いかわからない	8. その他	9. 特に思いつかない	10. 無回答
全体		1,338 (100.0)	2,546 (190.3)	131 (9.8)	535 (40.0)	242 (18.1)	308 (23.0)	218 (16.3)	548 (41.0)	315 (23.5)	60 (4.5)	129 (9.6)	60 (4.5)
問2 年齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	529 (188.9)	16 (5.7)	112 (40.0)	27 (9.6)	69 (24.6)	37 (13.2)	145 (51.8)	70 (25.0)	22 (7.9)	29 (10.4)	2 (0.7)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	1,089 (187.4)	24 (4.1)	240 (41.3)	93 (16.0)	135 (23.2)	88 (15.1)	266 (45.8)	130 (22.4)	34 (5.9)	64 (11.0)	15 (2.6)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	459 (190.5)	26 (10.8)	88 (36.5)	55 (22.8)	64 (26.6)	46 (19.1)	78 (32.4)	61 (25.3)	1 (0.4)	24 (10.0)	16 (6.6)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	441 (196.9)	62 (27.7)	89 (39.7)	62 (27.7)	38 (17.0)	44 (19.6)	56 (25.0)	49 (21.9)	3 (1.3)	11 (4.9)	27 (12.1)
	5. 無回答	12 (100.0)	28 (233.3)	3 (25.0)	6 (50.0)	5 (41.7)	2 (16.7)	3 (25.0)	3 (25.0)	5 (41.7)	0 (-)	1 (8.3)	0 (-)

注: ()内はサンプル数を100とした割合

(4) 被災後の生活において頼る先 (問 38)

災害後の生活において頼る先については、「家族・親族」が 83.7%で最も多く、次いで「行政(市役所など)」が 45.3%、「友人・知人」が 21.8%となっています。

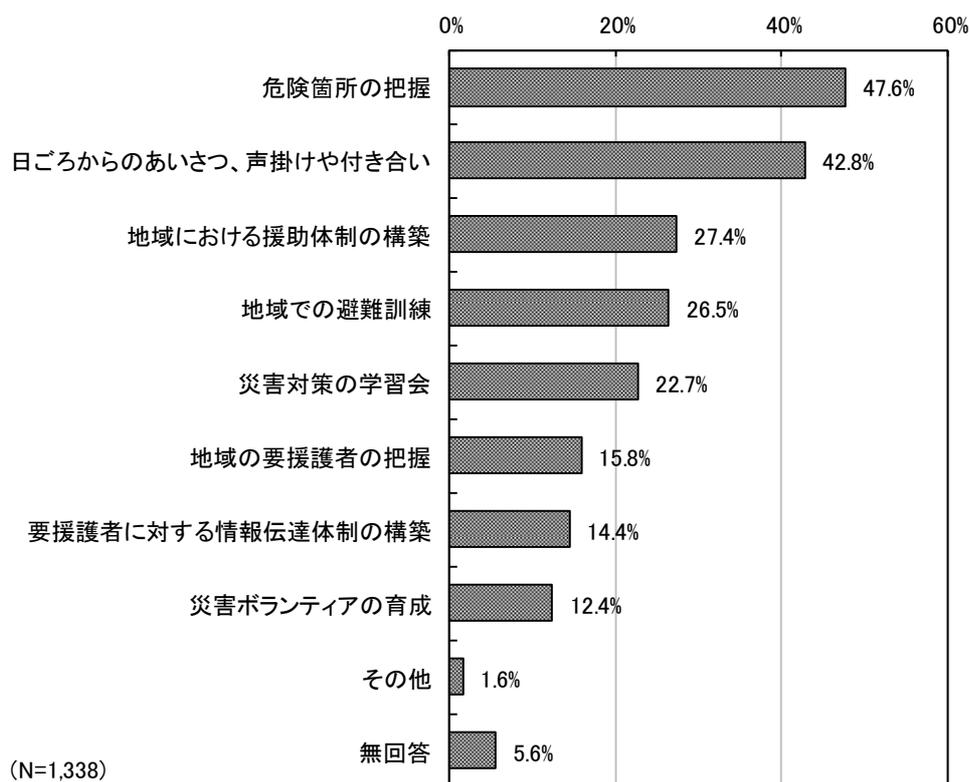
■被災後の生活において頼る先 (3つまで)



(5) 居住地域で災害時の備えとして必要なこと (問 39)

居住地域で災害時の備えとして必要なことについては、「危険箇所の把握」が 47.6%で最も多く、次いで「日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い」が 42.8%、「地域における援助体制の構築」が 27.4%となっています。

■ 災害時の備えとして必要なこと (3つまで)



居住地域別にみると、横曽根地域は「危険箇所の把握」が全体に比べ多く、新郷市域は「日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い」が全体に比べ少なくなっています。

■災害時の備えとして必要なこと（居住地域別）

	回答者数	合計	1. 災害対策の学習会	2. 日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い	3. 地域での避難訓練	4. 危険箇所の把握	5. 地域における援助体制の構築	6. 地域の要援護者の把握	7. 要援護者に対する情報伝達体制の構築	8. 災害ボランティアの育成	9. その他	10. 無回答	
全体	1,338 (100.0)	2,901 (216.8)	304 (22.7)	572 (42.8)	354 (26.5)	637 (47.6)	366 (27.4)	212 (15.8)	193 (14.4)	166 (12.4)	22 (1.6)	75 (5.6)	
問9 居住地域	1. 中央地域	93 (100.0)	204 (219.4)	27 (29.0)	39 (41.9)	30 (32.3)	46 (49.5)	26 (28.0)	13 (14.0)	14 (15.1)	6 (6.5)	1 (1.1)	2 (2.2)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	334 (221.2)	38 (25.2)	60 (39.7)	36 (23.8)	88 (58.3)	39 (25.8)	22 (14.6)	22 (14.6)	21 (13.9)	3 (2.0)	5 (3.3)
	3. 青木地域	177 (100.0)	398 (224.9)	41 (23.2)	75 (42.4)	50 (28.2)	85 (48.0)	47 (26.6)	36 (20.3)	35 (19.8)	19 (10.7)	2 (1.1)	8 (4.5)
	4. 南平地域	144 (100.0)	323 (224.3)	31 (21.5)	68 (47.2)	41 (28.5)	64 (44.4)	50 (34.7)	21 (14.6)	25 (17.4)	18 (12.5)	2 (1.4)	3 (2.1)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	165 (196.4)	15 (17.9)	27 (32.1)	23 (27.4)	41 (48.8)	22 (26.2)	7 (8.3)	13 (15.5)	6 (7.1)	2 (2.4)	9 (10.7)
	6. 神根地域	116 (100.0)	253 (218.1)	23 (19.8)	56 (48.3)	29 (25.0)	50 (43.1)	33 (28.4)	22 (19.0)	16 (13.8)	16 (13.8)	2 (1.7)	6 (5.2)
	7. 芝地域	183 (100.0)	381 (208.2)	38 (20.8)	61 (33.3)	44 (24.0)	83 (45.4)	49 (26.8)	27 (14.8)	26 (14.2)	33 (18.0)	2 (1.1)	18 (9.8)
	8. 安行地域	81 (100.0)	171 (211.1)	17 (21.0)	36 (44.4)	22 (27.2)	42 (51.9)	20 (24.7)	10 (12.3)	8 (9.9)	10 (12.3)	1 (1.2)	5 (6.2)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	343 (222.7)	36 (23.4)	73 (47.4)	44 (28.6)	72 (46.8)	44 (28.6)	23 (14.9)	19 (12.3)	20 (13.0)	3 (1.9)	9 (5.8)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	308 (212.4)	35 (24.1)	73 (50.3)	32 (22.1)	60 (41.4)	35 (24.1)	29 (20.0)	15 (10.3)	17 (11.7)	4 (2.8)	8 (5.5)
	11. 無回答	10 (100.0)	21 (210.0)	3 (30.0)	4 (40.0)	3 (30.0)	6 (60.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (20.0)

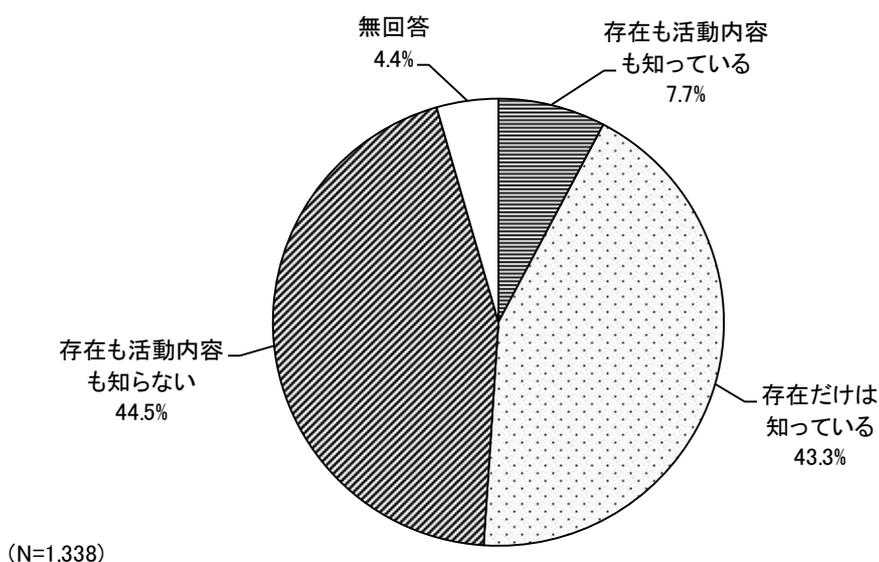
注：()内はサンプル数を100とした割合

7. 社会福祉協議会について

(1) 川口市社会福祉協議会の認知度（問 40）

川口市社会福祉協議会については、「存在も活動内容も知らない」が 44.5%で最も多く、次いで「存在だけは知っている」が 43.3%、「存在も活動内容も知っている」が 7.7%となっています。

■川口市社会福祉協議会の認知度



年齢別にみると、18～39歳は「存在も活動内容も知らない」が全体に比べ多く、65～74歳・75歳以上は「存在も活動内容も知らない」が全体に比べ少なくなっています。

■川口市社会福祉協議会の認知度（年齢別）

		合計	1. 存在も活動内容も知っている	2. 存在だけは知っている	3. 存在も活動内容も知らない	4. 無回答
全体		1,338 (100.0)	103 (7.7)	580 (43.3)	596 (44.5)	59 (4.4)
問 2 ・ 年 齢	1. 18～39歳	280 (100.0)	11 (3.9)	78 (27.9)	189 (67.5)	2 (0.7)
	2. 40～64歳	581 (100.0)	41 (7.1)	267 (46.0)	264 (45.4)	9 (1.5)
	3. 65～74歳	241 (100.0)	23 (9.5)	128 (53.1)	72 (29.9)	18 (7.5)
	4. 75歳以上	224 (100.0)	27 (12.1)	104 (46.4)	66 (29.5)	27 (12.1)
	5. 無回答	12 (100.0)	1 (8.3)	3 (25.0)	5 (41.7)	3 (25.0)

注:()内はサンプル数を100とした割合

居住地域別にみると、中央地域・戸塚地域は「存在も活動内容も知らない」、鳩ヶ谷地域は「存在だけは知っている」が全体に比べ多くなっています。

■川口市社会福祉協議会の認知度（居住地域別）

	合 計	1. 存在も活 動内容も 知っている	2. 存在だけ は知って いる	3. 存在も活 動内容も 知らない	4. 無回答	
全 体	1,338 (100.0)	103 (7.7)	580 (43.3)	596 (44.5)	59 (4.4)	
問 9 ・ 居 住 地 域	1. 中央地域	93 (100.0)	4 (4.3)	30 (32.3)	56 (60.2)	3 (3.2)
	2. 横曽根地域	151 (100.0)	14 (9.3)	70 (46.4)	62 (41.1)	5 (3.3)
	3. 青木地域	177 (100.0)	19 (10.7)	80 (45.2)	66 (37.3)	12 (6.8)
	4. 南平地域	144 (100.0)	15 (10.4)	67 (46.5)	58 (40.3)	4 (2.8)
	5. 新郷地域	84 (100.0)	8 (9.5)	30 (35.7)	39 (46.4)	7 (8.3)
	6. 神根地域	116 (100.0)	10 (8.6)	51 (44.0)	52 (44.8)	3 (2.6)
	7. 芝地域	183 (100.0)	12 (6.6)	80 (43.7)	81 (44.3)	10 (5.5)
	8. 安行地域	81 (100.0)	2 (2.5)	37 (45.7)	40 (49.4)	2 (2.5)
	9. 戸塚地域	154 (100.0)	9 (5.8)	54 (35.1)	88 (57.1)	3 (1.9)
	10. 鳩ヶ谷地域	145 (100.0)	10 (6.9)	79 (54.5)	48 (33.1)	8 (5.5)
	11. 無回答	10 (100.0)	0 (-)	2 (20.0)	6 (60.0)	2 (20.0)

注：()内はツブ #数を100とした割合

(2) 川口市社会福祉協議会の事業の認知度（問 41）

川口市社会福祉協議会の事業の認知度については、『内容を知っている』では「訪問介護事業」が14.1%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ事業」が13.8%で、『聞いたことがある』では、「訪問介護事業」が30.7%で最も多く、次いで「青木たたら荘」が27.7%となっています。

■川口市社会福祉協議会の事業の認知度

		■内容を知っている □聞いたことがある ■知らない □無回答 0% 20% 40% 60% 80% 100%			
地域福祉活動に関すること	1. 地区社協との協働、地域福祉活動(サロン活動など)の支援	4.6	23.6	64.3	7.5
ボランティアに関すること	2. かわぐちボランティアセンター(ボランティア活動の推進、福祉教育、災害ボランティア等)	4.3	22.5	64.6	8.7
	3. カフェ&ふれあいショップふらっとの支援	4.9	19.6	66.4	9.1
日々の生活に関すること	4. 住民参加型福祉サービス事業(家事援助サービス、車いす貸出サービス等)	7.3	23.6	61.2	7.8
	5. 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)	4.8	22.5	63.0	9.7
	6. 交通遺児育英事業	3.7	20.0	66.4	9.9
	7. 生活福祉資金貸付事業	3.6	15.3	71.8	9.3
	8. 成年後見センター事業	3.8	14.6	71.7	9.8
介護に関すること	9. 生活困窮者自立相談支援事業(生活自立サポートセンター)	3.1	20.6	66.9	9.4
	10. 訪問介護事業	14.1	30.7	48.1	7.2
高齢者に関すること	11. 居宅介護支援事業	12.0	27.6	52.2	8.1
	12. 青木たたら荘	9.7	27.7	54.0	8.5
	13. 健康長寿支援事業(健康講師派遣事業)	2.7	11.6	74.7	11.0
	14. 金婚、ダイヤモンド婚、プラチナ婚、賀詞贈呈	9.3	19.4	62.2	9.1
	15. さわやかコール事業	1.9	6.7	80.9	10.5
子育てや児童に関すること	16. 地域包括支援センター事業(青木地域包括支援センター)	7.3	17.2	65.8	9.6
	17. 放課後児童クラブ事業	13.8	20.0	54.3	11.9
	18. 子育てサポートプラザ事業(つどいの広場、利用者支援、子育て支援総合コーディネート)	5.9	16.7	65.1	12.3
障害のある方に関すること	19. ファミリーサポートセンター事業	6.9	13.8	66.9	12.4
	20. 障害者相談支援事業(障害者相談支援センター社協)	4.9	19.0	64.6	11.6
	21. 手話通訳者派遣事業	3.8	12.3	72.3	11.7

資料編

アンケート調査票

第2期川口市地域福祉計画の見直しに向けた アンケート調査のお願い

市民の皆様には、日ごろから市政に対し格別のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、川口市では、社会環境の変化や市民ニーズ等の実態を踏まえ、一層の地域福祉の増進を図るため、平成26年3月に策定した第2期川口市地域福祉計画（平成26年度～平成35年度）の見直しを行うことになりました。

この調査は、川口市にお住まいの方々の生活状況や福祉に対するご意見をお聞かせいただき、「第2期川口市地域福祉計画（平成31年度～平成35年度）」に反映させていくための大切な基礎資料となるものです。

調査にあたりましては18歳以上の市民の方から無作為に対象者を選ばせていただきました。ご回答者の名前を記入せずにご回答いただき、皆様からの答えはすべて統計的に処理します。本調査の目的以外に使用することはありませんので、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年7月

川口市長 奥ノ木 信夫

- 1 この調査票にお名前を記入する必要はありません。
- 2 ご記入は原則としてご本人をお願いします。ご本人がお答えになりにくい、あるいはできない場合には、ご家族の方がご本人の立場になってお答えください。
- 3 お答えはあてはまる番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
なお、答えたくない質問に対しては無理にお答えいただくなくても結構です。
- 4 質問によっては、回答数やお答えいただく方が限られているものがありますので、断り書きにご注意ください。
- 5 この調査票は、平成30年7月1日現在の状況でお答えください。
- 6 ご記入いただいた調査票は、**平成30年8月10日（金）**までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。（切手は不要です。）
- 7 記入にあたって、ご不明な点がある方やお困りの方は、下記のところまで気軽にお問い合わせください。

《問合せ先》

川口市役所 福祉部 福祉総務課

〒332-0032 川口市中西木1丁目5番1号（第二庁舎4F）

TEL：048-259-7929

FAX：048-255-3188

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします
★この調査では、調査対象のご本人を「あなた」と呼んでいます。

問1 あなたの性別をお答えください（ひとつに○）。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお答えください（ひとつに○）。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 5. 60～64歳 | 9. 80～84歳 |
| 2. 30～39歳 | 6. 65～69歳 | 10. 85歳以上 |
| 3. 40～49歳 | 7. 70～74歳 | |
| 4. 50～59歳 | 8. 75～79歳 | |

問3 あなたは、現在どなたと一緒に住まいをお答えください（あてはまるものすべてに○）。

- | | | |
|----------------|----------|-----------------|
| 1. 一人暮らし（自分のみ） | 5. 子の配偶者 | 9. あなたや配偶者の兄弟姉妹 |
| 2. 配偶者（65歳未満） | 6. 親 | 10. その他（ ） |
| 3. 配偶者（65歳以上） | 7. 祖父母 | |
| 4. 子 | 8. 孫・ひ孫 | |

問4 あなたのご自宅についてお答えください（ひとつに○）。

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| 1. 持ち家の一戸建て | 5. 公的賃貸住宅（都営住宅、市営住宅など） |
| 2. 持ち家の集合住宅 | 6. 高齢者向け住宅（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など） |
| 3. 民間賃貸の一戸建て | 7. その他（ ） |
| 4. 民間賃貸の集合住宅 | |

問5 あなたの世帯の状況についてお答えください（あてはまるものすべてに○）。

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. 子育てをしている（6歳未満） | 4. 要介護（支援）認定は受けていないが、介護が必要な高齢の方と同居している |
| 2. 子育てをしている（6歳以上18歳未満） | 5. 介護が必要な障害のある方と同居している |
| 3. 要介護（支援）認定を受けている方と同居している | 6. 「1」から「5」に該当しない方 |

問6 あなたのご職業についてお答えください（ひとつに○）。

- | | | |
|----------|-----------------------|-----------------|
| 1. 農林水産業 | 5. 会社員、団体職員（経営者・役員） | 9. ハート・アルバイト・内職 |
| 2. 商工自営業 | 6. 会社員、団体職員（経営者・役員以外） | 10. 学生 |
| 3. サービス業 | 7. 公務員、教員 | 11. 無職 |
| 4. 自由業 | 8. 専業主婦 | 12. その他（ ） |

問7 あなたは、現在の収入での暮らしをどのように感じているかお答えください(ひとつに○)。

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ゆとりがある | 3. ふつう | 5. 大変苦しい |
| 2. ややゆとりがある | 4. やや苦しい | |

問8 あなたが川口市に住んでいる年数についてお答えください。川口市を一度出られ(例えば進学や就職のため)、戻られた場合には、川口市に住んでいる合計年数でお答えください(ひとつに○)。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 1. 1年未満 | 3. 5~9年 | 5. 15~19年 | 7. 40年以上 |
| 2. 1~4年 | 4. 10~14年 | 6. 20~39年 | |

問9 あなたのお住まいの地域についてお答えください(ひとつに○)。

1. 中央地域(本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口1~3丁目)
2. 横曽根地域(川口4~6丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木)
3. 青木地域(青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川)
4. 南平地域(朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町)
5. 新郷地域(赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新郷、新郷町、榛松、江戸、江戸袋、本蓮)
6. 神根地域(安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、源左衛門新田、石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町)
7. 芝地域(芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷湯、芝中田、芝新町、芝下、芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳橋)
8. 安行地域(安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行篠八、安行吉蔵、安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽)
9. 戸塚地域(戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行備、東川口、差間、北原台、戸塚狭町、戸塚境町、戸塚東、戸塚南、長蔵)
10. 鵜ヶ谷地域(坂下町、桜町、里、辻、鵜ヶ谷本町、前田、鵜ヶ谷録町、南鵜ヶ谷、八幡木、三ツ和)



問 13 あなたは、日々の生活で困ったことがあるときに誰に相談していますか（〇は3つまで）。

- | | | |
|-----------------------|--|---------------|
| 1. 家族 | 6. 職場の上司・同僚 | 11. 民生委員・児童委員 |
| 2. 親戚 | 7. 医療機関（医師を含む） | 12. 社会福祉協議会 |
| 3. （川口市にお住まいの）友人・知人 | 8. 教育機関（教師や保育士等を含む） | 13. ケアマネジャー |
| 4. （川口市以外にお住まいの）友人・知人 | 9. 市役所 | 14. その他（ ） |
| 5. 町会・自治会 | 10. 地域の相談窓口（地域包括支援センター、子育て支援センター、地域活動支援センターなど） | 15. 相談しない |

問 13 で「15. 相談しない」と回答した方にうかがいます。

それ以外の方は問 14 にお進みください

問 13-2 相談しない理由は何ですか（ひとつに〇）。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 他人に頼らずに、自分で解決したい | 5. 自分や家族のことを他人に知られたくない |
| 2. 気軽に相談できる相手がいない | 6. なんとなく相談しづらい |
| 3. 顔見知りの人に相談するのは気まずい | 7. その他（ ） |
| 4. 誰に相談すればいいかわからない | 8. 相談すべきことがない |

問 14 あなたの悩みや不安は何ですか（〇は3つまで）。

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 自身の健康に関する事 | 8. 自分や家族の生活や状況（DV や嫁姑問題、引きこもりなど）に関する事 |
| 2. 自身の仕事に関する事 | 9. 移動（買い物や散歩など）に関する事 |
| 3. 自身の老後（介護）に関する事 | 10. 災害に関する事 |
| 4. 家族の老後（介護）に関する事 | 11. 住まい（持ち家、借家など）に関する事 |
| 5. 生活費等に関する事 | 12. その他（ ） |
| 6. 近所との関係に関する事 | |
| 7. 育児や子育て、教育に関する事 | |

問 15 現在のあなたの健康状態はいかがですか（ひとつに〇）。

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. とても良い | 2. まあ良い | 3. やや悪い | 4. とても悪い |
|----------|---------|---------|----------|

問 16 あなたは、家族を含む他の誰かと一緒に食事をする機会がありますか（ひとつに〇）。

- | | | |
|------------|------------|-------|
| 1. 毎日ある | 3. 月に何回もある | 5. ない |
| 2. 週に何回もある | 4. 年に何回もある | |

地域とのつながりについて

問 17 あなたは、地域とのつながりは必要だと思いますか（ひとつに○）。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. とても必要だと思う | 3. あまり必要ないと思う |
| 2. どちらかといえば必要だと思う | 4. 必要ないと思う |

問 18 あなたは、近所のおつきあいをどの程度していますか（ひとつに○）。

- | |
|------------------------------|
| 1. 日ごろから仲良くしている（困ったときに助け合える） |
| 2. 挨拶や立ち話をする程度 |
| 3. ほとんど付き合いはない |

問 18で「3. ほとんど付き合いはない」と回答した方にうかがいます。

それ以外の方は問 19にお進みください

問 18-2 付き合いがない理由は何ですか（ひとつに○）。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 仕事や家事などで忙しく時間がないから | 6. 気の合う人・話の合う人がいないから |
| 2. 川口市に引っ越してきて間もないから | 7. あまり関わりを持ちたくないから |
| 3. ふだん付き合う機会がないから | 8. その他（ ） |
| 4. 近所の人と知り合うきっかけがないから | 9. 特に理由はない |
| 5. 同世代の人が近くにいないから | |

問 19 川口市内で活動されている外国人とあなたとの交流について、現在の交流だけでなく、過去の交流も含めてお答えください（あてはまるものすべてに○）。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 友人として交流している |
| 2. 自分や家族などが外国人と結婚している |
| 3. 隣隣が一緒である |
| 4. 国際交流等のグループで共に活動している |
| 5. 地域活動の場（自治会やお祭り等の行事など）で共に活動・参加している |
| 6. 学校などで共に勉強している |
| 7. 子どもの学校の活動（PTAなど）で共に活動している |
| 8. 趣味や娯楽のサークル等で共に活動している |
| 9. あいさつ（「こんにちは」と声をかけるなど）程度の付き合いがある |
| 10. 外国人と交流したことがない |
| 11. その他（ ） |

問 20 あなたは、近所づきあいの関係を、今後どうしていきたいですか（ひとつに○）。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 近所づきあいを深めたい | 3. 近所づきあいはなるべくしたくない |
| 2. 現状のままでよい | 4. 近所づきあいをやめたい |

問 21 あなたの住まいの近所に、高齢や障害、子育て、引きこもり、貧困・困窮、外国籍などの課題があり、日常生活を送るうえで困っている方はいますか（ひとつに〇）。

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問 21 で「1. いる」と回答した方にうかがいます。

それ以外の方は問 22 にお進みください

問 21-2 近所で困っている方に、あなたが現在していることはありますか（あてはまるものすべてに〇）。

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| 1. 安否確認の声掛け | 7. 通院の付き添い |
| 2. 話し相手 | 8. 短時間の子どもの預かり |
| 3. ちょっとした家事 | 9. 子育ての相談 |
| 4. ちょっとした買い物 | 10. 生活についての相談 |
| 5. ゴミ出し | 11. その他（ ） |
| 6. 玄関前の掃除や除雪 | 12. 特にできることはない |

問 22 近所に困っている方がいる場合、あなたができることは何ですか（あてはまるものすべてに〇）。

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| 1. 安否確認の声掛け | 7. 通院の付き添い |
| 2. 話し相手 | 8. 短時間の子どもの預かり |
| 3. ちょっとした家事 | 9. 子育ての相談 |
| 4. ちょっとした買い物 | 10. 生活についての相談 |
| 5. ゴミ出し | 11. その他（ ） |
| 6. 玄関前の掃除や除雪 | 12. 特にできることはない |

問 23 あなたが日常生活を送るうえで不自由な状態になった場合、地域の方々に手助けをしてもらいたいことは何ですか（あてはまるものすべてに〇）。

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| 1. 安否確認の声掛け | 7. 通院の付き添い |
| 2. 話し相手 | 8. 短時間の子どもの預かり |
| 3. ちょっとした家事 | 9. 子育ての相談 |
| 4. ちょっとした買い物 | 10. 生活についての相談 |
| 5. ゴミ出し | 11. その他（ ） |
| 6. 玄関前の掃除や除雪 | 12. 特にしてほしいことはない |

問 26 あなたが参加している地域活動についてお答えください（あてはまるものすべてに○）。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 町会・自治会 | 5. PTA |
| 2. 社会福祉団体 | 6. 趣味や娯楽のサークル |
| 3. ボランティア団体 | 7. その他（ ） |
| 4. 老人クラブ | 8. 参加していない |

問 26で「1.」から「7.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

「8. 参加していない」と回答した方は問 27 にお進みください

問 26-2 現在、参加している活動は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| 1. 高齢者支援 | 8. 消防・防災・災害支援 | 15. 国際交流・国際協力 |
| 2. 障害者（児）支援 | 9. 自然環境保護 | 16. 消費者問題 |
| 3. 子育て支援や母子福祉 | 10. 公害防止・リサイクル | 17. 人権・女性問題 |
| 4. 健康づくり・医療 | 11. 生涯学習等の指導・援助 | 18. 平和の推進 |
| 5. 地域の清掃・美化 | 12. 各種スポーツ指導 | 19. その他（ ） |
| 6. 市の活性化等 | 13. 青少年育成・支援 | |
| 7. 防犯・交通安全 | 14. 芸術・文化振興等 | |

問 27 あなたが今後取り組んでみたい地域活動は何ですか（○は3つまで）。

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| 1. 高齢者支援 | 8. 消防・防災・災害支援 | 15. 国際交流・国際協力 |
| 2. 障害者（児）支援 | 9. 自然環境保護 | 16. 消費者問題 |
| 3. 子育て支援や母子福祉 | 10. 公害防止・リサイクル | 17. 人権・女性問題 |
| 4. 健康づくり・医療 | 11. 生涯学習等の指導・援助 | 18. 平和の推進 |
| 5. 地域の清掃・美化 | 12. 各種スポーツ指導 | 19. その他（ ） |
| 6. 市の活性化等 | 13. 青少年育成・支援 | 20. 興味が無い |
| 7. 防犯・交通安全 | 14. 芸術・文化振興等 | |

問 28 今後、あなたに地域活動への参加の依頼があった場合、どうしますか（ひとつに○）。

- | |
|---------------------------|
| 1. 企画・運営者として積極的に参加したい |
| 2. 熱心な人の企画・運営の手伝いとして参加したい |
| 3. 企画・運営してくれる人がいれば参加したい |
| 4. 時間に余裕があれば参加したい |
| 5. あまり参加したいと思わない |
| 6. 全く参加したいと思わない |
| 7. わからない |

問 29 あなたが地域活動に参加しづらいと感じる理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

1. どのような活動があるのかなど、社会活動に関する情報がない
2. 興味のある活動が見つからない
3. 健康や体力に自信がない
4. 人間関係がわずらわしい
5. 身近なところに活動の場がない
6. 家事・育児に忙しくて時間がない
7. 地域活動に参加するうえでの仲間（人手）が不足している
8. 病人・高齢者・障害を持った方の世話や介護で時間がない
9. 経済的負担が大きい
10. 子どもを見てくれる人や施設がない
11. 家族の支持・理解がない
12. 仕事をもっているので時間がとれない
13. その他（)
14. 特になし

問 30 今後、地域の活動の輪を広げていくために、川口市内でどのような支援が必要だと思いますか（あてはまるものすべてに○）。

1. 活動をするうえでの経済的負担がかからないように交通費などの実費を補助
2. 地域活動に参加する場合は休暇を認めるなど、企業による地域貢献の推進
3. 学校教育の一環としての地域活動の活性化
4. 子どもが主体となる地域活動の活性化
5. 地域活動に関する相談や拠点となる場所の提供
6. 地域活動に関する研修の開催など、人材育成の推進
7. 地域活動についての情報提供の強化
8. その他（)
9. わからない

問 34 地域の市民同士の助け合い（互助）が以前にも増して大切な時代になってきていますが、地域における福祉について、あなたはどのように考えますか（ひとつに○）。

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい | |
| 2. 地域の人と互いに協力し、住みやすい地域にしていきたい | |
| 3. 福祉や地域のことは、行政がしっかりと面倒を見るべきである | |
| 4. 福祉や地域のことは、行政も市民も協力し合い、共に取り組むべきである | |
| 5. その他（ | ） |
| 6. わからない | |

災害時における助け合いについて

問 35 あなたは、台風や地震等の災害時にどこに避難すれば良いか知っていますか(ひとつに○)。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 36 あなたは、地震等の災害時に避難する場合、誰と避難するか決めてありますか(ひとつに○)。

- | | | |
|---------------------------|-----------------|---|
| 1. 家族と避難することを決めている | 3. その他（ | ） |
| 2. 近所とも声をかけあって避難することにしている | 4. 避難のことは決めていない | |

問 37 あなたは、地震などの大規模な災害が起きた時に心配なことはありますか(○は3つまで)。

- | | | |
|-----------------|-------------------|---|
| 1. 自力での避難が難しい | 6. 必要な物資を手に入れられない | |
| 2. 避難所生活が難しい | 7. どこに行けば良いかわからない | |
| 3. 薬の手配が難しい | 8. その他（ | ） |
| 4. 情報を入手しにくい | 9. 特に思いつかない | |
| 5. 必要な医療が受けられない | | |

問 38 被災後の生活において、あなたは誰を頼りにしますか（○は3つまで）。

- | | | |
|---------------------|--------------|---|
| 1. 家族・親族 | 5. 社会福祉協議会 | |
| 2. 近所の人 | 6. 行政（市役所など） | |
| 3. 友人・知人 | 7. その他（ | ） |
| 4. 自主防災組織（町会・自治会など） | | |

問 39 地震などの災害時における地域の助け合いは、非常に重要なことですが、あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが必要だと思いますか(〇は3つまで)。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 災害対策の学習会 | 6. 地域の要援護者の把握 |
| 2. 日ごろからのあいさつ、声掛けや付き合い | 7. 要援護者に対する情報伝達体制の構築 |
| 3. 地域での避難訓練 | 8. 災害ボランティアの育成 |
| 4. 危険箇所の把握 | 9. その他() |
| 5. 地域における援助体制の構築 | |

社会福祉協議会について

問 40 あなたは、川口市社会福祉協議会を知っていますか(ひとつに〇)。

- | |
|------------------|
| 1. 存在も活動内容も知っている |
| 2. 存在だけは知っている |
| 3. 存在も活動内容も知らない |

問 41 あなたは、川口市社会福祉協議会が次の事業に取り組んでいることを知っていますか(それぞれ、あてはまる番号ひとつに〇)。

事業名	内容を知っている	聞いたことがある	知らない
地域福祉活動に関すること			
地区社協との協働、地域福祉活動(サロン活動など)の支援	1	2	3
ボランティアに関すること			
かわくちボランティアセンター(ボランティア活動の推進、福祉教育、災害ボランティア等)	1	2	3
カフェ&ふれあいショップふらっとの支援	1	2	3
日々の生活に関すること			
住民参加型福祉サービス事業(家事援助サービス、車いす貸出サービス等)	1	2	3
福祉サービス利用援助事業(あんしんレポートねっと)	1	2	3
交通通児育策事業	1	2	3
生活福祉資金貸付事業	1	2	3
成年後見センター事業	1	2	3
生活困窮者自立相談支援事業(生活自立サポートセンター)	1	2	3
介護に関すること			
訪問介護事業	1	2	3
居宅介護支援事業	1	2	3

高齢者に関すること			
青木にたら荘	1	2	3
健康長寿支援事業（健康講師派遣事業）	1	2	3
金婚、ダイヤモンド婚、プラチナ婚、貴賓贈呈	1	2	3
さわやかコール事業	1	2	3
地域包括支援センター事業（青木地域包括支援センター）	1	2	3
子育てや児童に関すること			
放課後児童クラブ事業	1	2	3
子育てサポートプラザ事業（つどいの広場、利用者支援、子育て支援総合コーディネート）	1	2	3
ファミリーサポートセンター事業	1	2	3
障害のある方に関すること			
障害者相談支援事業（障害者相談支援センター社協）	1	2	3
手話通訳者派遣事業	1	2	3

質問は以上です。

長時間のご協力ありがとうございました。

8月10日（金）までに投函してください（切手不要）。

第2期川口市地域福祉計画の見直しに向けた
アンケート調査報告書
平成30年11月

発行：川口市

住所：〒332-8601 埼玉県川口市青木2丁目1番1号

電話：048-258-1110（代表）